
鳴 門 市
こども・若者の意識と生活に関する調査

調査報告書（15～29歳）

令和7年11月

鳴門市

目次

I 調査の概要	1
II 調査結果	3
問1 性別	4
問2 年齢	4
問3 婚姻状況	5
問4 同居人	5
問5 (1) 生計を支えている人	6
問5 (2) 生計を支えている人の主な収入源	6
問6 生活水準の自己評価	7
問7 卒業した学校	7
問8 現在の職業	8
問9 就業経験	8
問10 あなた自身について	9
問11 自身の幸福感	18
問12 居場所について	19
問13 家や学校、職場以外に「ここに居たい」と感じる場所の有無	23
問14 「ここに居たい」と感じる場所	24
問15 そこはあなたにとって、どのような場所か	25
問16 その場所に行くようになって、変わったこと	26
問17 居場所でやってみたいことや、こうだったらいいのと思うこと	27
問18 「ここに居たい」と感じる場所がない理由	28

問 1 9	どのような場所であれば行ってみたいと思うか	29
問 2 0	孤独・孤立の状況	30
問 2 1	孤独と感じる頻度	32
問 2 2	家族・親族とのかかわり	33
問 2 3	学校で出会った友人とのかかわり	34
問 2 4	職場・アルバイト関係の人とのかかわり	35
問 2 5	地域の人とのかかわり	36
問 2 6	インターネット上における人やグループとのかかわり	37
問 2 7	他人とのコミュニケーションについて	38
問 2 8	社会貢献の意識について	39
問 2 9	将来への希望について	39
問 3 0	20年後のビジョン	40
問 3 1	結婚願望	41
問 3 2	結婚したくない理由	42
問 3 3	普段の暮らしの場での時間の使い方	43
問 3 4	外出の頻度	44
問 3 5	現在の外出状況の継続期間	45
問 3 6	現在の外出状況になった年齢	45
問 3 7	現在の外出状況になった理由	46
問 3 8	現在の外出状況になった最も大きな理由	47
問 3 9	この半年間での家族以外の人との会話頻度	48
問 4 0	社会生活・日常生活を円滑に送れなかった経験	48
問 4 1 (1)	自分自身について	49
問 4 1 (2)	家族・家庭について	50

問4 1 (3) 学校について	51
問4 1 (4) 仕事・職場について	52
問4 2 社会生活や日常生活が改善した経験	53
問4 3 改善したきっかけや役立ったこと	54
問4 4 家族や知り合い以外で相談したい場所や人	55
問4 5 相談したくないと思う理由	56
問4 6 育成支援機関等の認知度	57
問4 7 育成支援機関等の利用有無	58
問4 8 育成支援機関等の利用希望の有無	58
問4 9 鳴門市うずっ子条例の認知度	59
問5 0 意見の表明	60
問5 1 表明したい理由	61
問5 2 表明したくない理由	62
問5 3 意見表明のための工夫・ルール	63
問5 4 ご意見やご感想	64
Ⅲ 調査結果（その他の回答）	80
その他の回答	81

I 調査の概要

1 調査の目的

すべての子どもが将来にわたり健やかに幸せな状態(ウェルビーイング)で過ごせる「子どもまんなか社会」の実現を目指し、令和7年度に策定する「鳴門市子ども計画」の基礎資料とするため、鳴門市に通学・在住されている15～29歳までの若い世代の方を対象に、生活状況などのアンケート調査を実施しました。

2 調査概要

- ・調査地域：鳴門市全域
- ・調査対象者
 - ①鳴門高校、鳴門渦潮高校に在籍する高校1年生～高校3年生全員
 - ②住民基本台帳から抽出した18～29歳の方全員
- ・抽出方法
 - ①対象学年の生徒を全数調査、②住民基本台帳より該当する年齢を全数調査
- ・調査時期
 - ①令和7年9月16日～令和7年9月30日
 - ②令和7年9月16日～令和7年10月7日
 - (②はお礼兼再協力依頼のはがきを郵送し、調査期間を1週間延長)
- ・調査方法
 - ①学校配布・WEB回収、②郵送配布・WEB回収

調査対象者	配布数	有効回収数	有効回収率
15～29歳	5,768件	1,721件	29.8%

3 報告書の見方

- ・回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100%にならない場合があります。このことは、本報告書の分析文章、グラフ及び表においても反映しています。
- ・複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。
- ・グラフ及び表中に「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・グラフ及び表中のn(number of case)は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を表しています。

II 調查結果

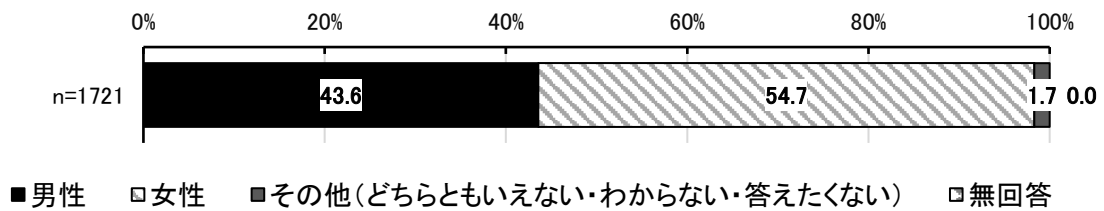
はじめに、あなた自身のことについてお聞きします。

【全員にお聞きします】

問1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

性別について、「男性」43.6%、「女性」54.7%、「その他(どちらともいえない・わからない・答えたくない)」1.7%となっています。

【全体】

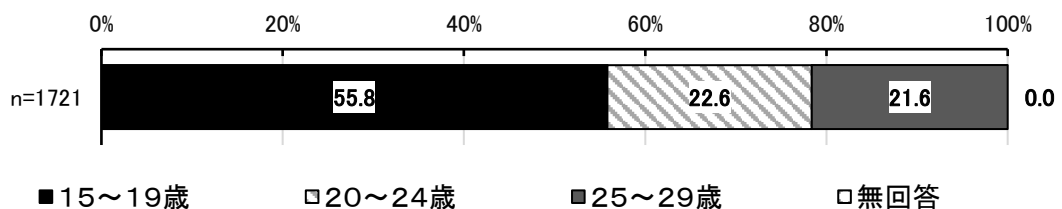


問2 あなたの年齢をお答えください。(〇は1つ)

※令和7年4月1日現在の年齢をお答えください。

年齢について、「15～19歳」55.8%、「20～24歳」22.6%、「25～29歳」21.6%となっています。

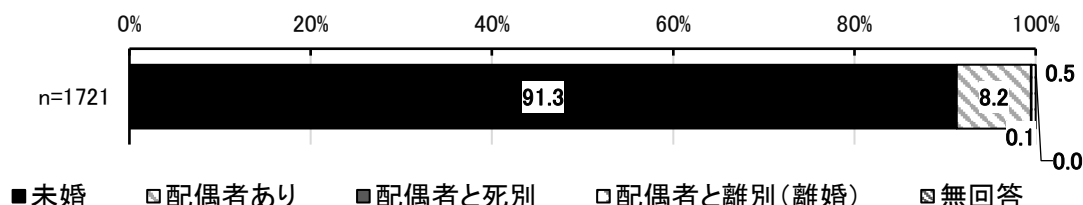
【全体】



問3 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(〇は1つ)

現在の婚姻状況について、上位から「未婚」91.3%、「配偶者あり」8.2%、「配偶者と離別(離婚)」0.5%などの順となっています。

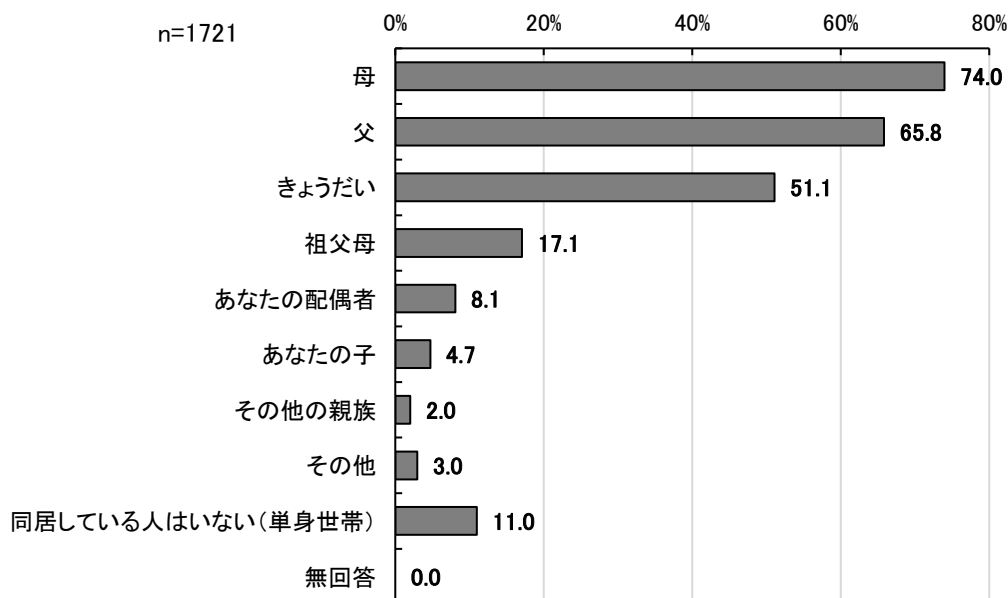
【全体】



問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(〇はいくつでも)
 ※里親や児童養護施設、ホームステイ先などで暮らしている方は、「8. その他」をお選びください。

現在、同居している方について、上位から「母」74.0%、「父」65.8%、「きょうだい」51.1%などの順となっています。

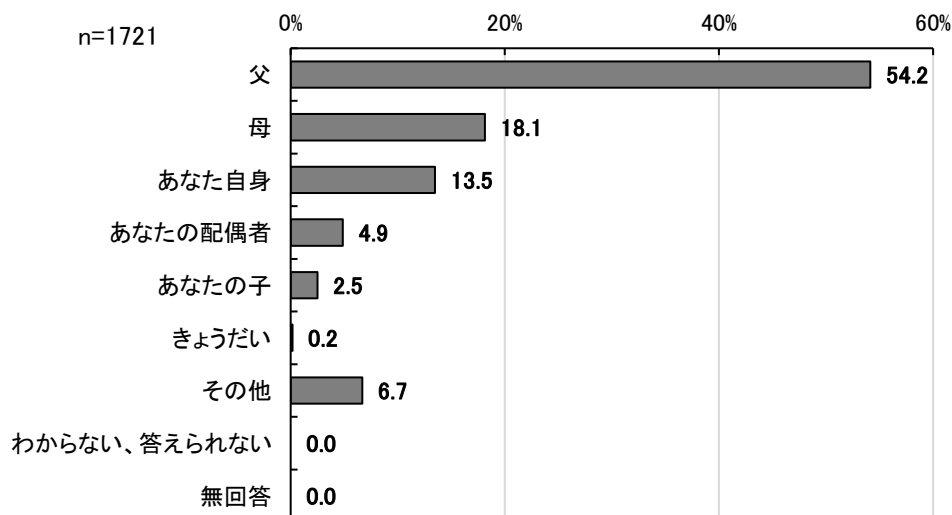
【全体】



問5 あなたの家の生計について、以下の（1）と（2）のそれぞれにお答えください。
 （1）生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。（〇は1つ）

主に生計を支えている方について、上位から「父」54.2%、「母」18.1%、「あなた自身」13.5%などの順となっています。

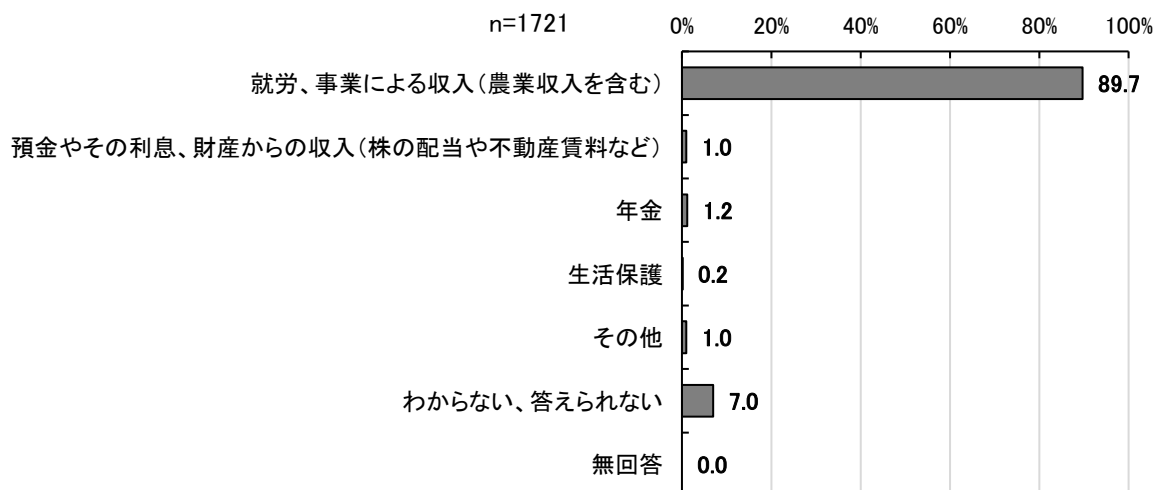
【全体】



問5 （2）主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。（〇は1つ）

主に生計を支えている方の収入源について、「就労、事業による収入（農業収入を含む）」が89.7%と約9割を占めています。

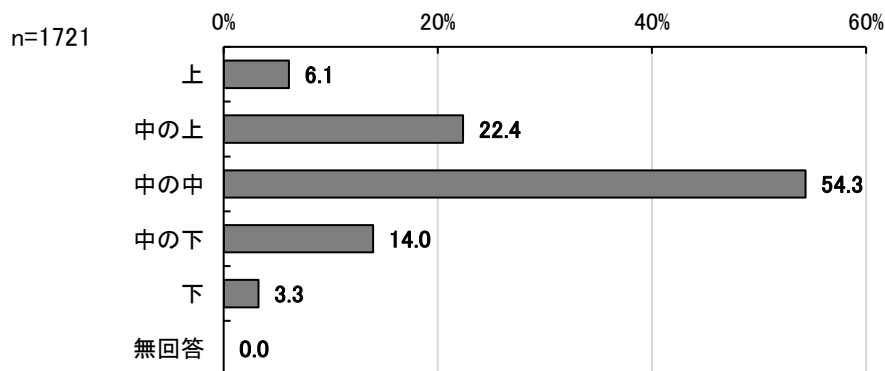
【全体】



問6 あなたの暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、上から下までのどれにあたると思いますか。あなたの実感でお答えください。（〇は1つ）

暮らし向きの実感について、上位から「中の中」54.3%、「中の上」22.4%、「中の下」14.0%などの順となっています。

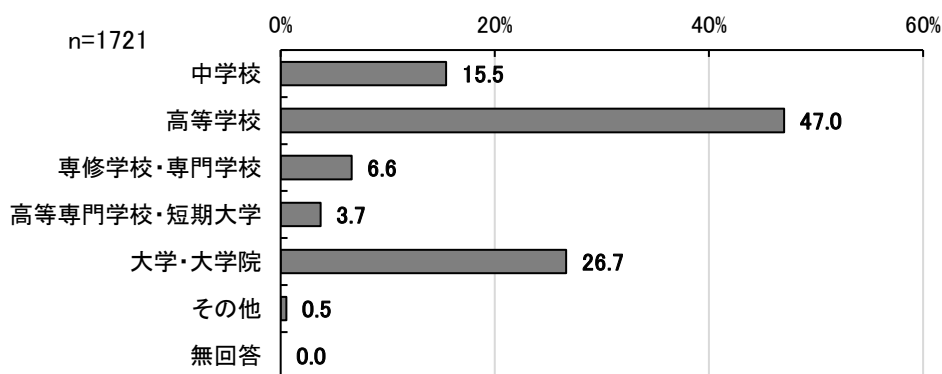
【全体】



問7 あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。（〇は1つ）

最後に卒業した学校や現在在学している学校について、上位から「高等学校」47.0%、「大学・大学院」26.7%、「中学校」15.5%となっています。

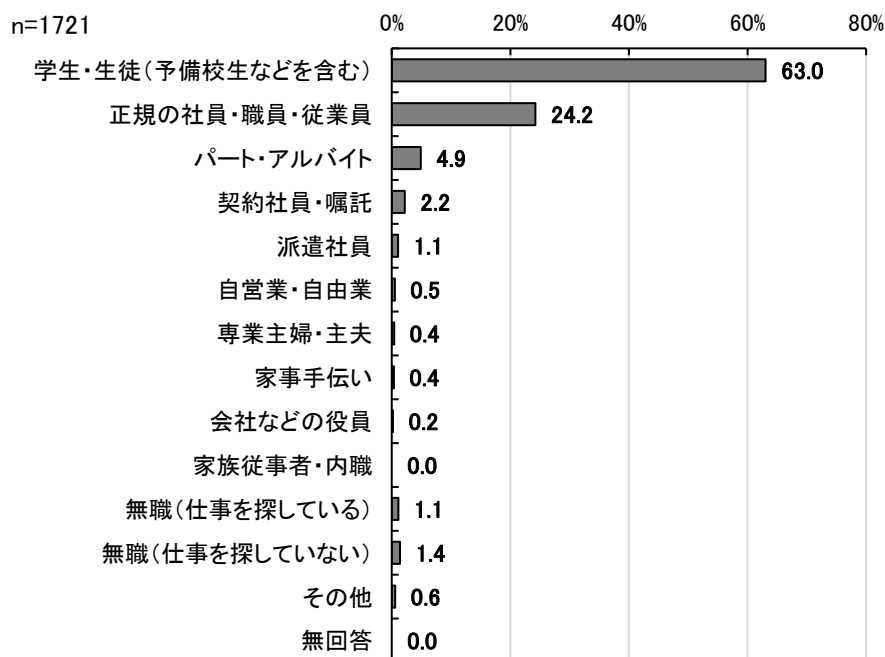
【全体】



問8 あなたの現在の仕事をお答えください。(○は1つ)

現在の仕事について、上位から「学生・生徒（予備校生などを含む）」63.0%、「正規の社員・職員・従業員」24.2%、「パート・アルバイト」4.9%などの順となっています。

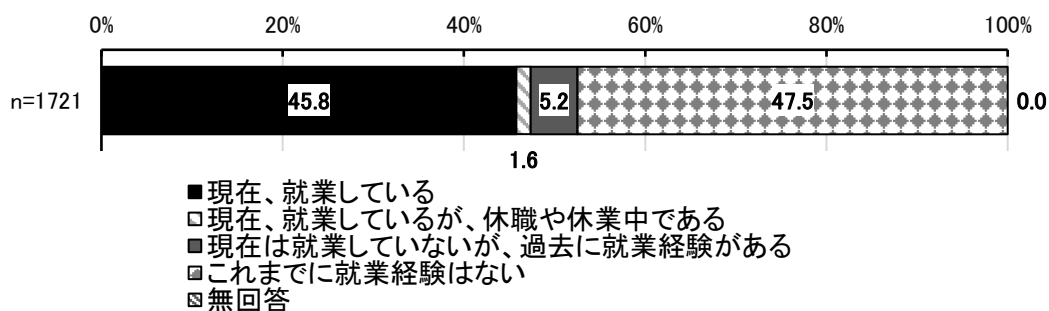
【全体】



問9 あなたの就業経験についてお答えください。(パート・アルバイトを含む)(○は1つ)

就業経験について、“就業経験がある”（「現在、就業している」、「現在、就業しているが、休職や休業中である」、「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」の割合の合計）は52.6%となっています。また、「これまでに就業経験はない」47.5%となっています。

【全体】



ここから、あなたの日頃の意識と生活についてお伺いします。

問10 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。(ア～ソのそれぞれについて、○は1つ)

“あてはまる”（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の割合の合計）は上位から「サ）自分の親（保護者）から愛されていると思う」93.0%、「ア）自分には自分らしさというものがあると思う」87.8%、「キ）人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う」80.5%などの順となっています。

国や県と比較すると、“あてはまる”は15項目中12項目で国や県より高くなっており、特に「カ）自分の将来は運やチャンスによって決まると思う」は、国や県より10ポイント以上高くなっています。

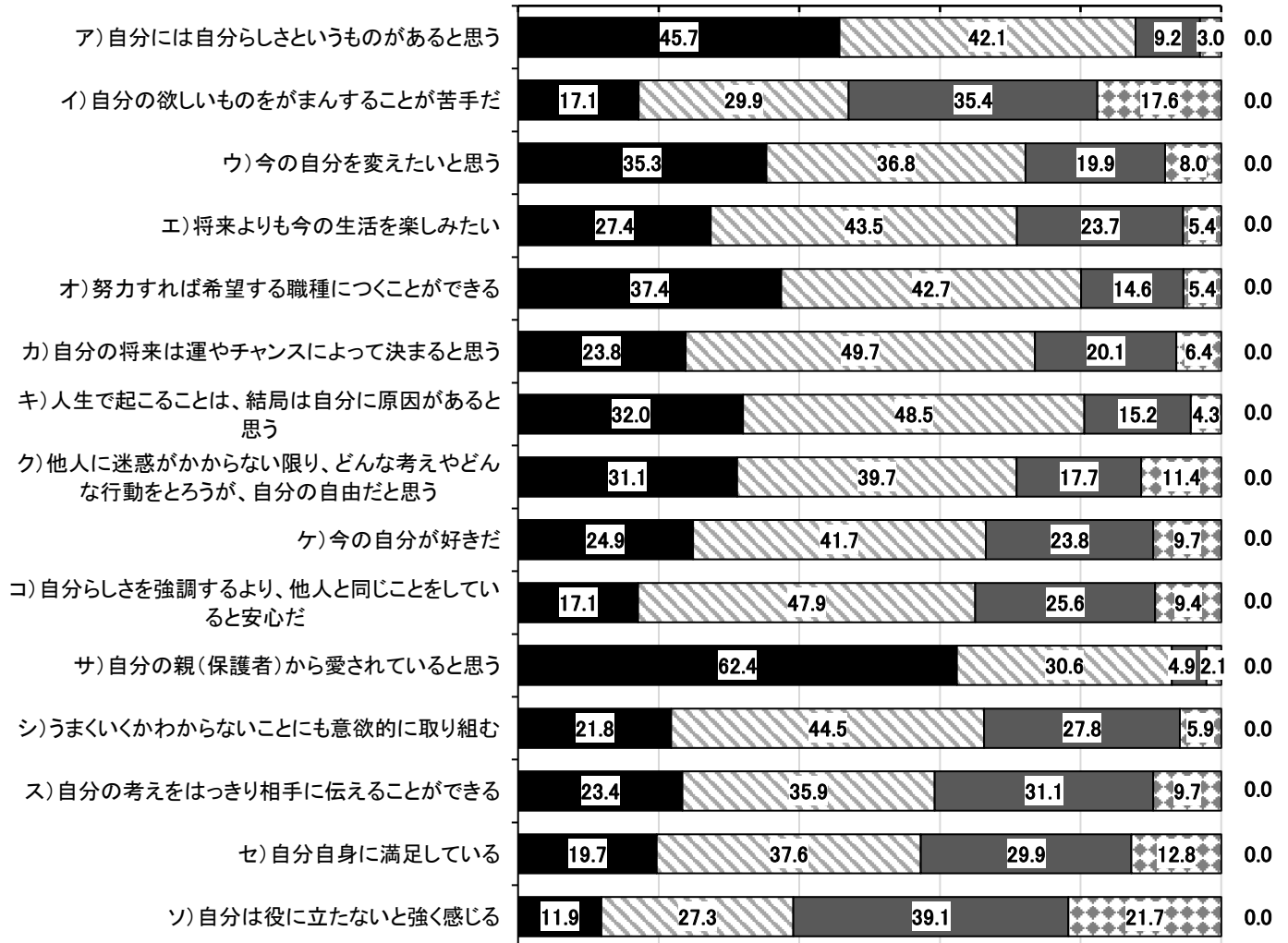
性別で見ると、「ス）自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」で“あてはまる”が男性64.8%、女性55.0%と、男性が9.8ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、「15～19歳」で“あてはまる”の割合が他の年代に比べて高くなる傾向がみられ、特に「ウ）今の自分を変えたいと思う」、「オ）努力すれば希望する職種に就くことができる」、「コ）自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ」、「ス）自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」では他の年代に比べて10ポイント以上高くなっています。

【全体】

n=1721

0% 20% 40% 60% 80% 100%

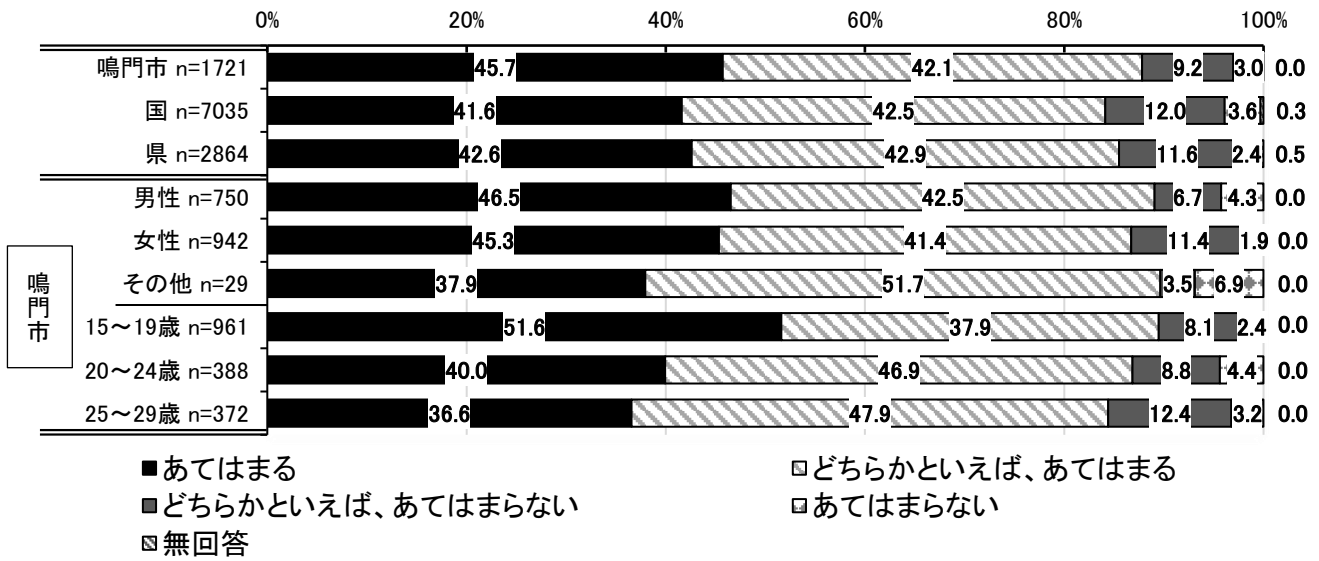


■あてはまる
 ■どちらかといえば、あてはまらない
 □無回答

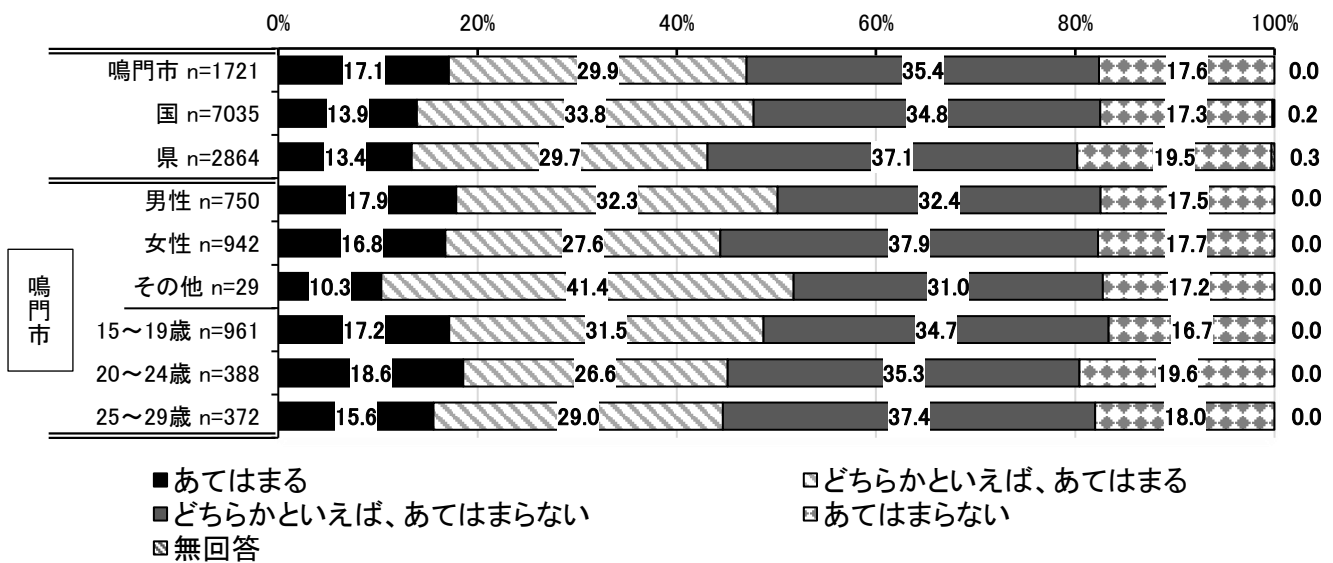
□どちらかといえば、あてはまる
 □あてはまらない

【全体・国・県・性別・年齢別】

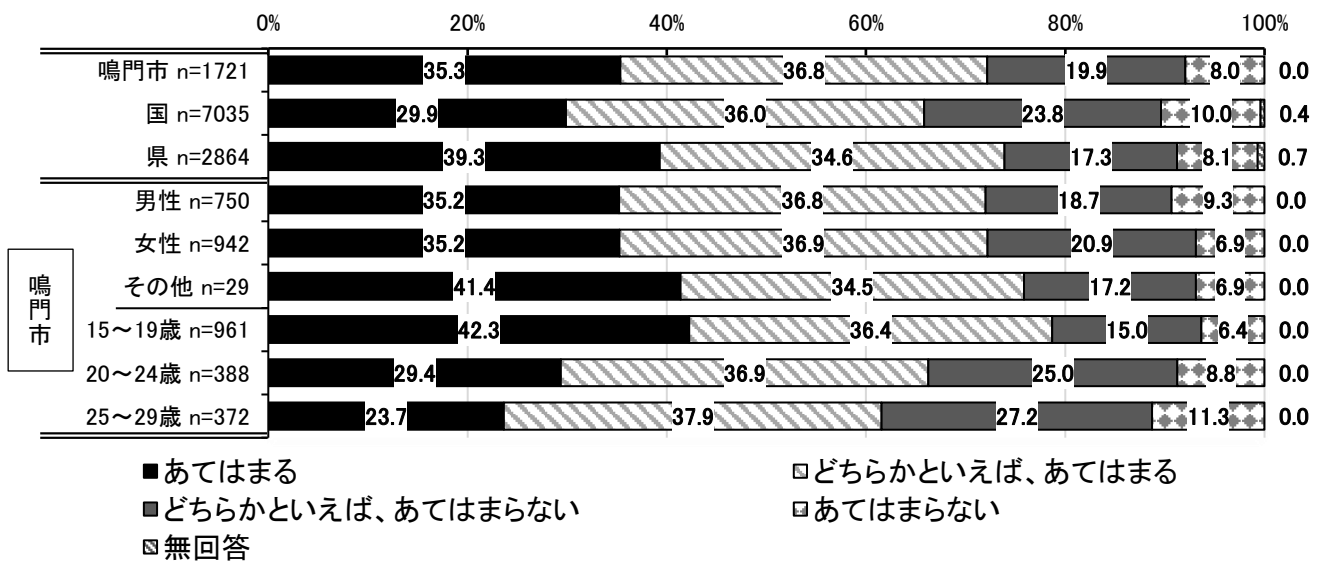
ア) 自分には自分らしさというものがあると思う



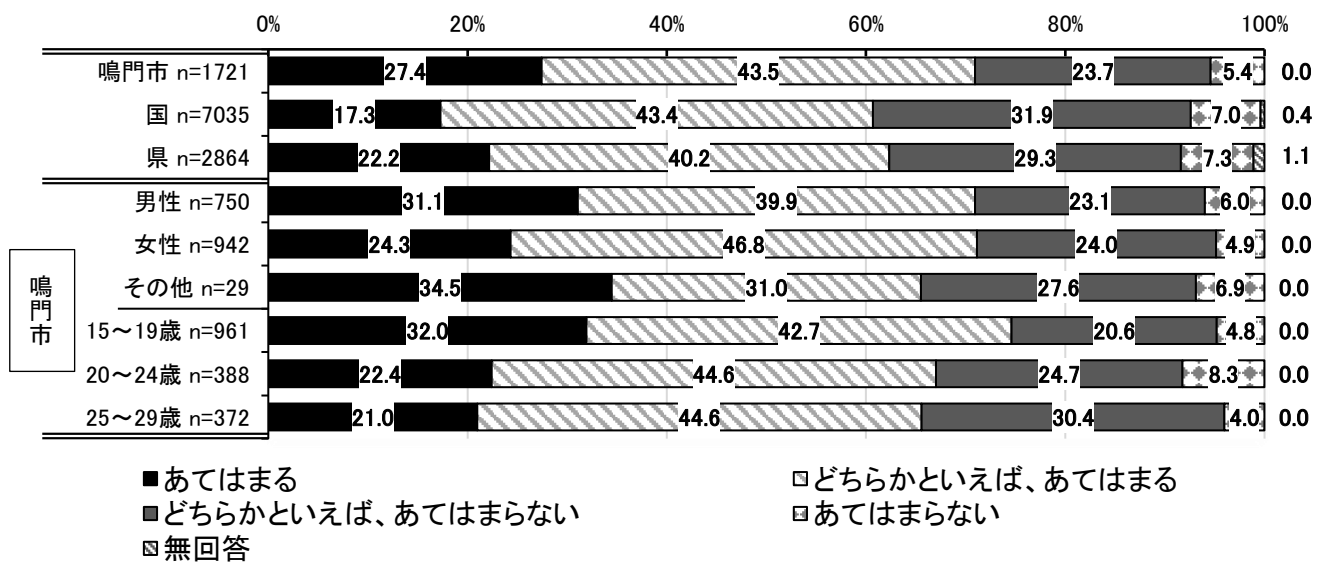
イ) 自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ



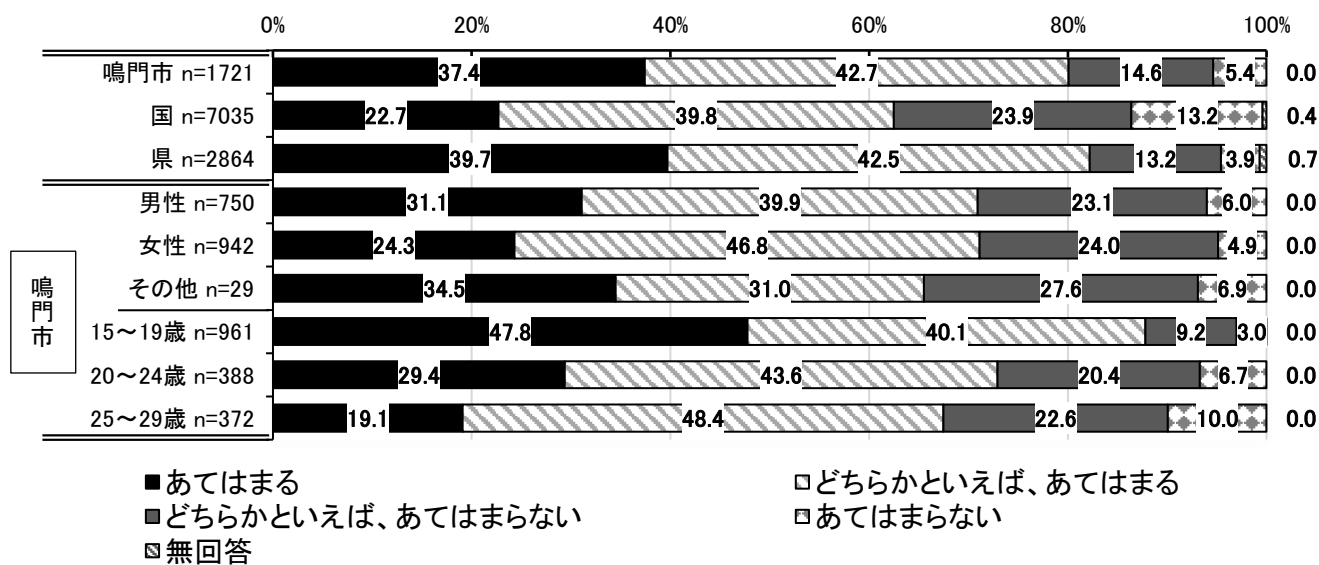
ウ) 今の自分を変えたいと思う



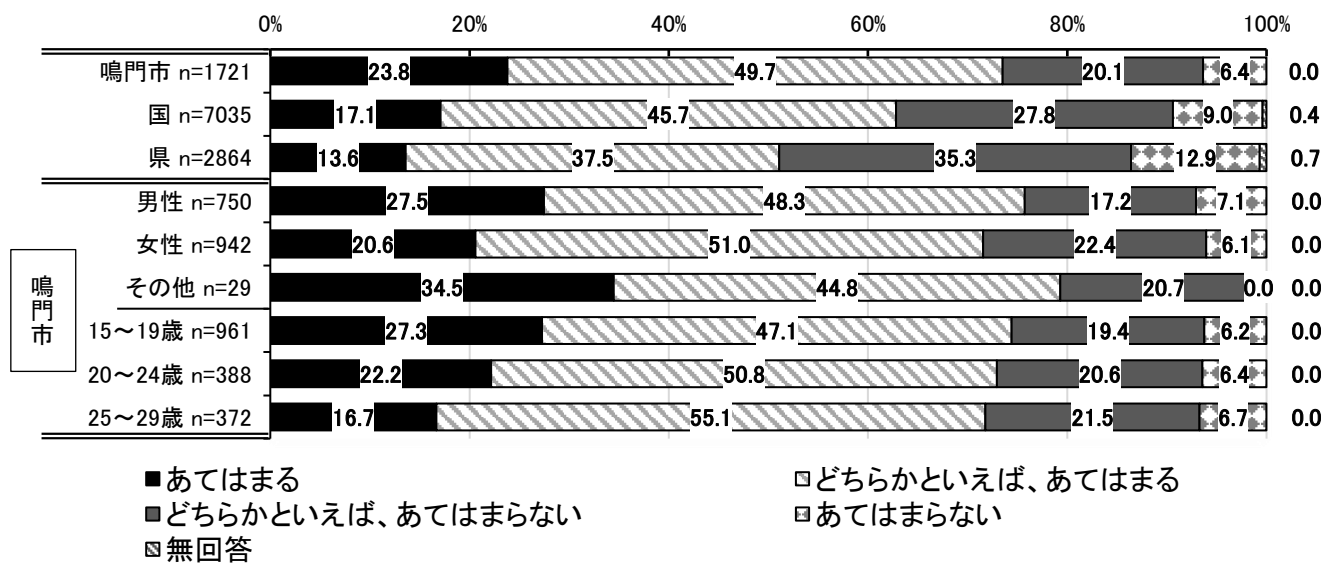
エ) 将来よりも今の生活を楽しみたい



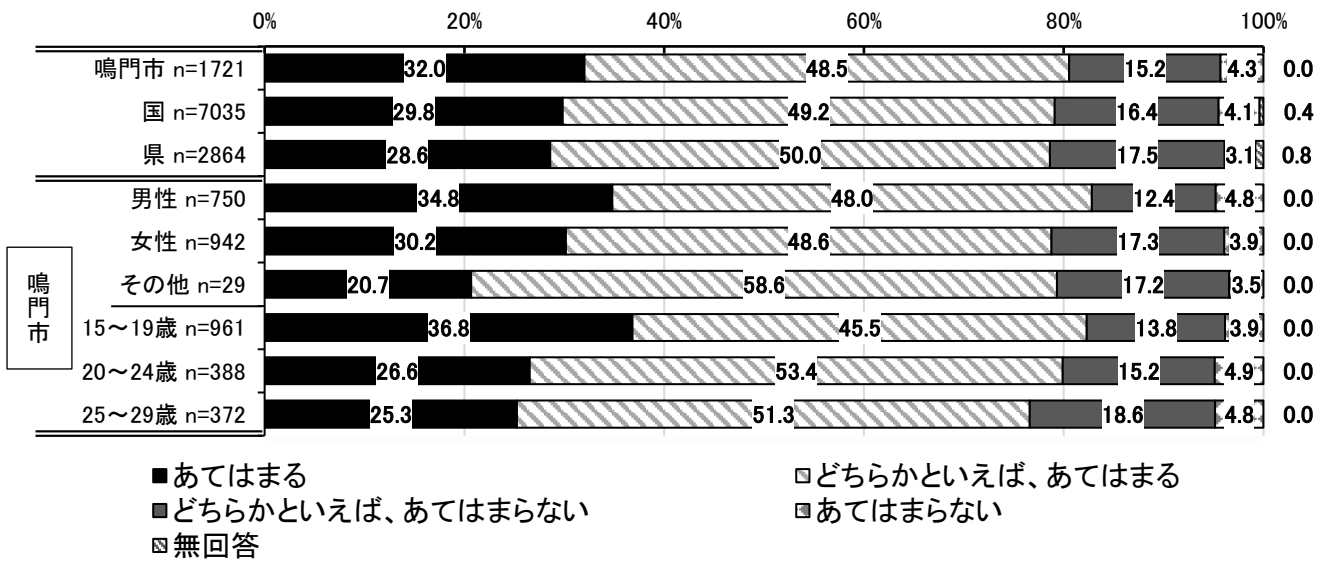
オ) 努力すれば希望する職種につくことができる



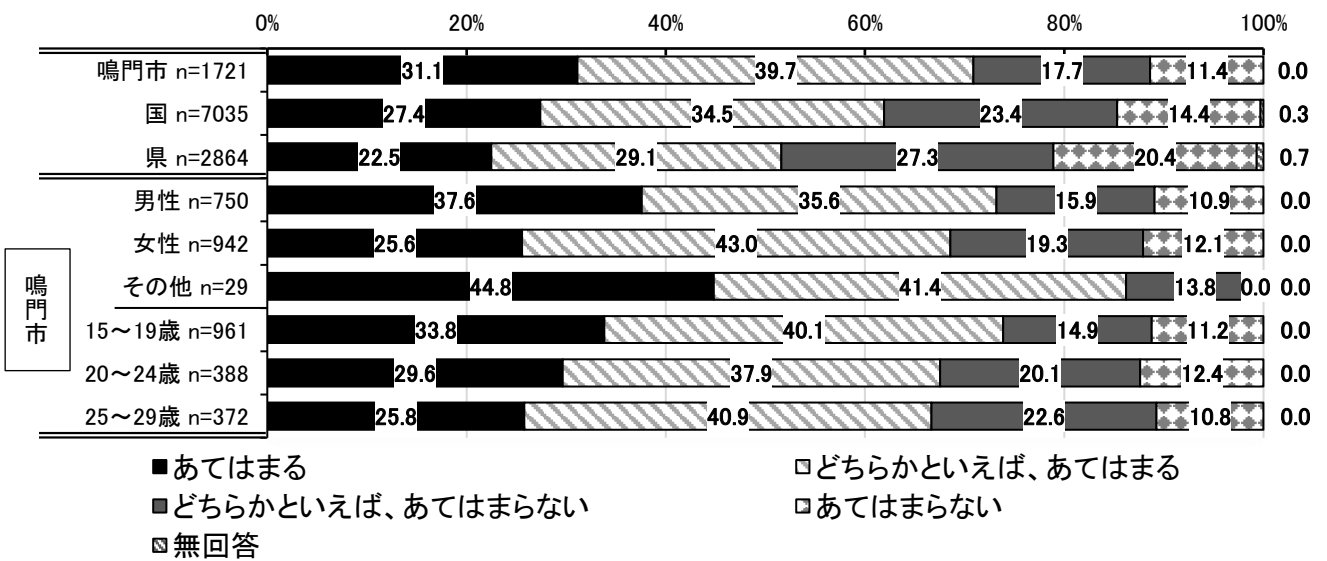
カ) 自分の将来は運やチャンスによって決まると思う



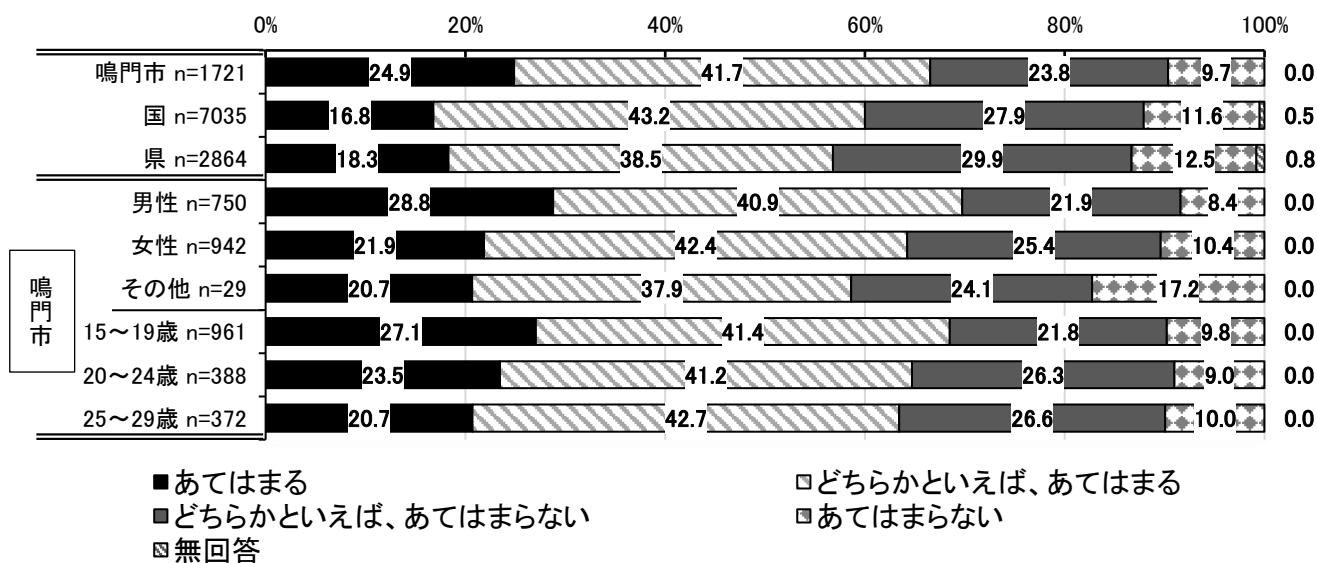
キ) 人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う



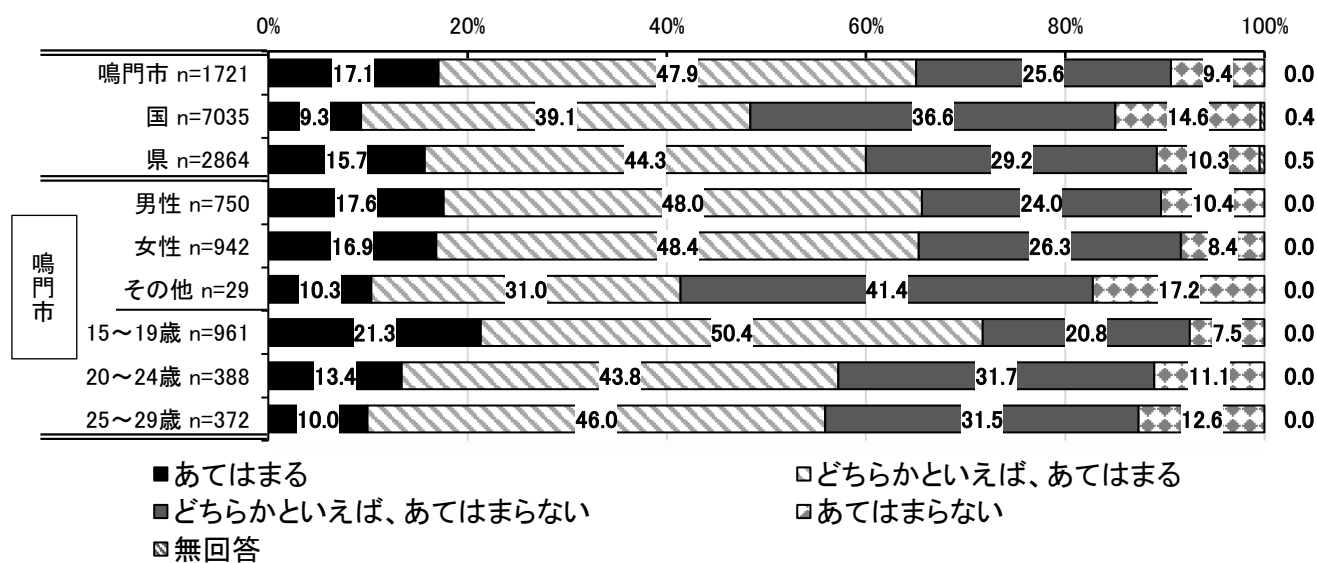
ク) 他人に迷惑がかからない限り、どんな考えやどんな行動をとろうが、自分の自由だと思う



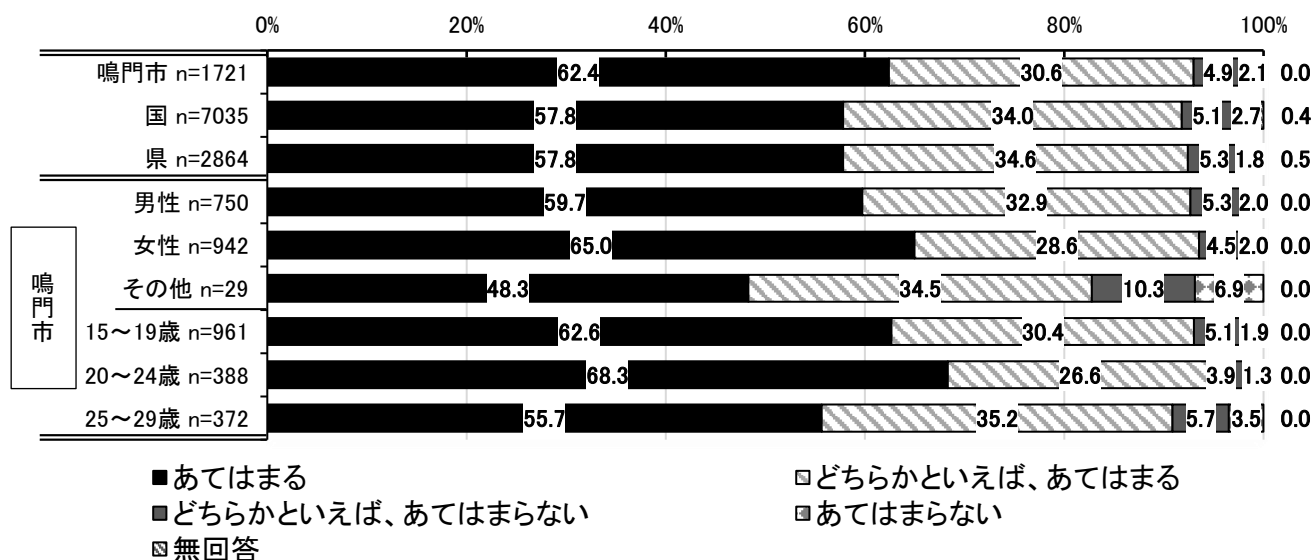
ケ) 今の自分が好きだ



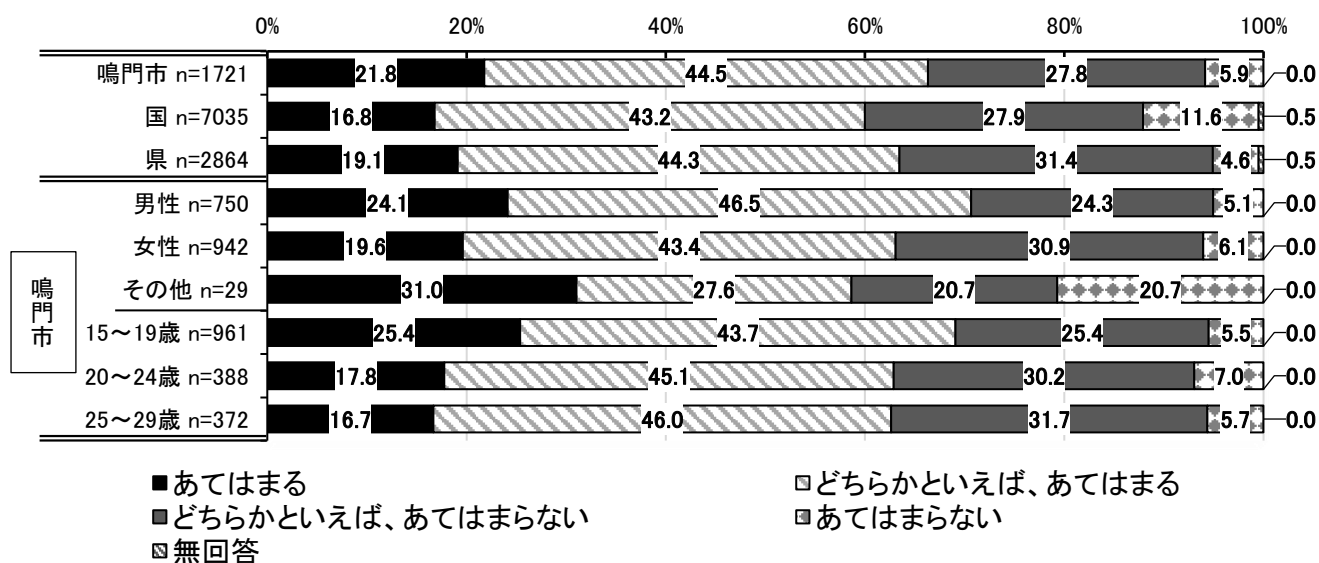
コ) 自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ



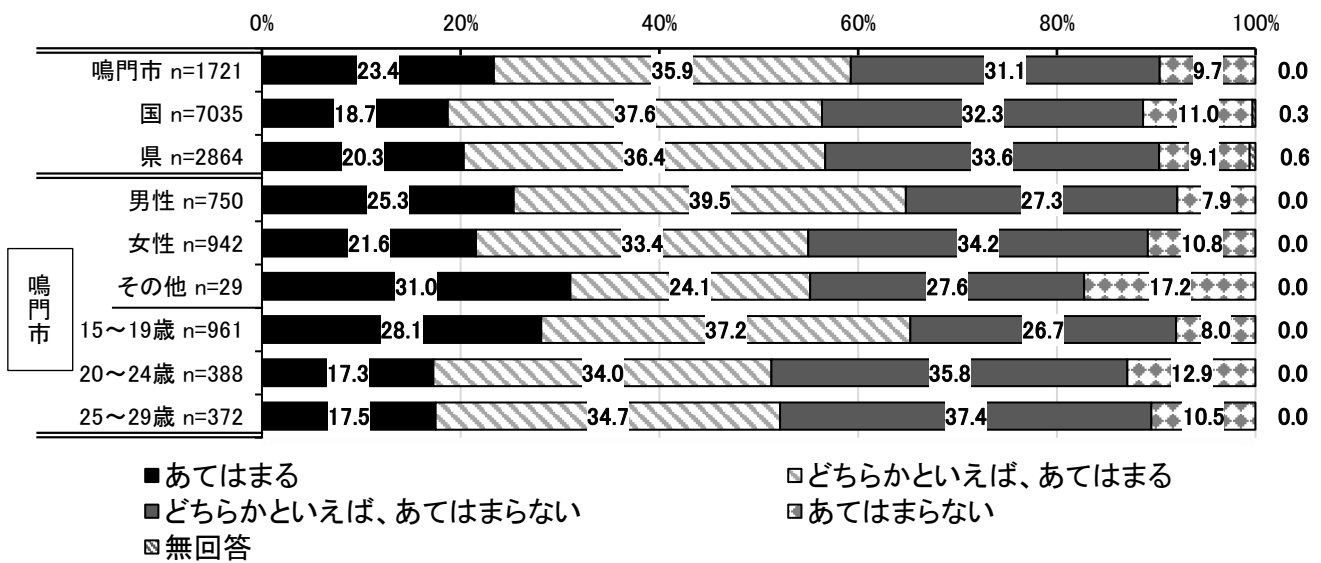
サ) 自分の親（保護者）から愛されていると思う



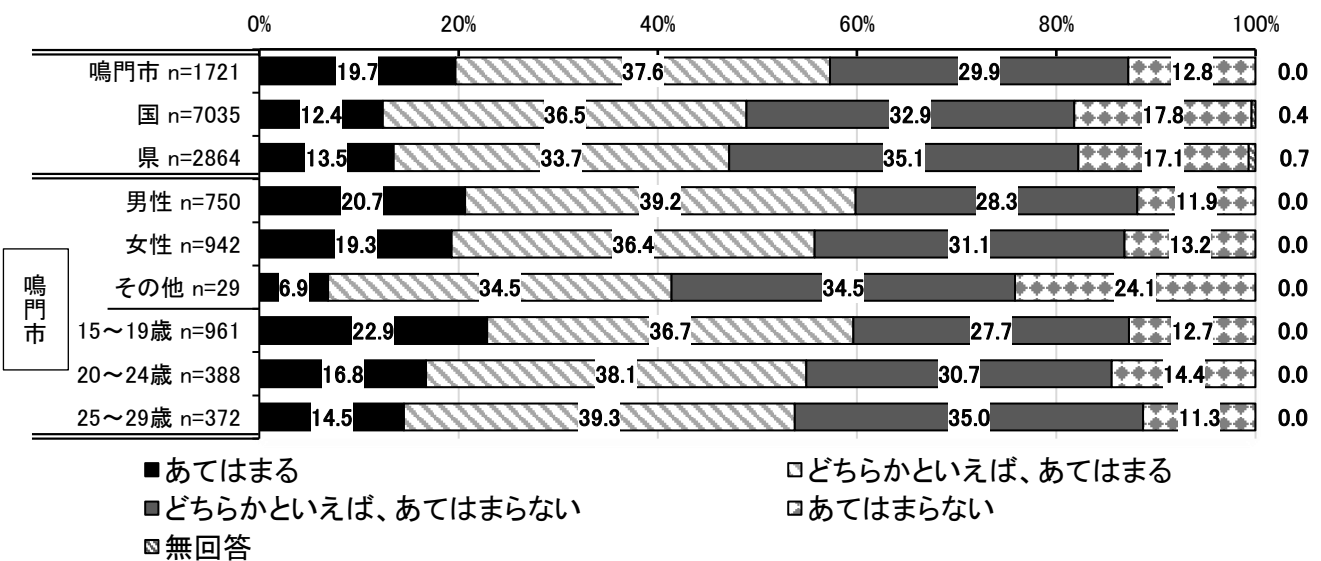
シ) うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む



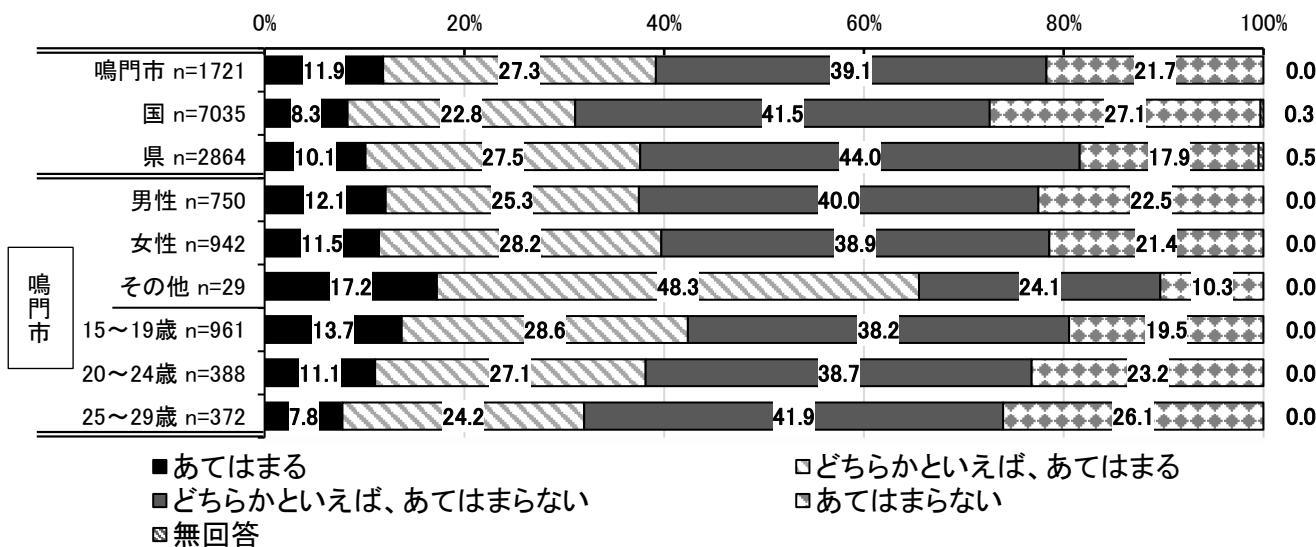
ス) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる



セ) 自分自身に満足している



ソ) 自分は役に立たないと強く感じる

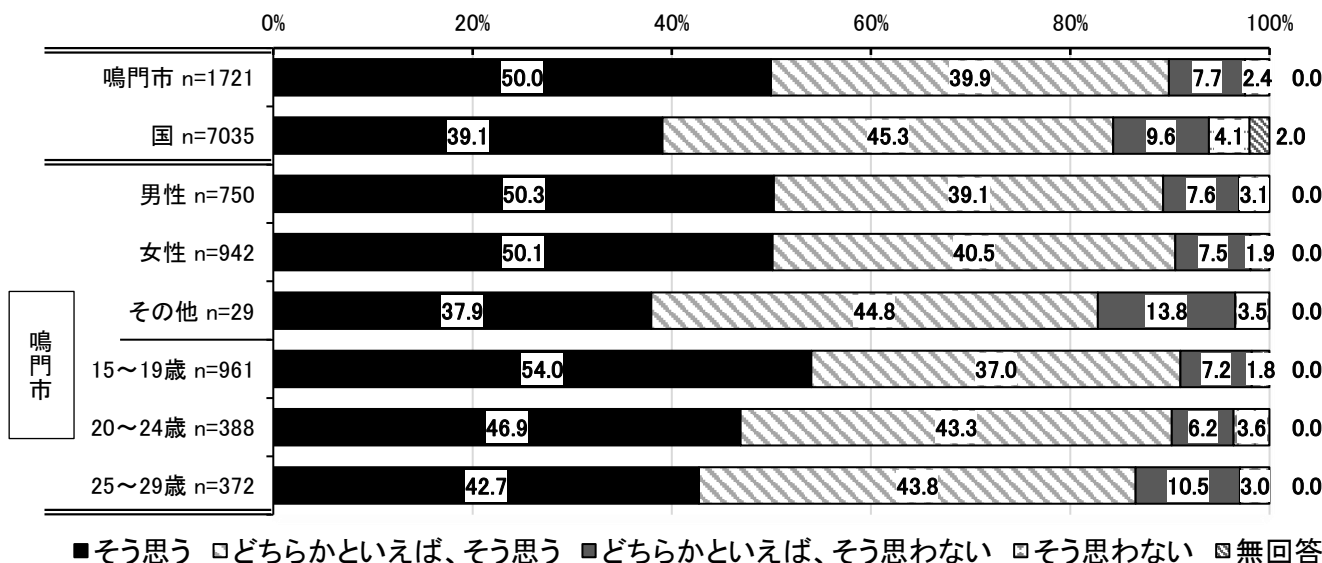


問11 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。
(○は1つ)

幸福感について、“そう思う”(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の割合の合計)は全体で89.9%と約9割が幸せだと実感しています。

一方で、“そう思わない”(「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思う」の割合の合計)は全体で10.1%となっており、年齢を重ねるにつれて、その割合は高くなっています。

【全体・国・性別・年齢別】



問12 次の場所は今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地の良い場所など)になっていますか。(ア~カのそれぞれについて、〇は1つ)

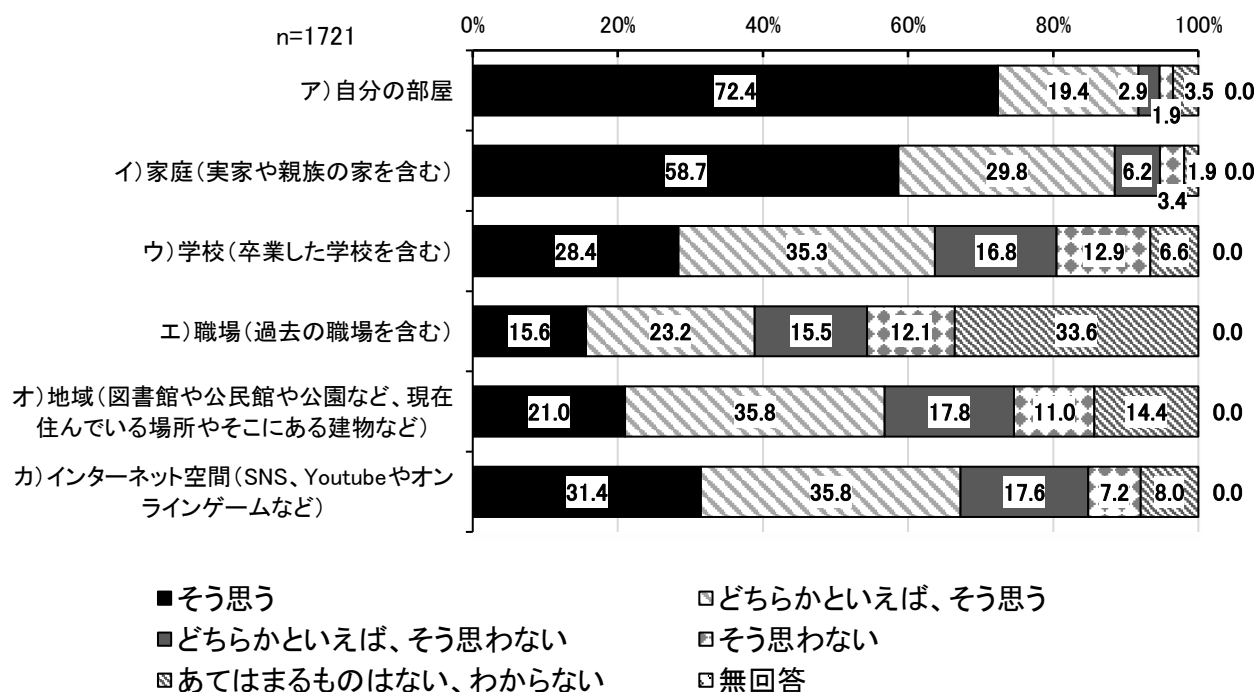
居場所について、“そう思う”(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の割合の合計)をみると、上位から「ア)自分の部屋」91.8%、「イ)家庭(実家や親族の家を含む)」88.5%、「カ)インターネット空間(SNS、Youtubeやオンラインゲームなど)」67.2%となっています。

国や県と比較すると、「カ)インターネット空間(SNS、Youtubeやオンラインゲームなど)」で“そう思う”が国よりも10.6ポイント、県よりも8.6ポイント高くなっています。

性別でみると、「ウ)学校(卒業した学校を含む)」で“そう思う”が男性69.4%、女性60.2%と、男性が9.2ポイント高くなっています。

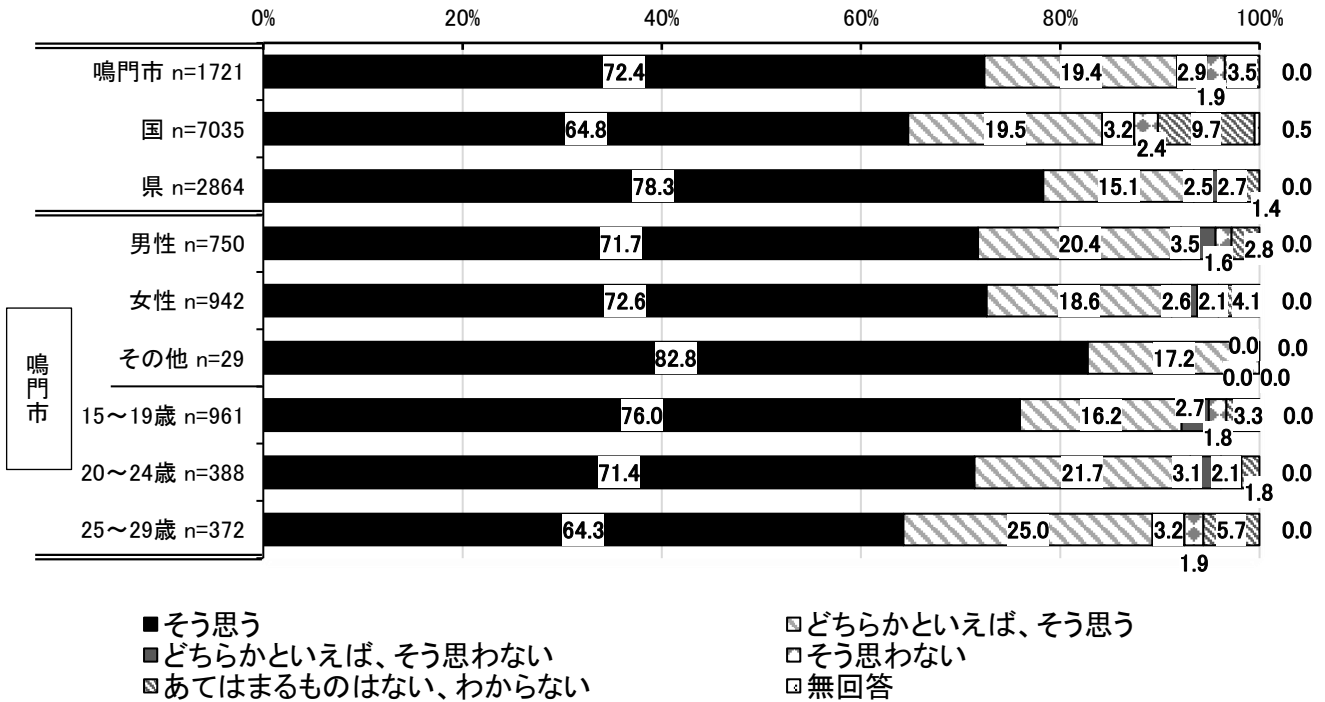
年齢別でみると、「カ)インターネット空間(SNS、Youtubeやオンラインゲームなど)」について、“そう思う”の割合は年齢を重ねるにつれて減少しています。

【全体】

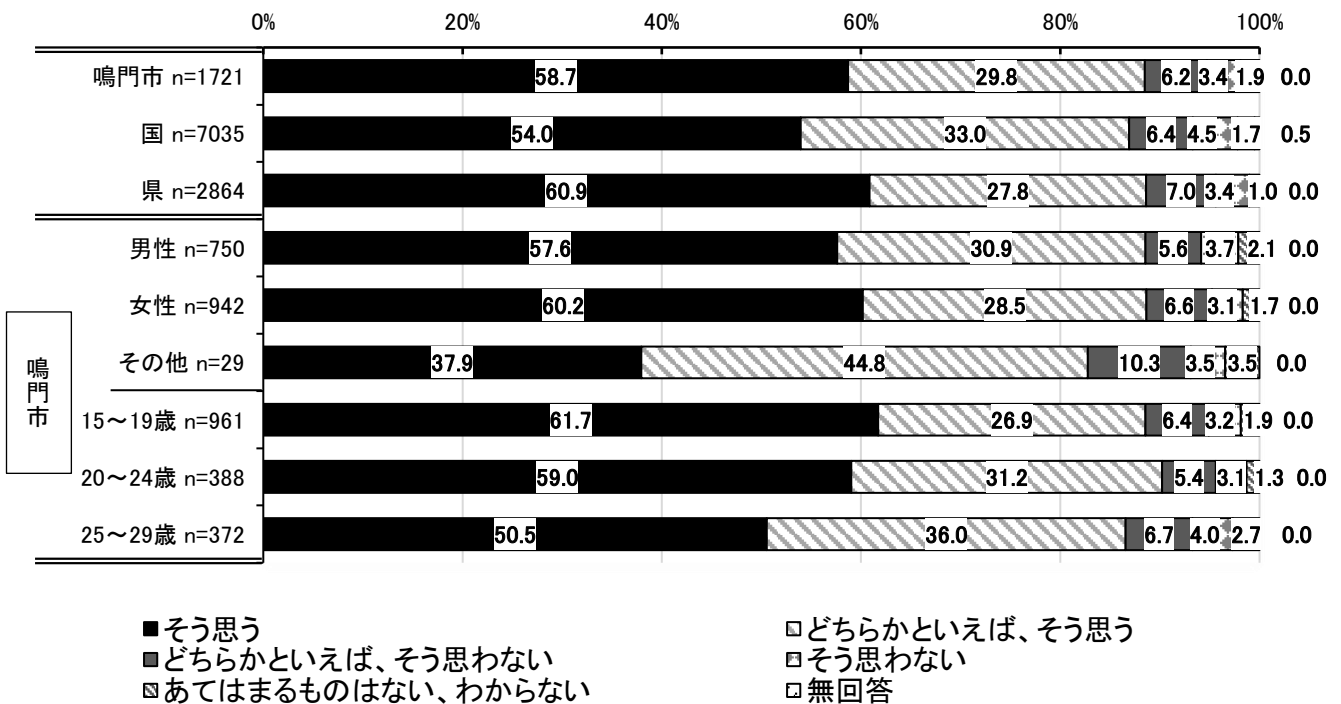


【全体・国・県・性別・年齢別】

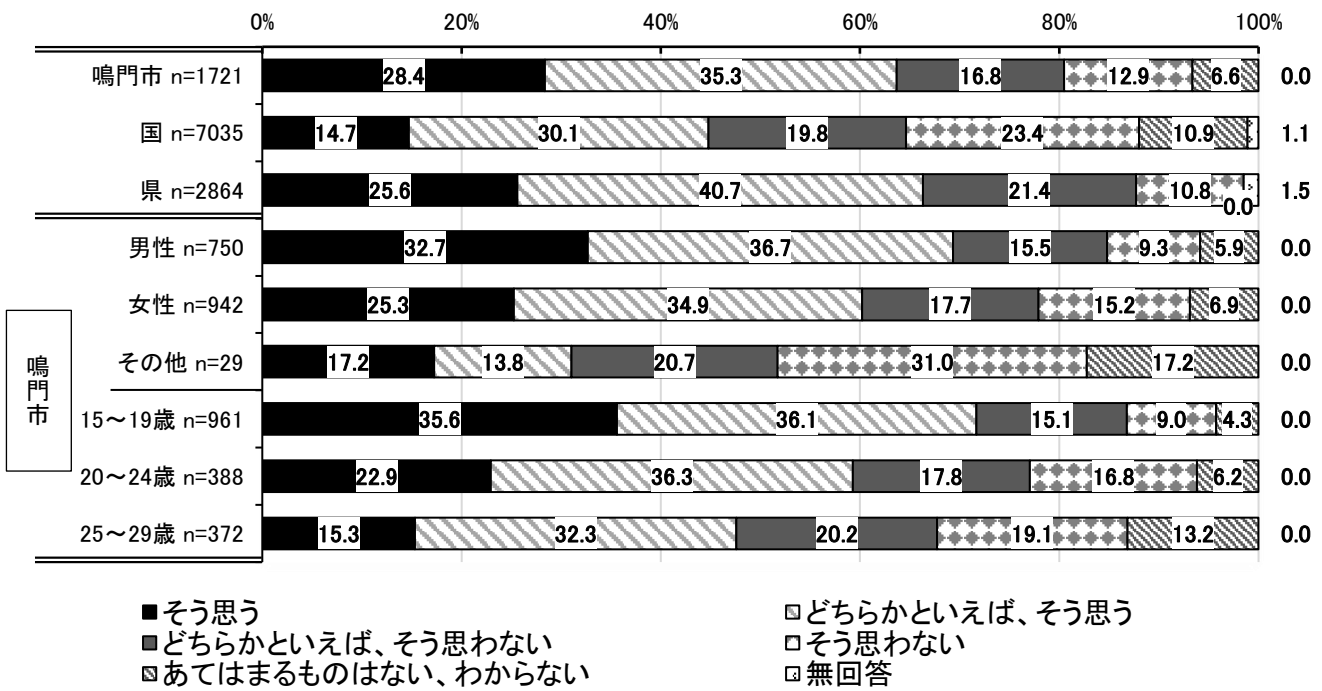
ア) 自分の部屋



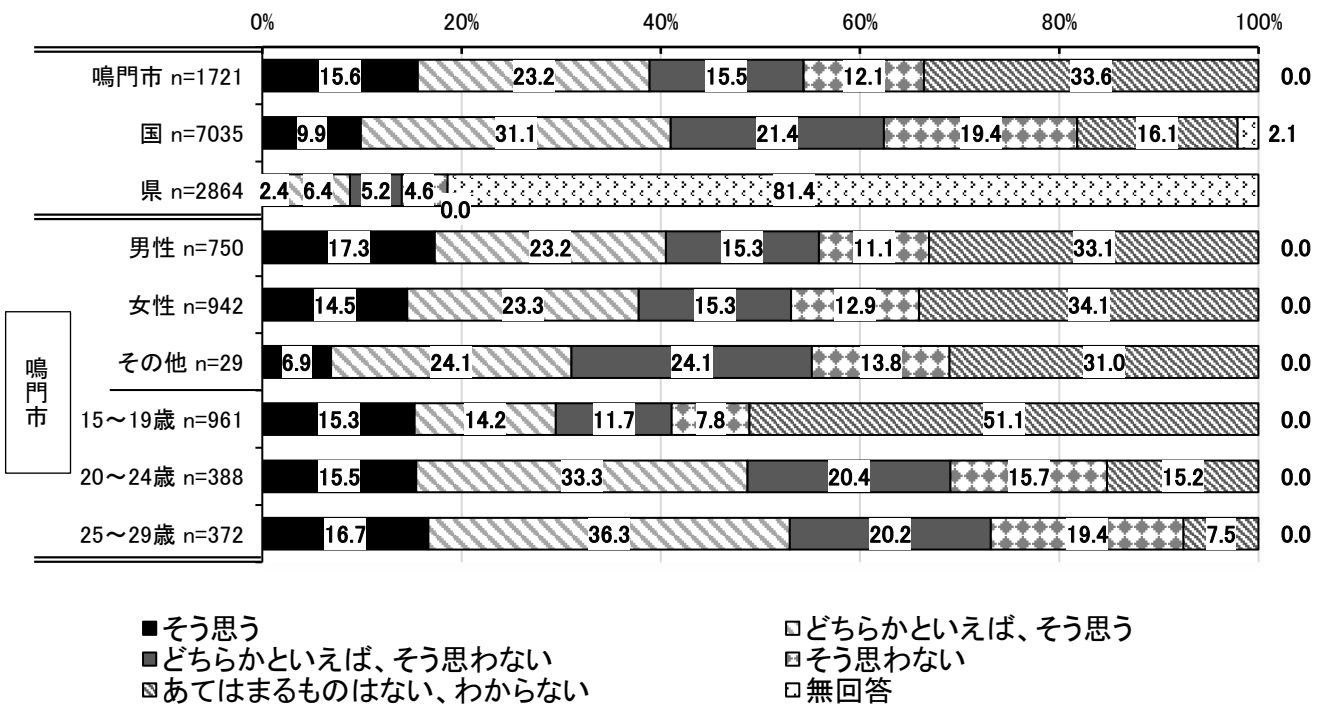
イ) 家庭（実家や親族の家を含む）



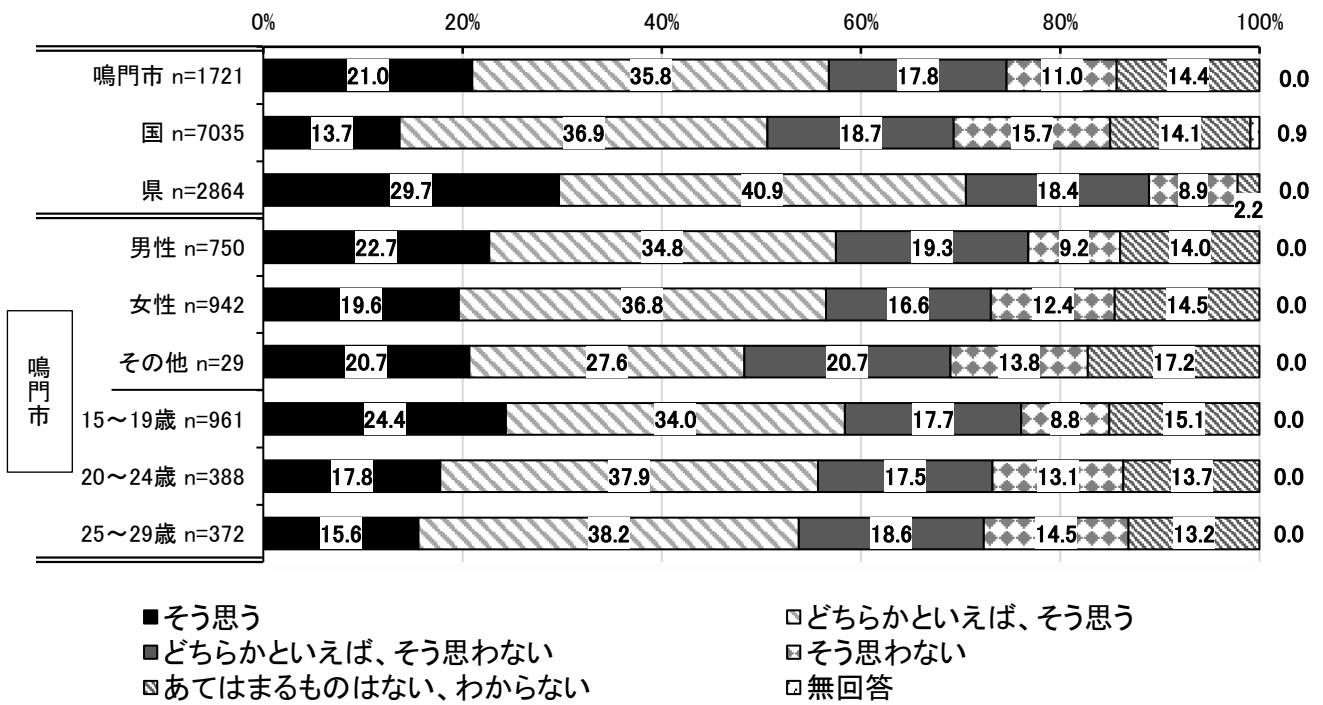
ウ) 学校（卒業した学校を含む）



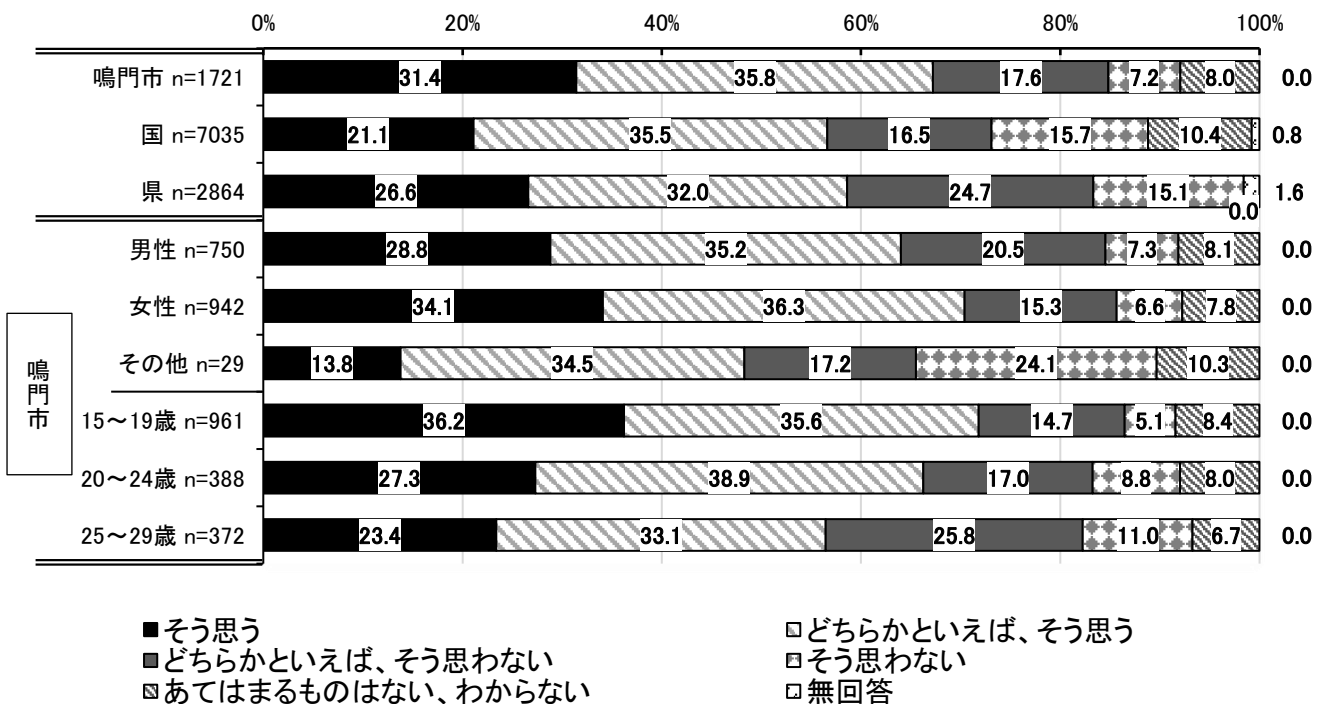
エ) 職場（過去の職場を含む）



オ) 地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）



カ) インターネット空間（SNS、Youtube やオンラインゲームなど）

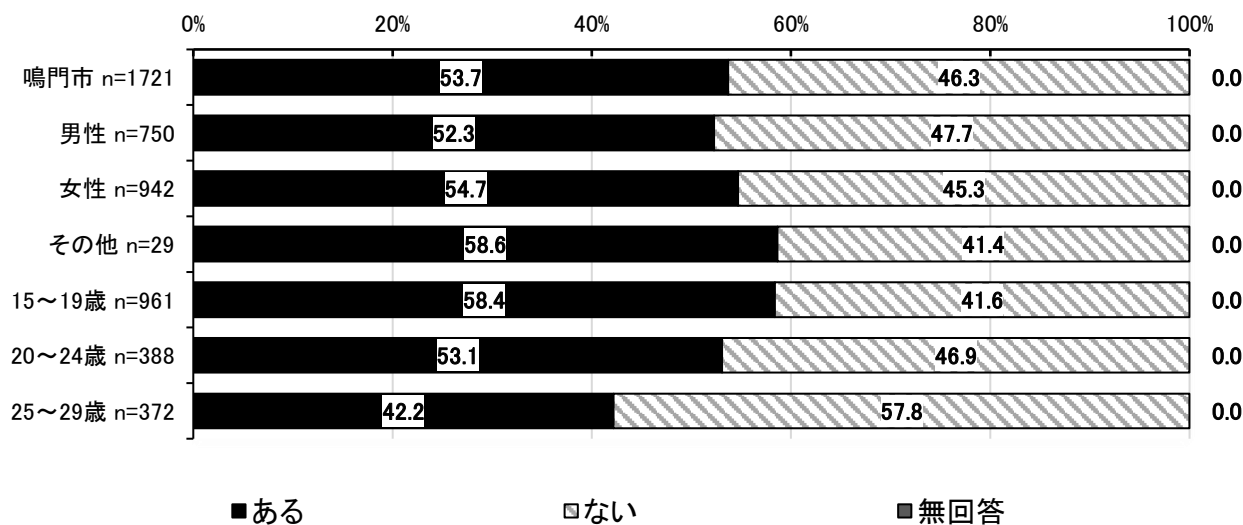


問 13 あなたは、家（普段寝起きをしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）、職場以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がありますか。（〇は1つ）

家や学校、職場以外に「ここに居たい」と感じる居場所について、「ある」53.7%、「ない」46.3%となっています。

年齢別でみると、「ない」の割合が年齢を重ねるにつれて高くなっており、「15～19歳」と「25～29歳」では16.2ポイントの差があります。

【全体・性別・年齢別】

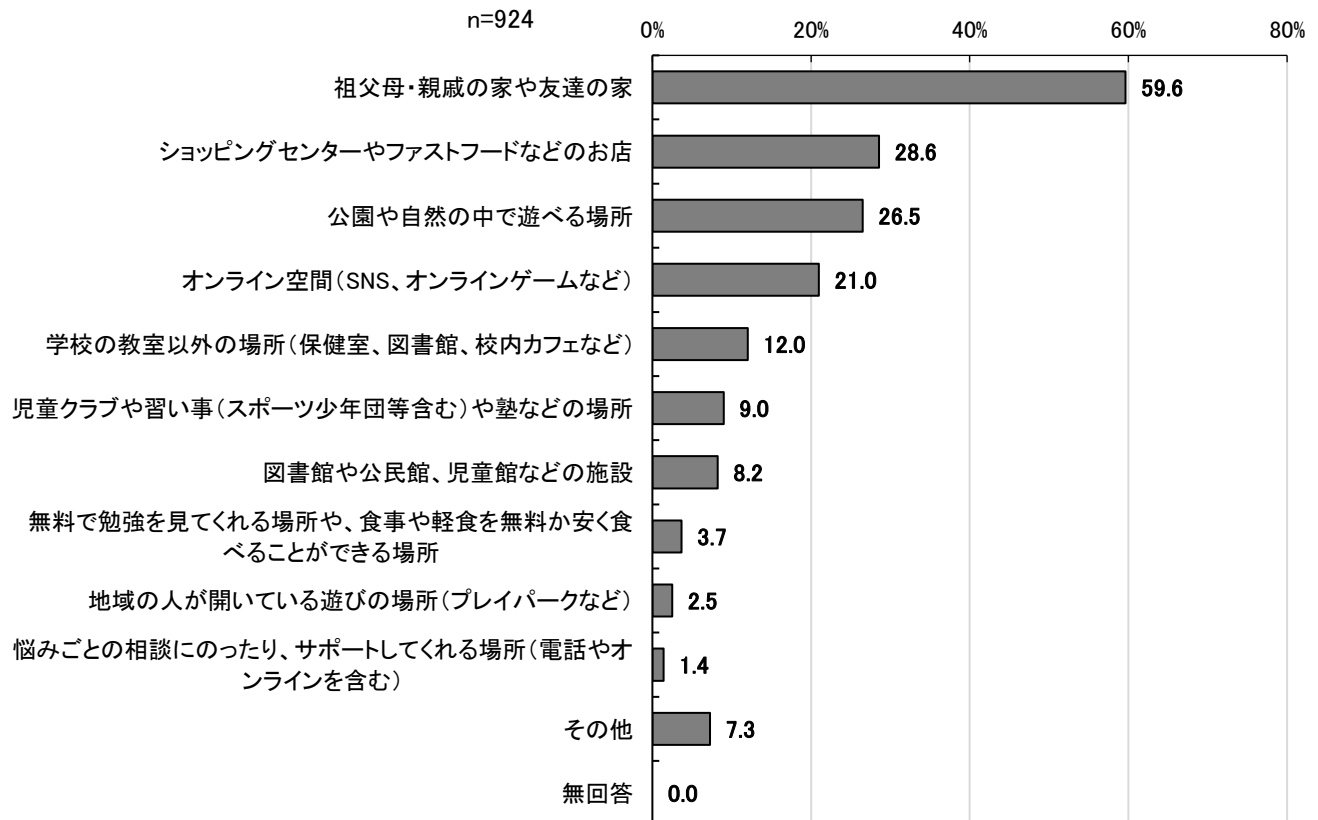


【問13で「1. ある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問14 そこは、次のうちどこですか。(〇はいくつでも)

家や学校、職場以外の居場所について、上位から「祖父母・親戚の家や友達の家」59.6%、「ショッピングセンターやファストフードなどのお店」28.6%、「公園や自然の中で遊べる場所」26.5%などの順となっています。

【全体】

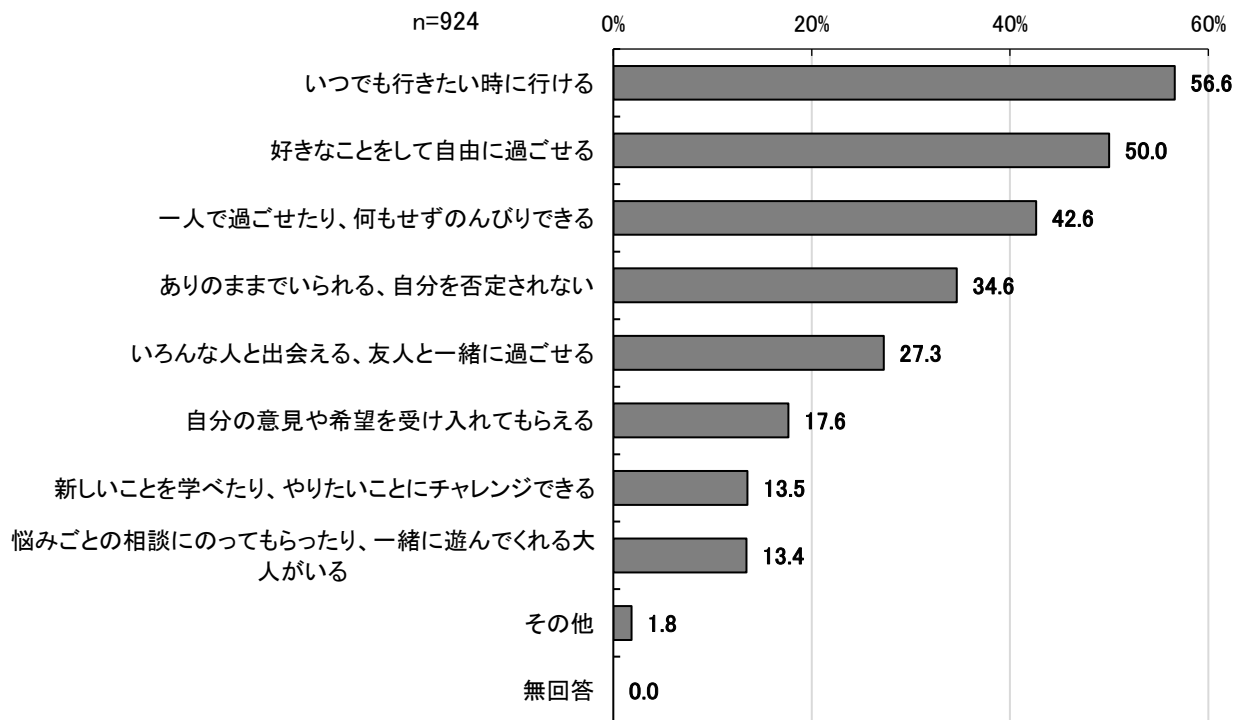


【問13で「1. ある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問15 そこは、あなたにとってどのような場所ですか。(〇はいくつでも)

場所の特徴について、上位から「いつでも行きたい時に行ける」56.6%、「好きなことをして自由に過ごせる」50.0%、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」42.6%などの順となっています。

【全体】

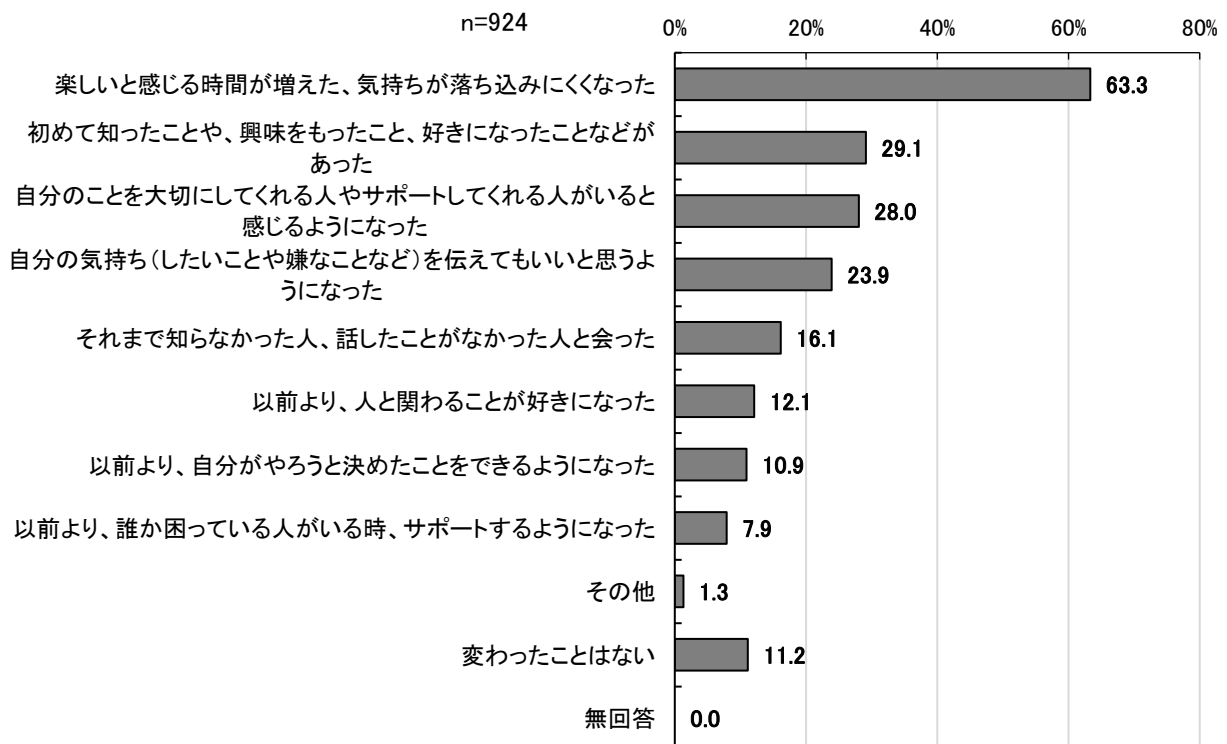


【問13で「1. ある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問16 その場所に行くようになって、変わったことがありますか。(○はいくつでも)

場所に行くようになってからの変化について、上位から「楽しいと感じる時間が増えた、気持ちが落ち込みにくくなった」63.3%、「初めて知ったことや、興味をもったこと、好きになったことなどがあつた」29.1%、「自分のことを大切にしてくれる人やサポートしてくれる人がいると感じるようになった」28.0%などの順となっています。

【全体】

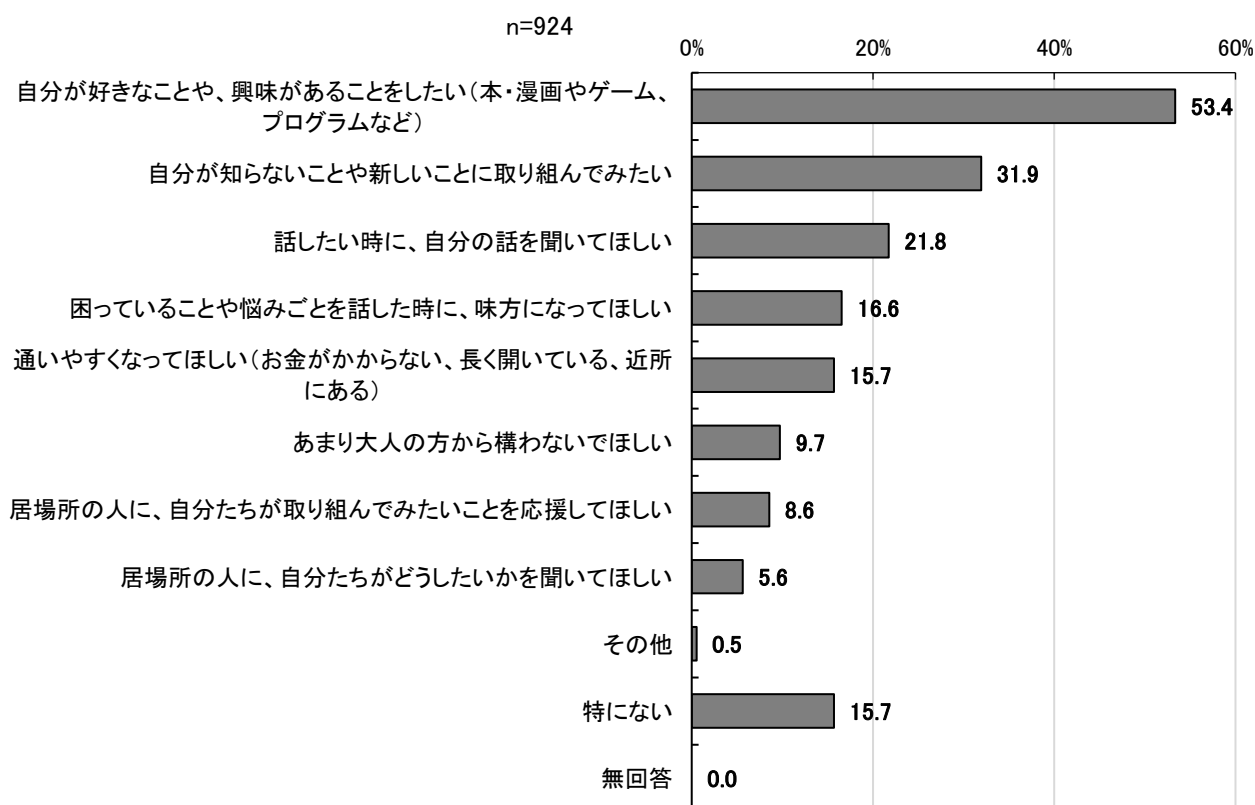


【問13で「1. ある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問17 あなたが、居場所でやってみたいことや、もっとこうだったらいいのと思うことはありますか。(〇はいくつでも)

居場所に対する要望について、上位から「自分が好きなことや、興味があることをしたい(本・漫画やゲーム、プログラムなど)」53.4%、「自分が知らないことや新しいことに取り組んでみたい」31.9%、「話したい時に、自分の話を聞いてほしい」21.8%などの順となっています。

【全体】

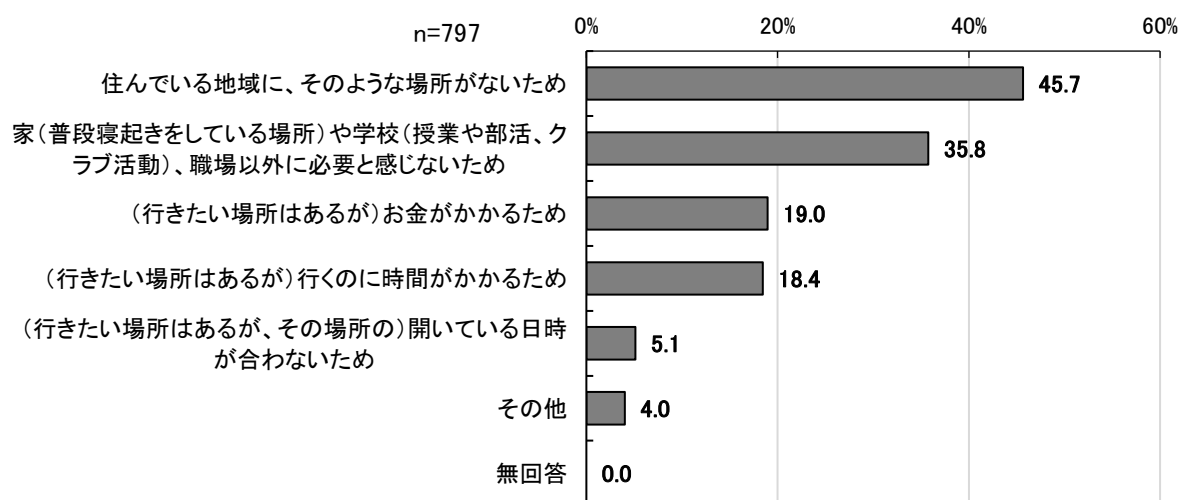


【問13で「2. ない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問18 家（普段寝起きをしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）、職場以外に、「ここに居たい」と感じる場所がない理由は、なぜですか。（〇はいくつでも）

家や学校、職場以外の居場所がないと感じる理由について、上位から「住んでいる地域に、そのような場所がないため」45.7%、「家（普段寝起きをしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）、職場以外に必要と感じないため」35.8%、「（行きたい場所はあるが）お金がかかるため」19.0%などの順となっています。

【全体】

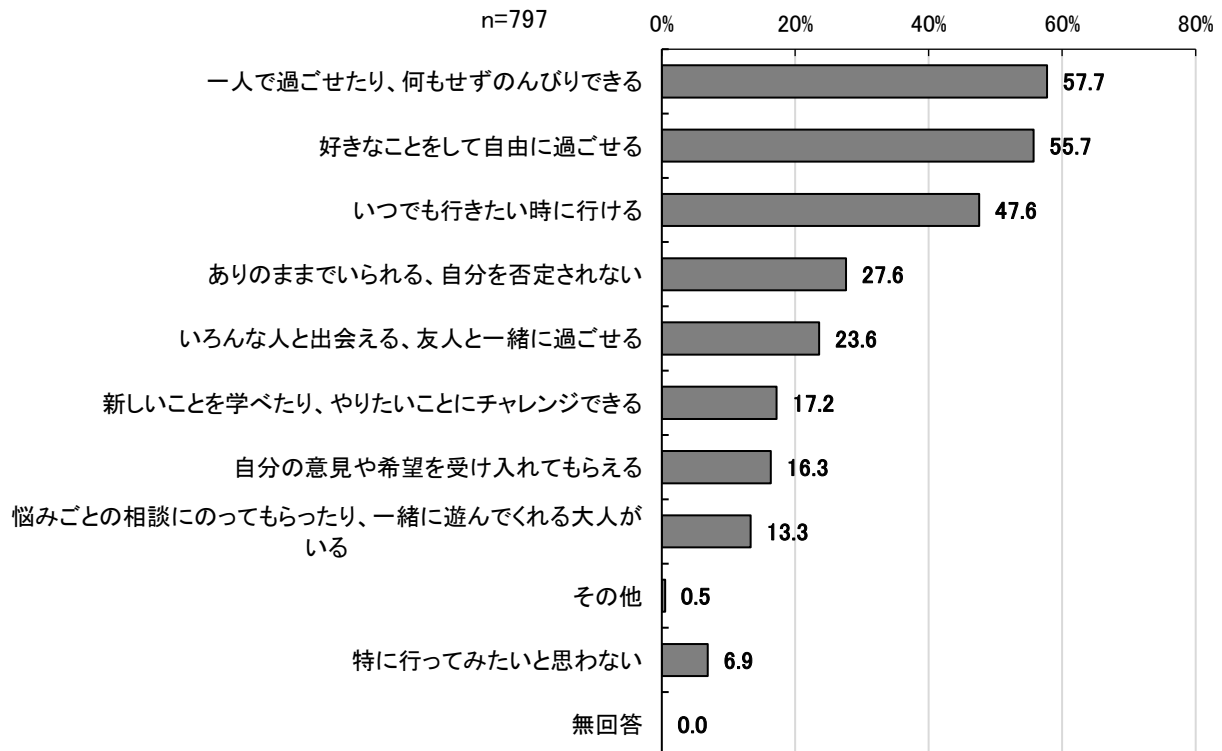


【問13で「2. ない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問19 あなたは、どのような場所であれば行ってみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

どのような居場所であれば行きたいと思うかについて、上位から「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」57.7%、「好きなことをして自由に過ごせる」55.7%、「いつでも行きたい時に行ける」47.6%などの順となっています。

【全体】



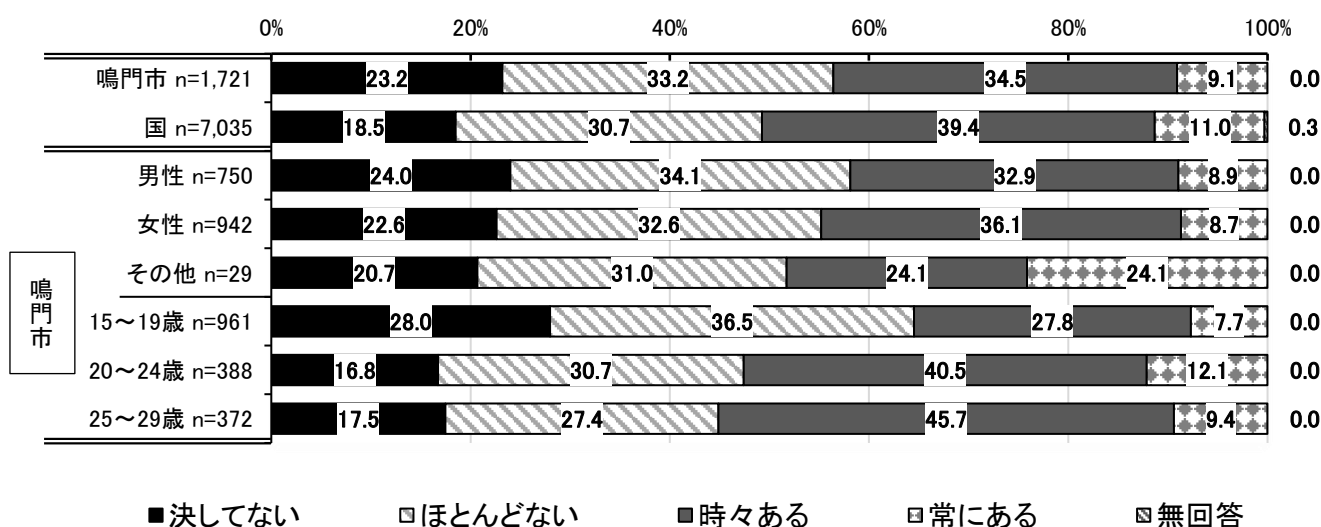
問 20 以下のア)～ウ)の項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。(それぞれについて、○は1つ)

孤独感に関するア)からウ)の各項目について、“感じることもある”(「時々ある」と「常にある」の割合の合計)は4割程度となっています。

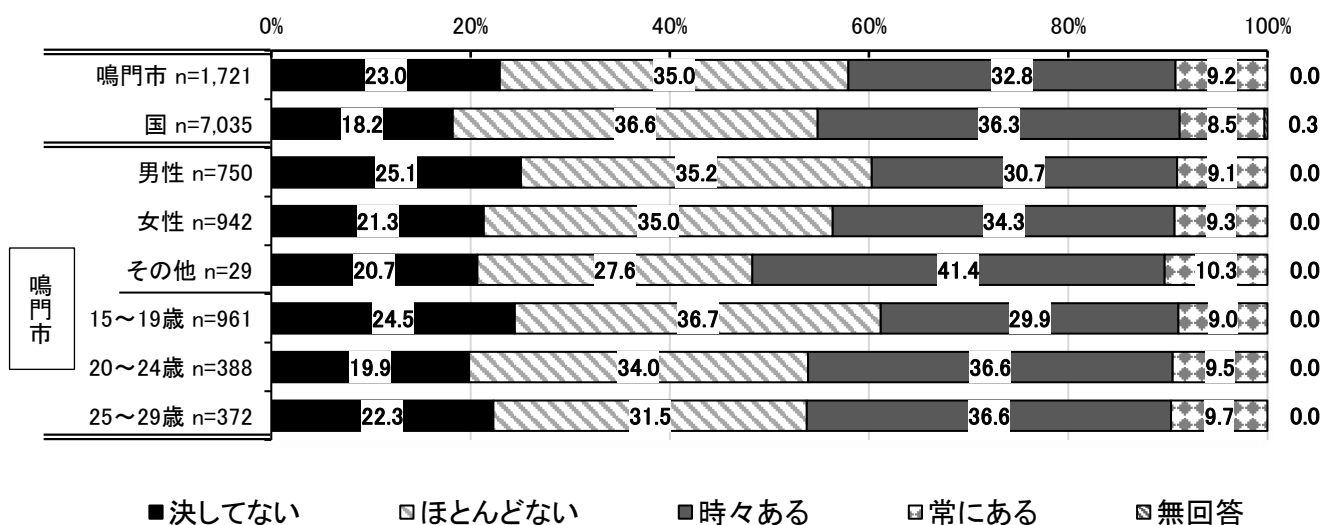
「UCLA 孤独感尺度」の日本語版の3項目短縮版でみると、“感じることもある”は全体で52.5%となっており、年齢を重ねるにつれて、“感じることもある”の割合が高くなっています。

【全体・国・性別・年齢別】

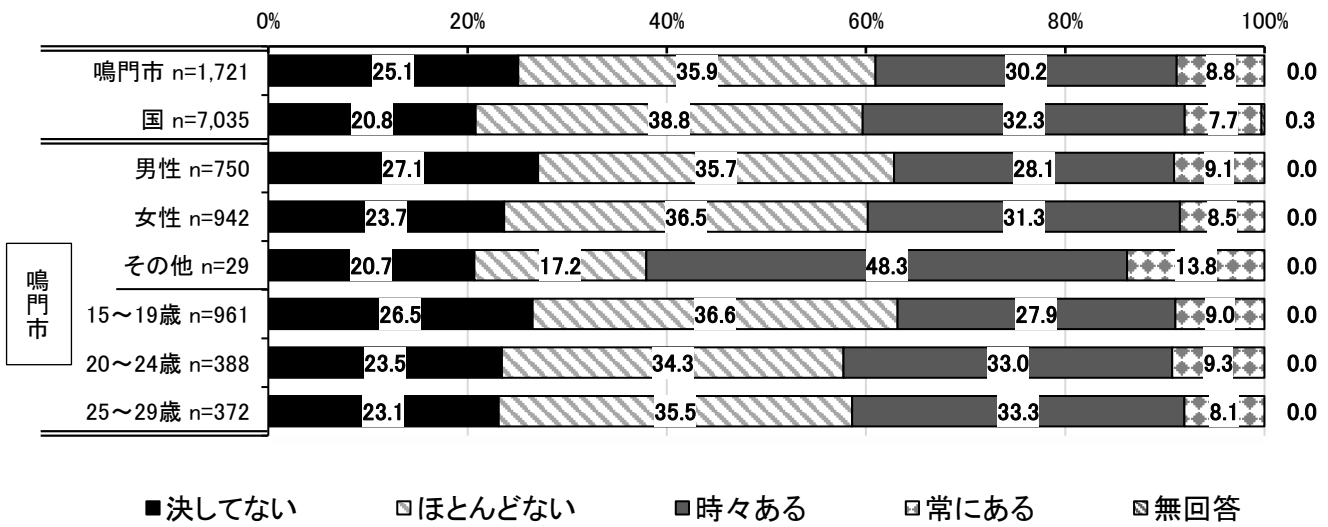
ア) 自分には人とのつきあいが無いと感じることがある



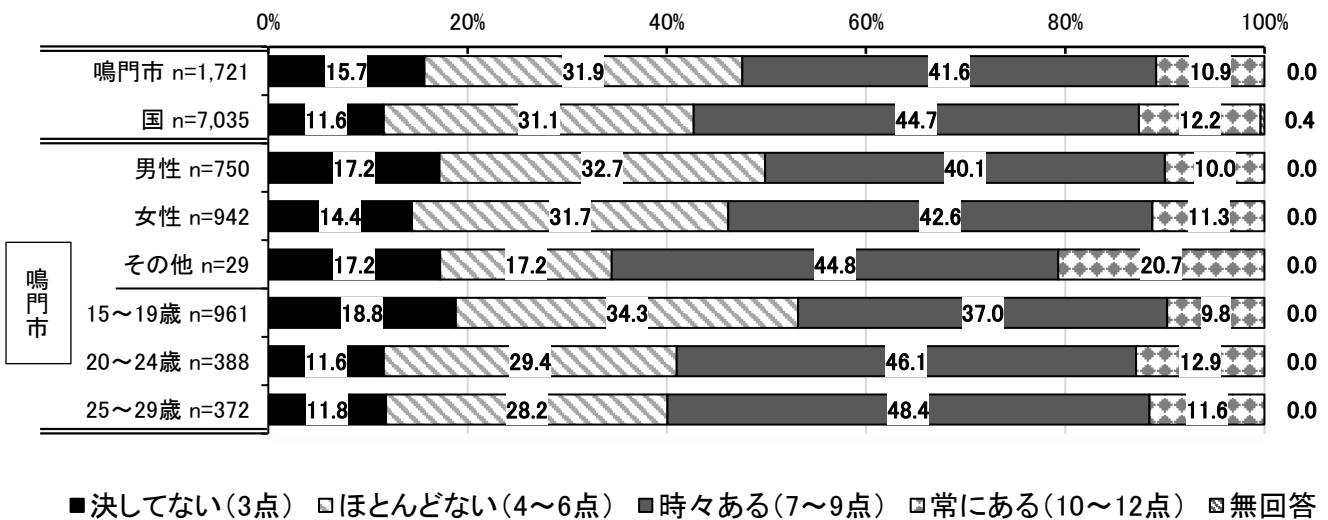
イ) 自分は取り残されていると感じることがある



ウ) 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある



【数値化指標 「UCLA 孤独感尺度」の日本語版の3項目短縮版】



※数値指標化について

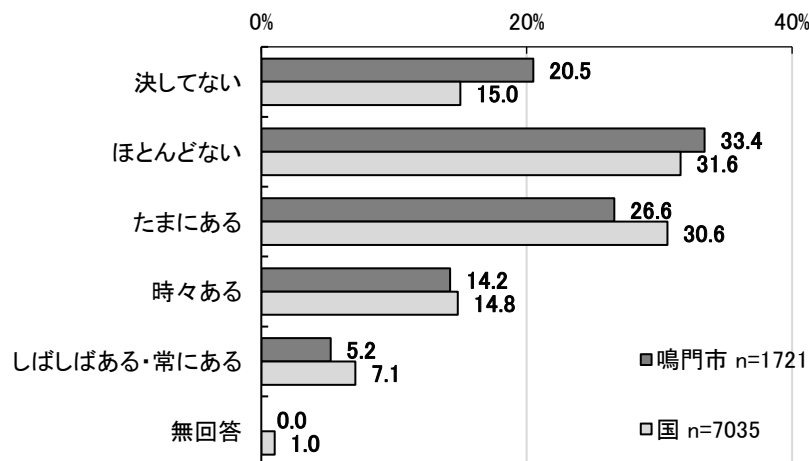
(「決してない」を1点、「ほとんどない」を2点、「時々ある」を3点、「常にある」を4点としてスコア化し、ア)～ウ)の合計スコアを4区分に整理したもの)

問 21 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(〇は1つ)

孤独であると感じる頻度について、“ある”（「たまにある」、「時々ある」、「しばしばある・常にある」の割合の合計）は46.0%、“ない”（「決してない」と「ほとんどない」の割合の合計）は53.9%となっています。

国と比較しても、大きな違いはみられませんでした。

【全体・国】



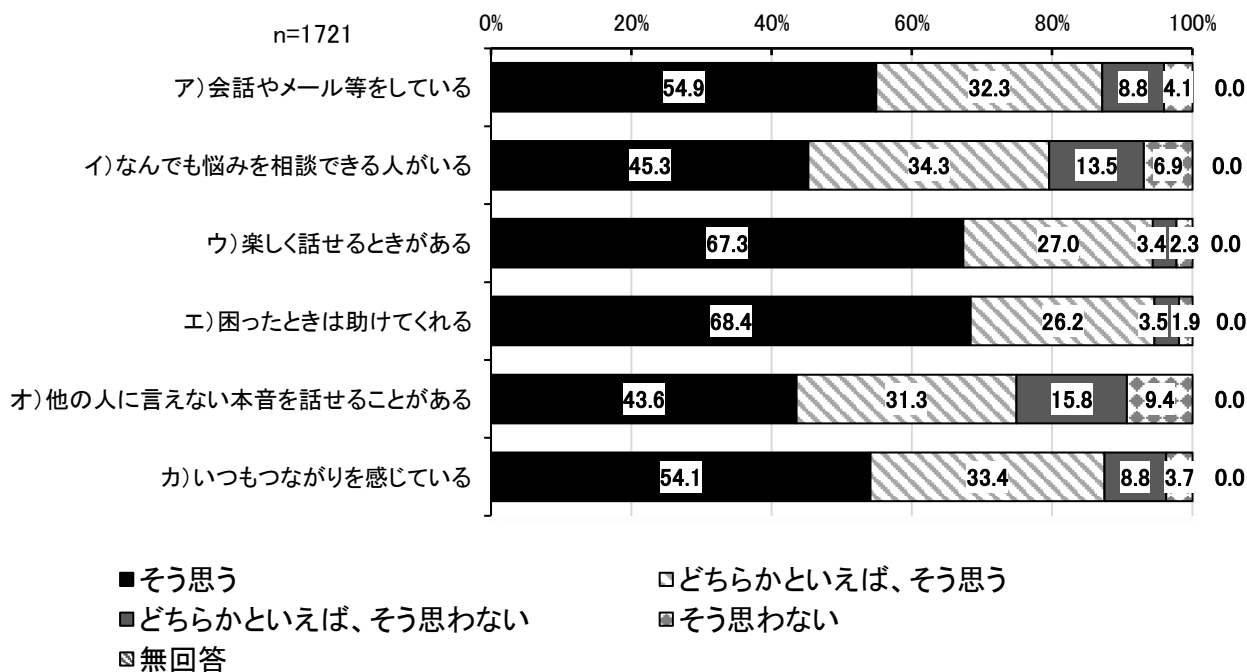
問 22 家族・親族とあなたのかかわりは、どのようなものですか。

(それぞれについて、○は1つ)

家族・親族とのかかわりについて、各項目に対して“そう思う”(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の割合の合計)は7割を超えており、特に「ウ) 楽しく話せるときがある」は94.3%、「エ) 困ったときは助けてくれる」は94.6%と9割を超えています。

一方、“そう思わない”(「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の割合の合計)は「オ) 他の人に言えない本音を話せることがある」で25.2%と他の項目に比べて高くなっています。

【全体】

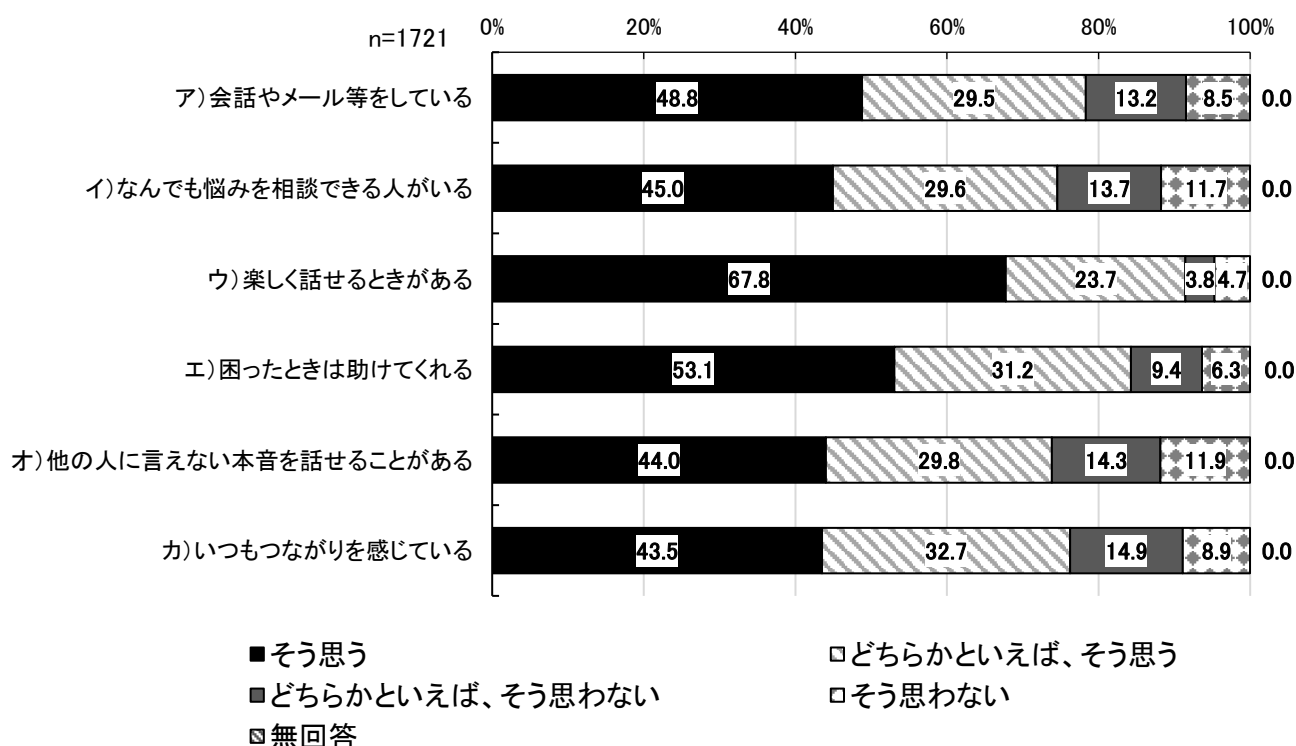


問 23 学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同級生など）と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。
（それぞれについて、○は1つ）

学校で出会った友人とのかかわりについて、各項目に対して“そう思う”（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の割合の合計）は7割を超えており、特に「ウ）楽しく話せるときがある」は91.5%と9割を超えています。

一方、“そう思わない”（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の割合の合計）は、ウ）とエ）を除く項目で2割を超えています。

【全体】



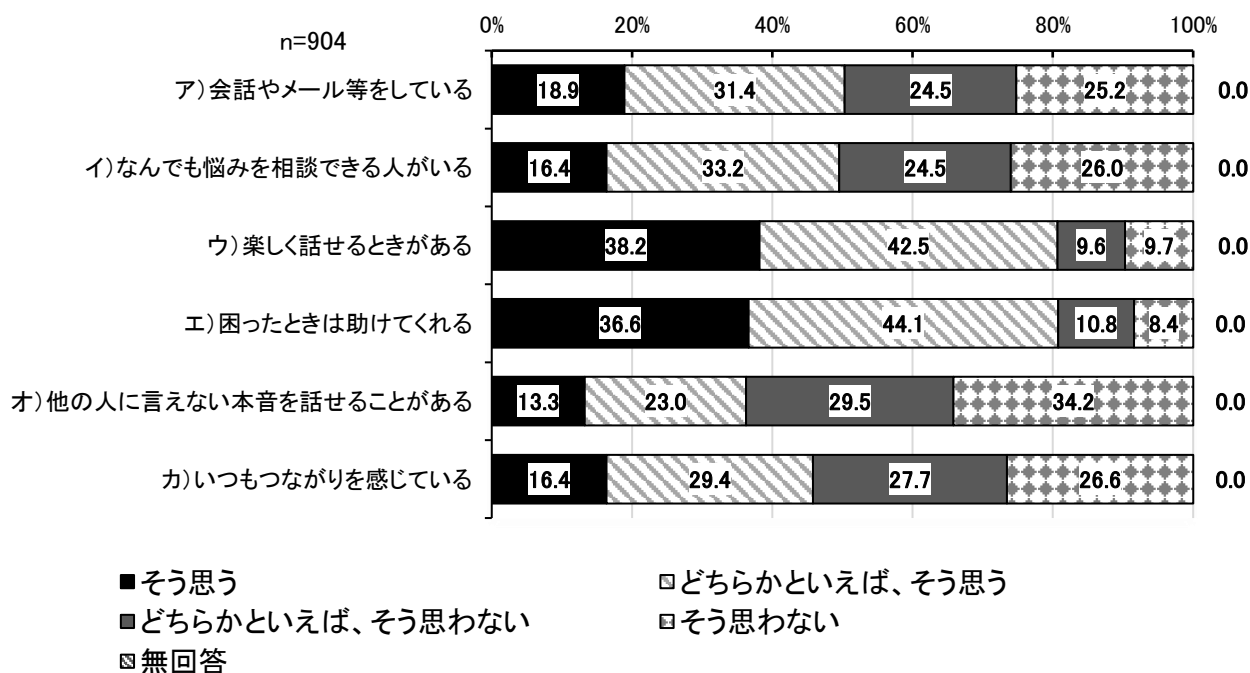
【問9で「1. 現在、就業している」、「2. 現在、就業しているが、休職や休業中である」、「3. 現在は就業していないが、過去に就業経験がある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問24 職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。（それぞれについて、○は1つ）

職場・アルバイト関係の人とのかかわりについて、“そう思う”（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の割合の合計）は「ウ）楽しく話せるときがある」と「エ）困ったときは助けてくれる」は8割を超えています。

一方、“そう思わない”（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の割合の合計）は、「オ）他の人に言えない本音を話せることがある」で63.7%と他の項目に比べて高くなっています。

【全体】

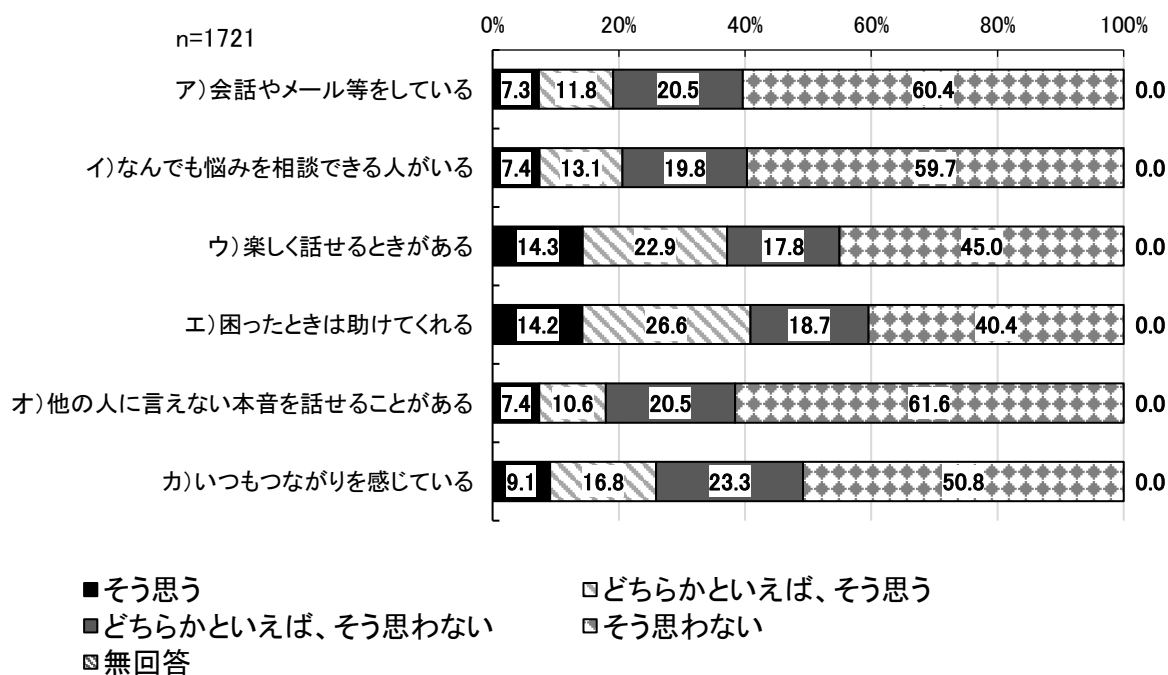


【全員にお聞きします】

問 25 地域の人（近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加している NPO 法人など）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（それぞれについて、○は1つ）

地域の人とのかかわりについて、すべての項目で“そう思わない”（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の割合の合計）が半数以上を占めています。

【全体】

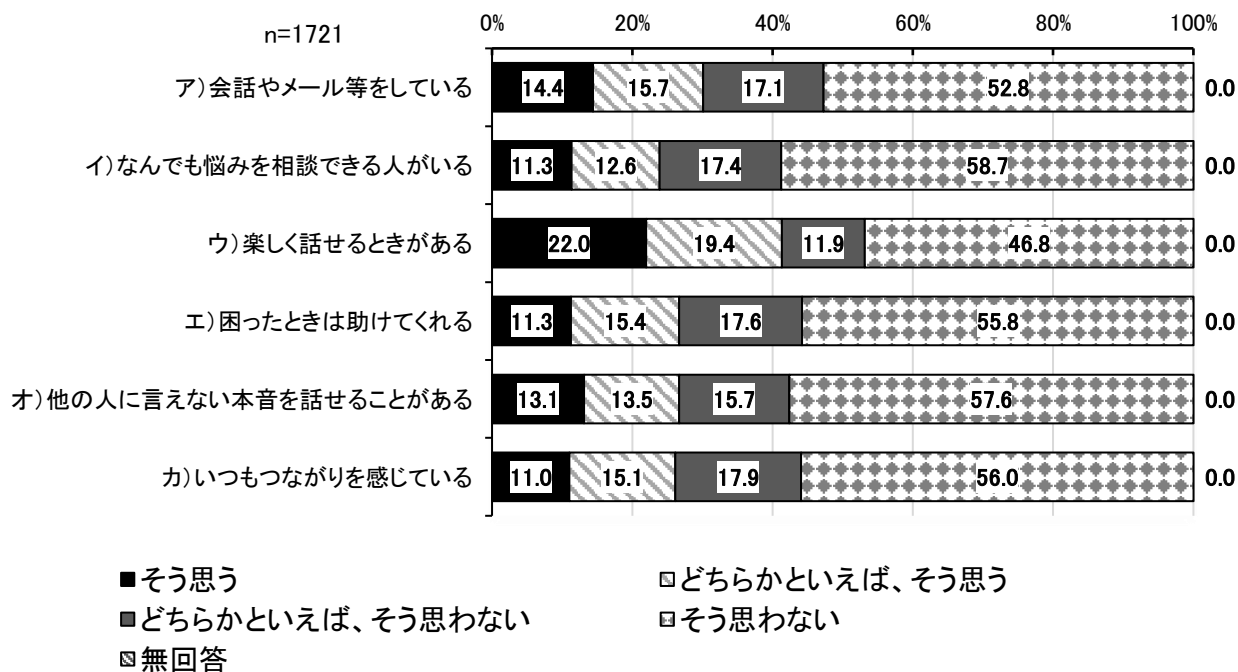


問 26 インターネット上における人やグループ(実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ)と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。
(それぞれについて、○は1つ)

インターネット上における人とのかかわりについて、すべての項目で“そう思わない”(「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の割合の合計)が半数以上を占めています。

一方で、“そう思う”(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の割合の合計)は「ウ) 楽しく話せるときがある」で41.4%と4割を超えています。

【全体】

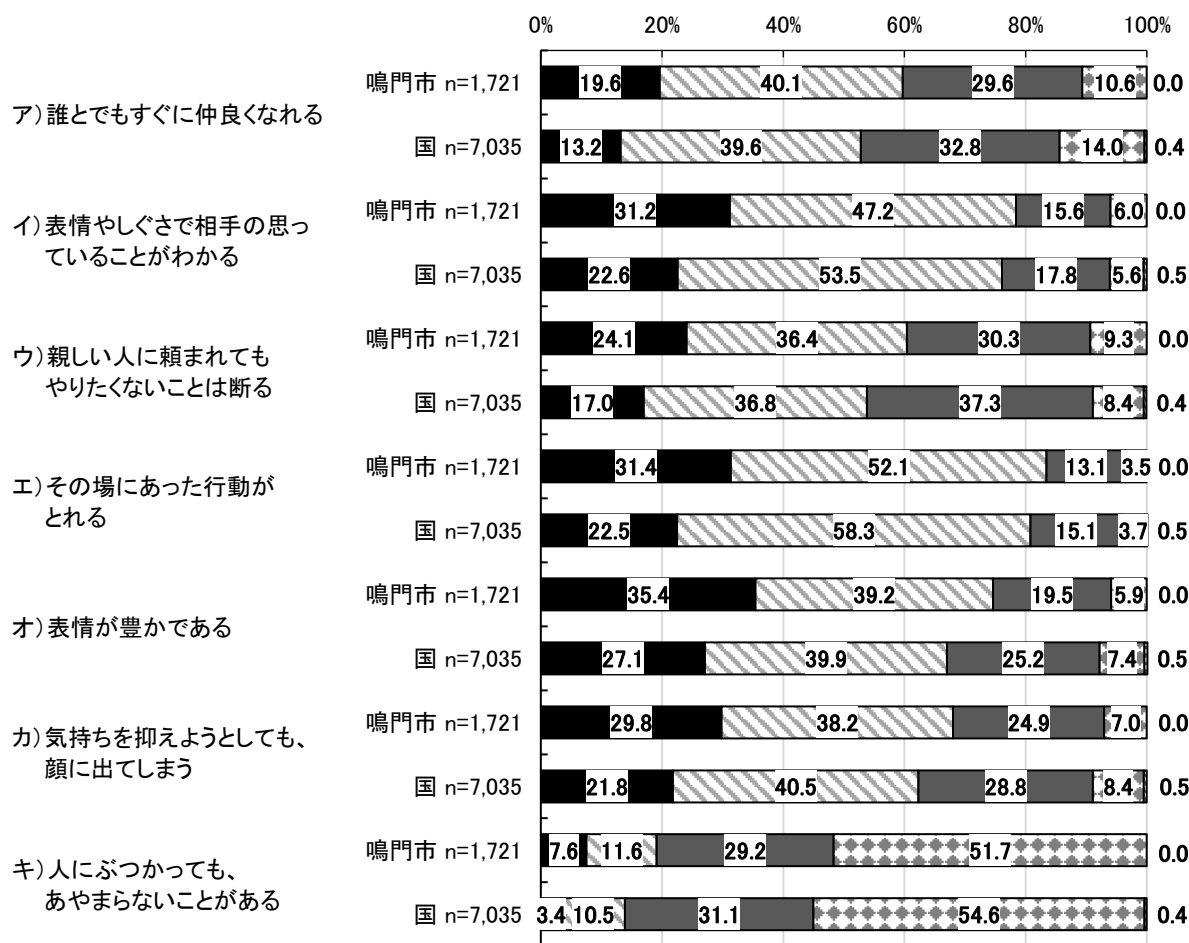


問 27 あなたは、他の人と付き合う時、次のようなことがどのくらいあてはまりますか。
(それぞれについて、○は1つ)

他の人との付き合い方について、“あてはまる”(「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の割合の合計)は上位から「エ) その場にあった行動がとれる」83.5%、「イ) 表情やしぐさで相手の思っていることがわかる」78.4%、「オ) 表情が豊かである」74.6%などの順となっています。

国と比較すると、すべての項目で“あてはまる”が上回っています。

【全体・国】

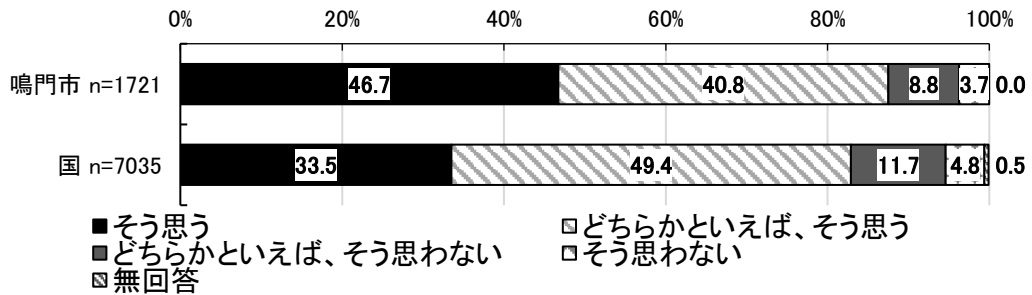


■あてはまる □どちらかといえば、あてはまる
 ■どちらかといえば、あてはまらない □あてはまらない
 □無回答

問 28 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(〇は1つ)

社会のために役立つことをしたいと思うかについて、“そう思う”(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の割合の合計)は87.5%と約9割が社会貢献したいと思っています。

【全体・国】

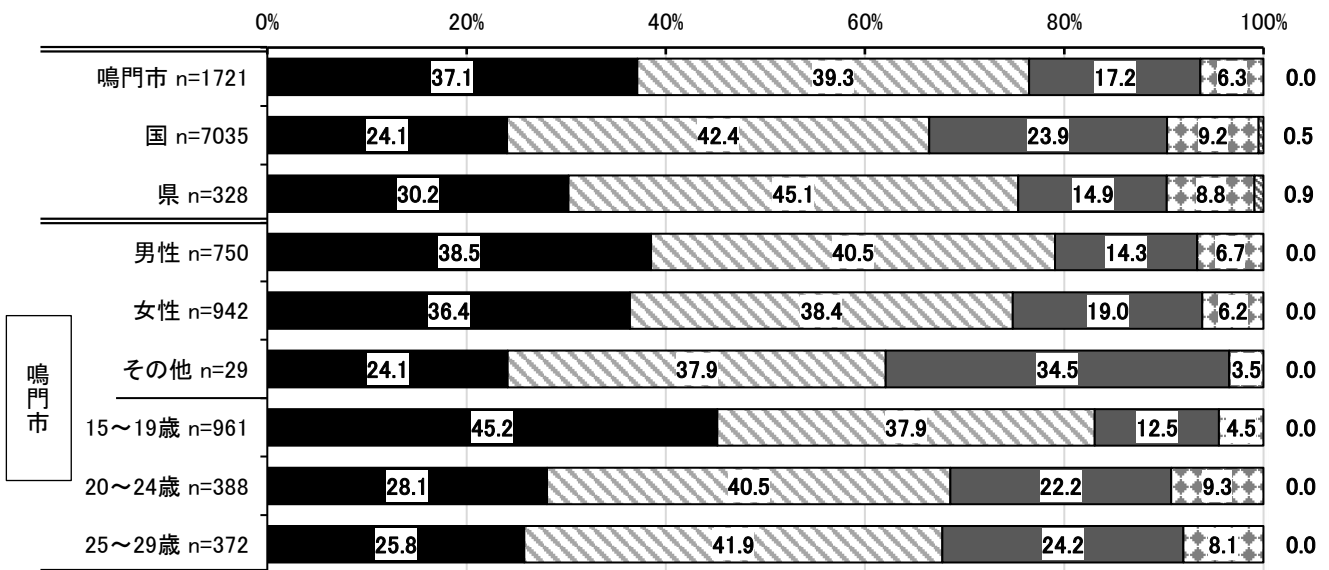


問 29 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(〇は1つ)

自分の将来への明るい希望について、“希望がある”(「希望がある」と「どちらかといえば希望がある」の割合の合計)は全体で76.4%と7割を超えています。

年齢別で見ると、「15～19歳」は“希望がある”が83.1%と他の年代に比べて高くなっています。

【全体・国・県・性別・年齢別】



■希望がある □どちらかといえば希望がある ■どちらかといえば希望がない □希望がない □無回答

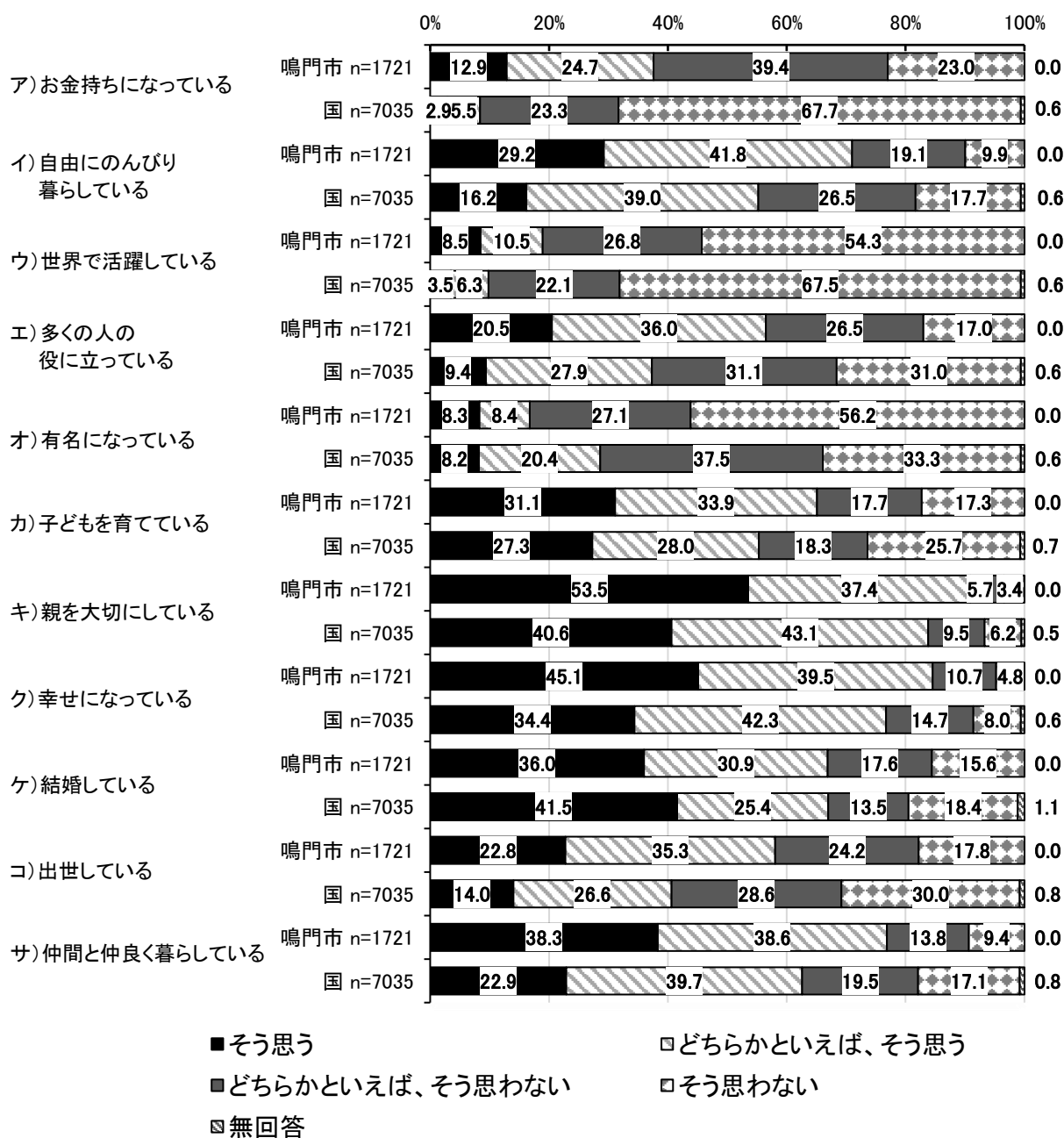
問 30 あなたは20年後、どのようになっていると思いますか。

(それぞれについて、○は1つ)

20年後の姿について、“そう思う”(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の割合の合計)は上位から「キ)親を大切にしている」90.9%、「ク)幸せになっている」84.6%、「サ)仲間と仲良く暮らしている」76.9%などの順となっています。

また、結婚・子育てに関する項目として、「カ)子どもを育てている」は65.0%、「ケ)結婚している」は66.9%とともに6割を超えています。

【全体・国】



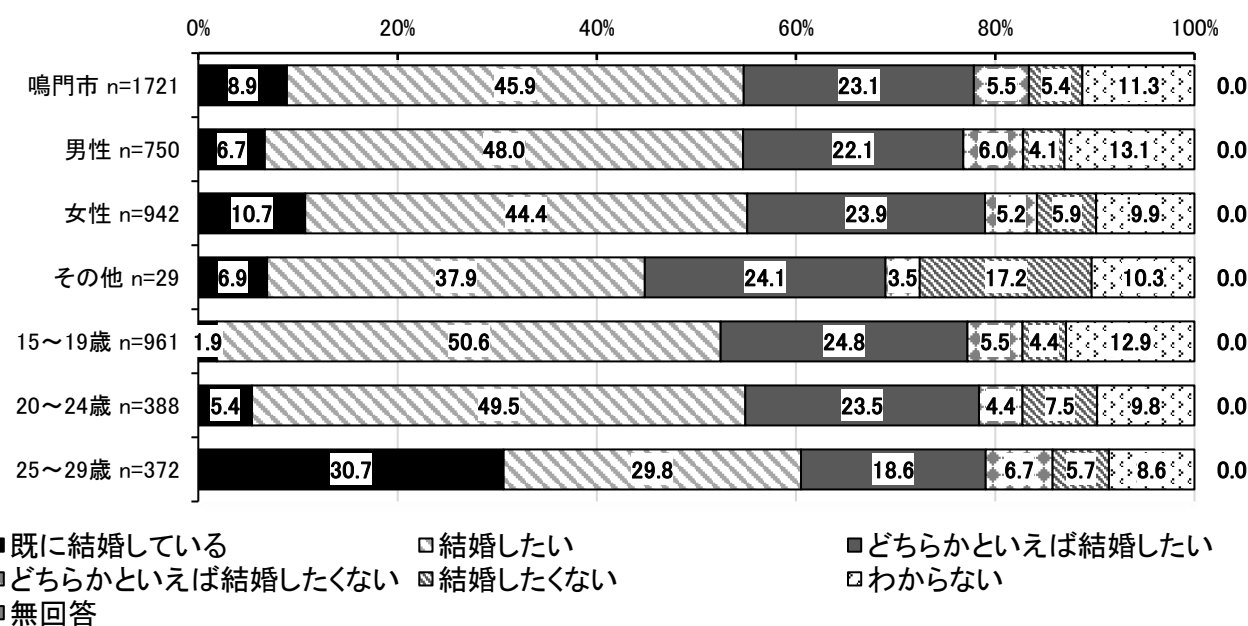
問31 あなたは、将来結婚したいと思いますか。(〇は1つ)

将来の結婚願望について、“結婚したい”(「結婚したい」、「どちらかといえば、結婚したい」の割合の合計)は69.0%となっています。

一方で、“結婚したくない”(「結婚したくない」、「どちらかといえば、結婚したくない」の割合の合計)は10.9%となっています。

年齢別でみると、「25～29歳」では「既に結婚している」30.7%となっています。

【全体・性別・年齢別】



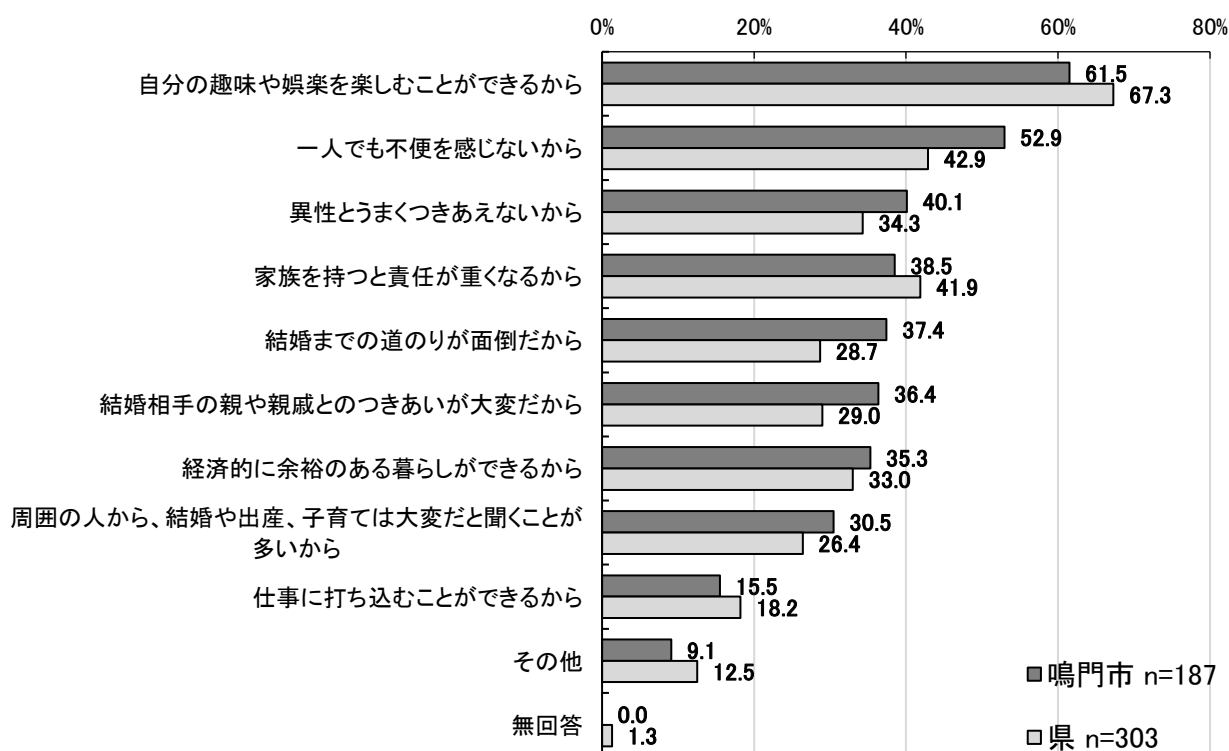
【問31で「4. どちらかといえば結婚したくない」、「5. 結婚したくない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問32 あなたは、「どちらかといえば結婚したくない」、「結婚したくない」と思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

結婚したくないと思う理由について、上位から「自分の趣味や娯楽を楽しむことができるから」61.5%、「一人でも不便を感じないから」52.9%、「異性とうまくつきあえないから」40.1%などの順となっています。

県と比較すると、「一人でも不便を感じないから」が10.0ポイント高くなっています。

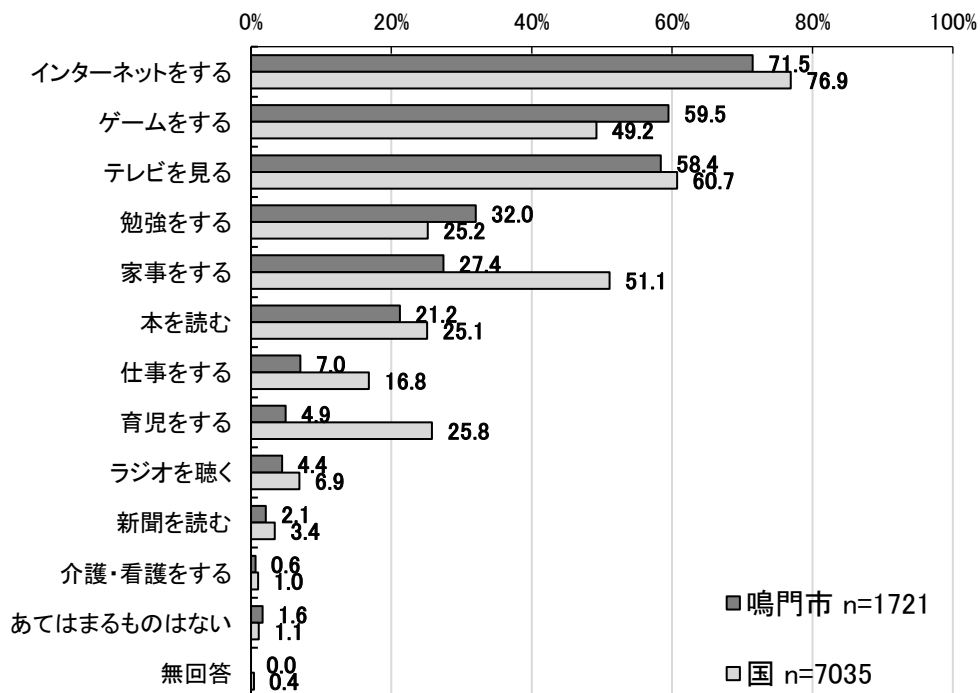
【全体・県】



問 33 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。
よくしていることをすべて選んでください。（〇はいくつでも）

自宅（暮らしている場所）での時間の使い方について、上位から「インターネットをする」71.5%、「ゲームをする」59.5%、「テレビを見る」58.4%などの順となっています。
国と比較すると、「家事をする」が23.7ポイント低くなっています。

【全体・国】



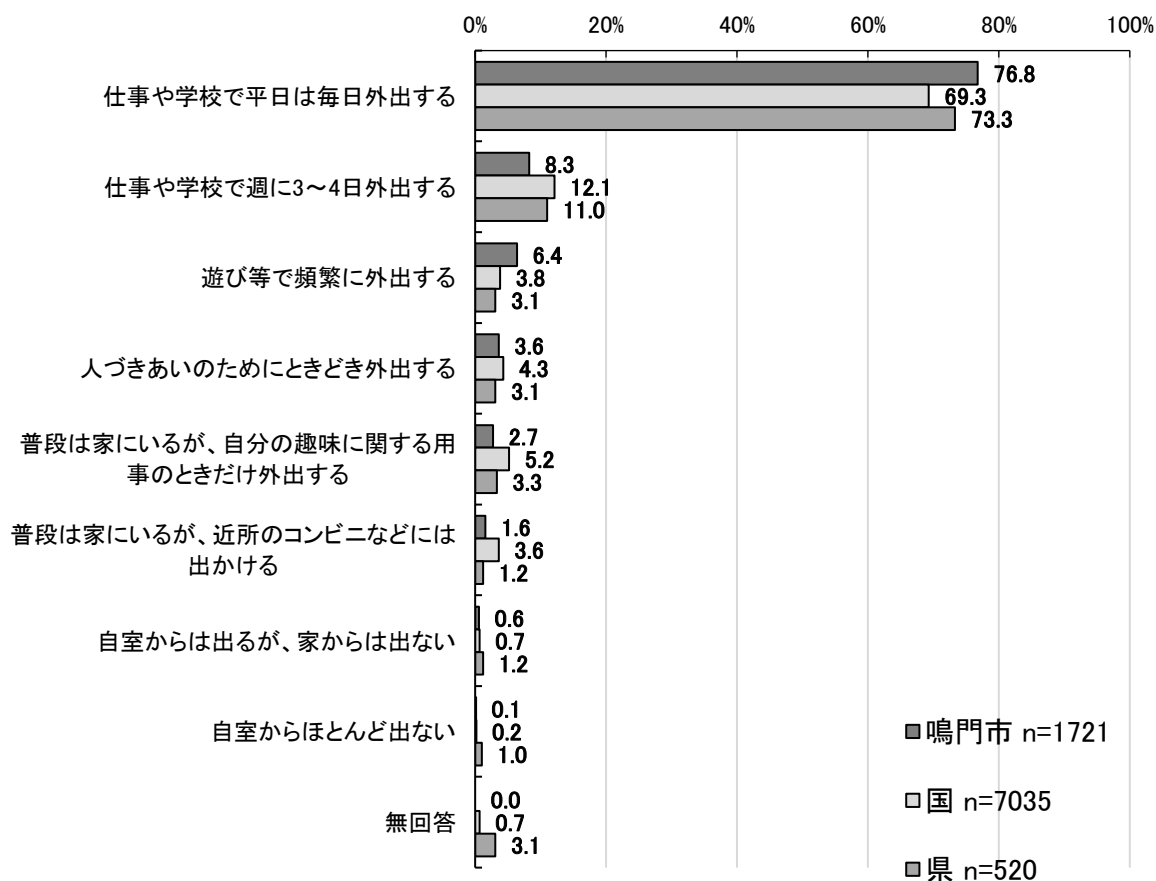
問34 あなたは普段どのくらい外出しますか、現在のことについてお答えください。
(〇は1つ)

普段の外出状況について、上位から「仕事や学校で平日は毎日外出する」76.8%、「仕事や学校で週に3～4日外出する」8.3%、「遊び等で頻繁に外出する」6.4%などの順となっています。

また、“普段は家にいる”（「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」の割合の合計）は5.0%となっています。

国や県と比較しても、大きな違いはみられませんでした。

【全体・国・県】



【問 34 で「5」～「8」を選んだ方のみ、お答えください。】

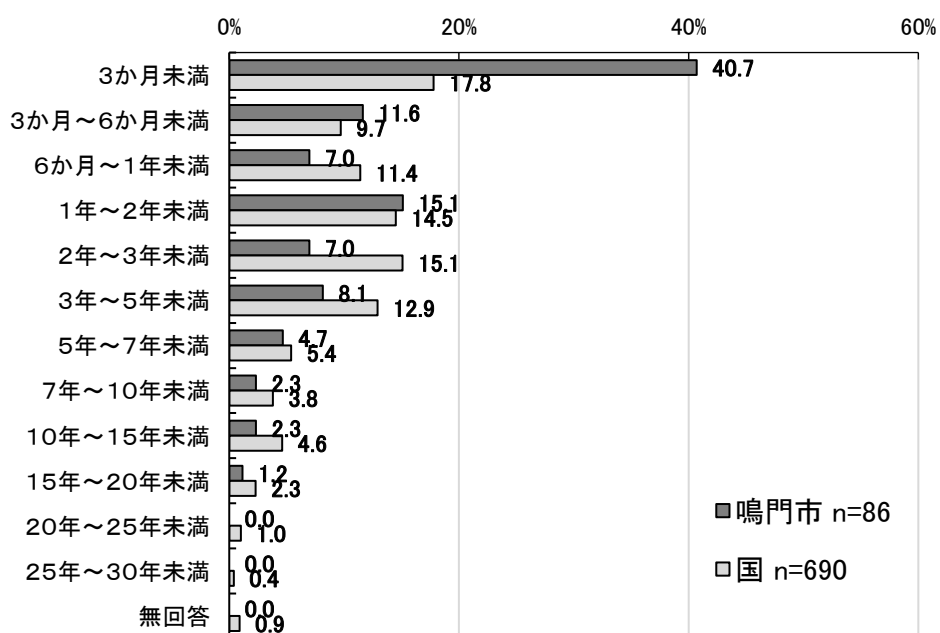
問 35 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(〇は1つ)

外出状況が現在の状態になってからの期間について、「3か月未満」が40.7%と4割を占めています。

また、“半年以上”(「6か月～1年未満」から「25年～30年未満」までの割合の合計)は47.7%となっています。

国と比較すると、「3か月未満」が20ポイント以上高くなっています。

【全体・国】



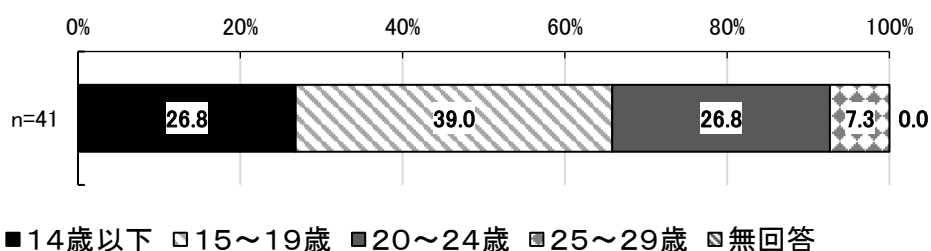
【問 36～問 39 は、問 35 で「3」～「12」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 36 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。

(数字で具体的に)

外出状況が現在の状態になったときの年齢について、上位から「15～19歳」39.0%、「14歳以下」と「20～24歳」26.8%、「25～29歳」7.3%となっています。

【全体】

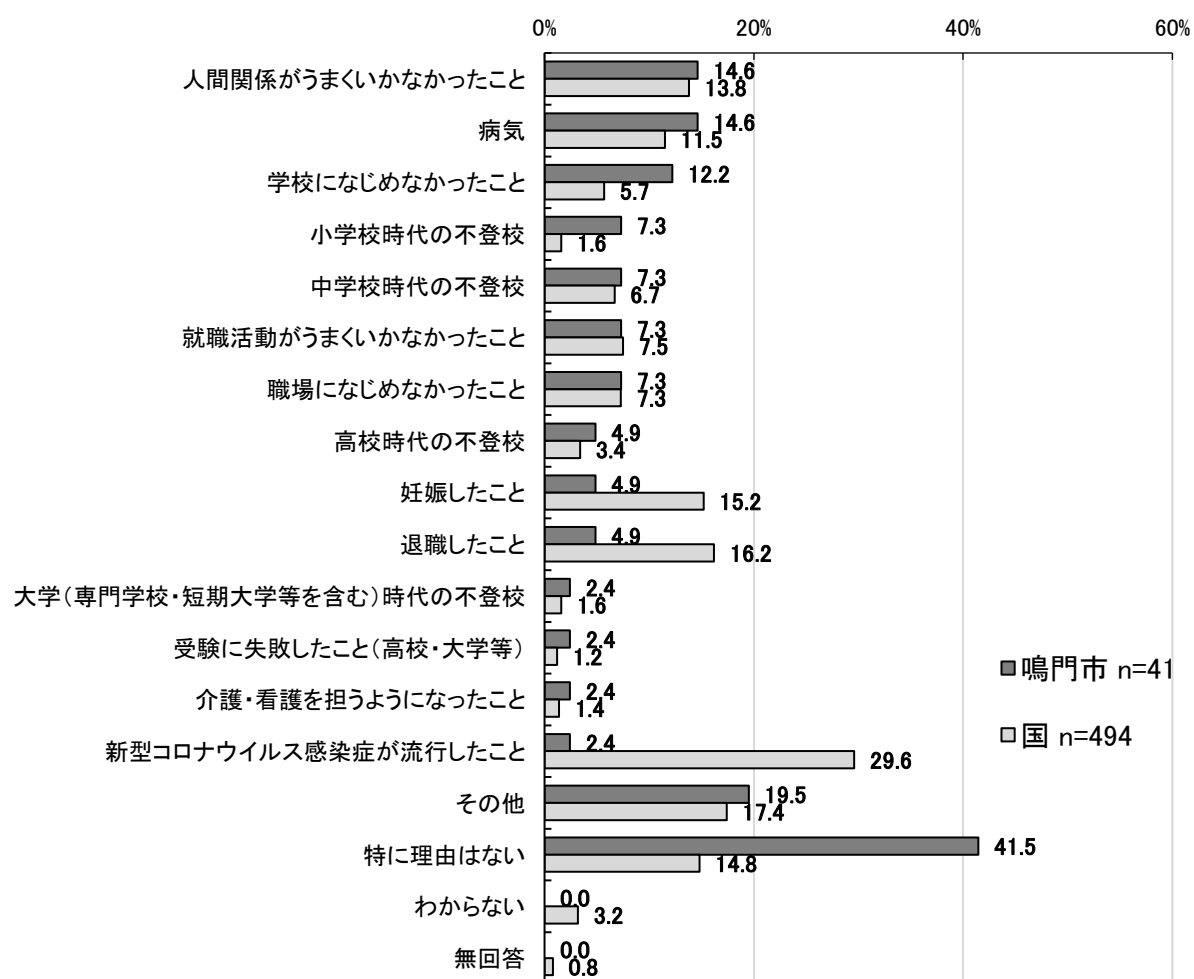


問 37 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

外出状況が現在の状態になった理由について、上位から「その他」19.5%、「人間関係がうまくいかなかったこと」と「病気」14.6%、「学校になじめなかったこと」12.2%などの順となっています。

また、「特に理由はない」は41.5%となっています。

【全体・国】



【問37で「1」～「15」を選んだ方のみ、お答えください。】

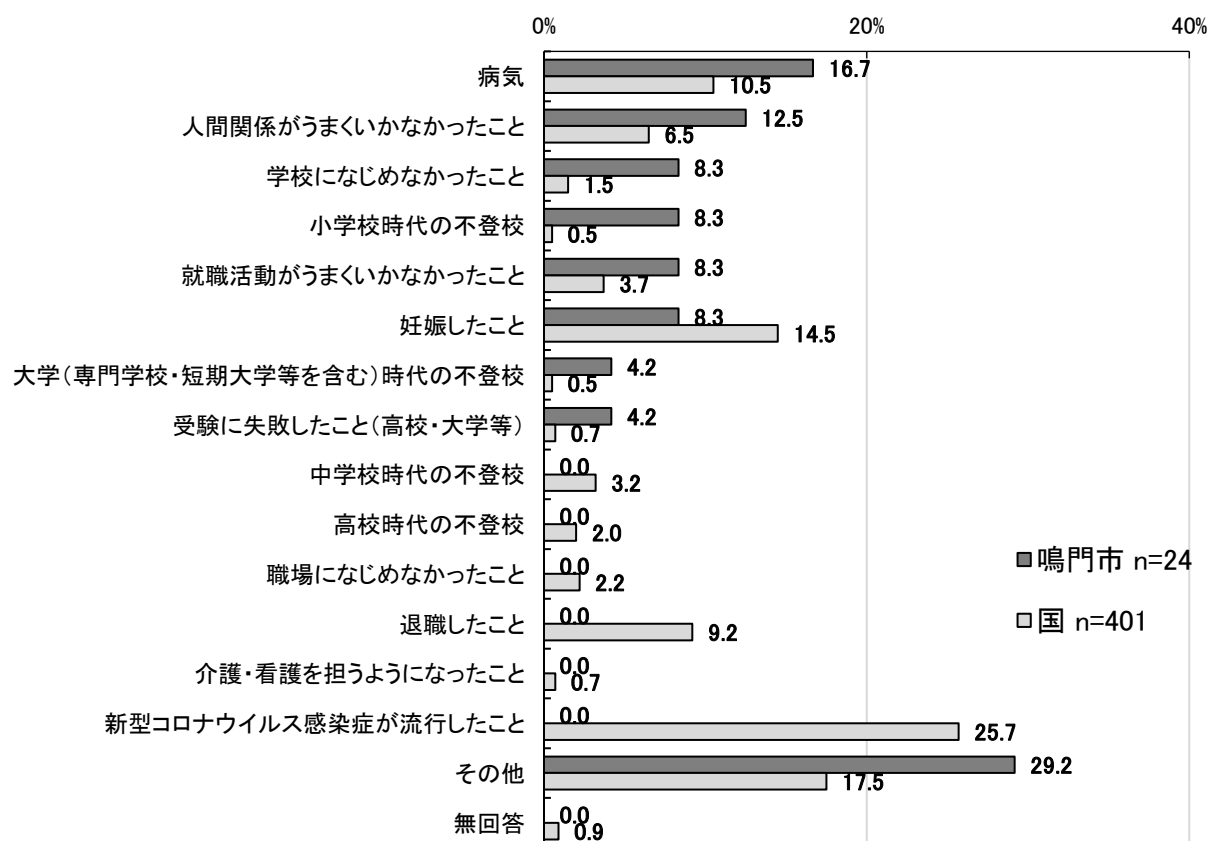
問38 あなたの外出状況が現在の状態になった最も大きな理由は何ですか。

ひとつ前の質問（問37）の答えの中から、番号を1つだけ選んでください。

（○は1つ）

外出状況が現在の状態になった最も大きな理由は、上位から「その他」29.2%、「病気」16.7%、「人間関係がうまくいかなかったこと」12.5%などの順となっています。

【全体・国】



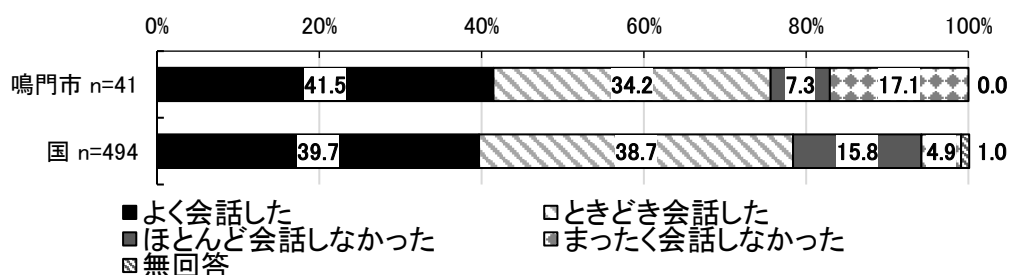
問 39 最近6か月間に、家族以外の人と会話をしましたか。(〇は1つ)

最近6か月間の家族以外の人との会話状況について、“会話した”(「よく会話した」と「ときどき会話した」の割合の合計)は75.7%となっています。

一方、“会話しなかった”(「ほとんど会話しなかった」と「まったく会話しなかった」の割合の合計)24.4%となっています。

国と比較すると、会話の頻度について「まったく会話しなかった」の割合が12.2ポイント高くなっています。

【全体・国】



【全員にお聞きします。】

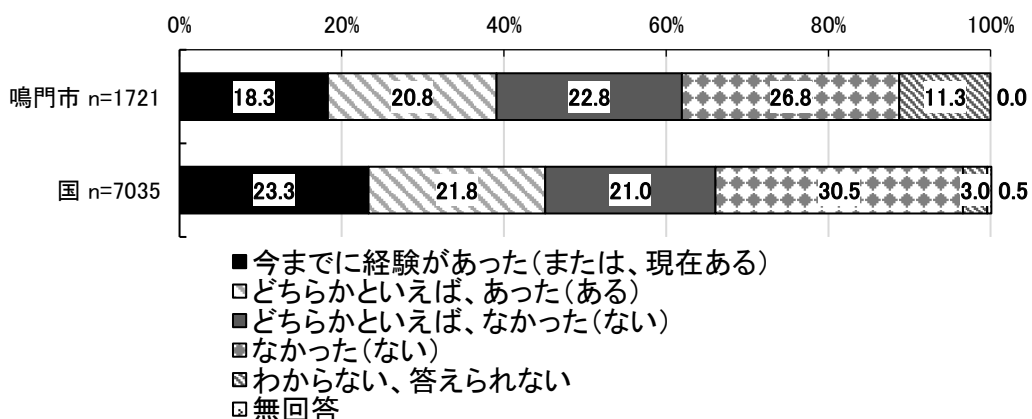
問 40 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。最もあてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験の有無について、“経験がある”(「今までに経験があった(または、現在ある)」、「どちらかといえば、あった(ある)」の割合の合計)は39.1%となっています。

一方、“経験がない”(「どちらかといえば、なかった(ない)」、「なかった(ない)」の割合の合計)は49.6%となっています。

国と比較しても、大きな違いはみられませんでした。

【全体・国】



【問41～問43は、問40で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問41 そうした問題を経験した、または現在経験している主な原因は何ですか。

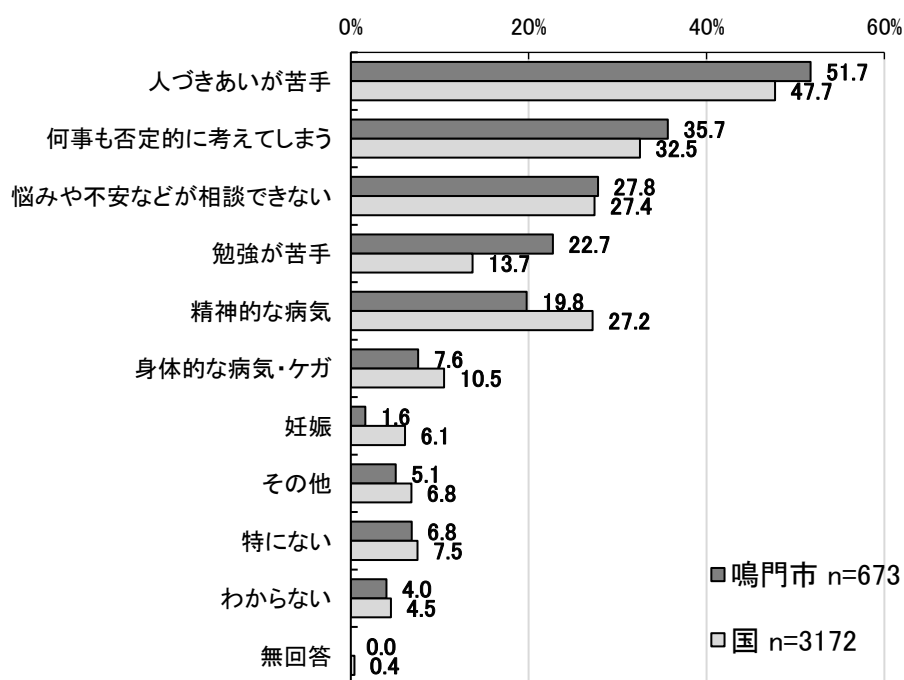
以下の(1)～(4)のそれぞれについてお答えください。

(1) 自分自身について (〇はいくつでも)

問題を経験した原因について、自分自身に関するものは上位から「人づきあいが苦手」51.7%、「何事も否定的に考えてしまう」35.7%、「悩みや不安などが相談できない」27.8%などの順となっています。

国と比較すると、「勉強が苦手」が9.0ポイント高くなっています。

【全体・国】



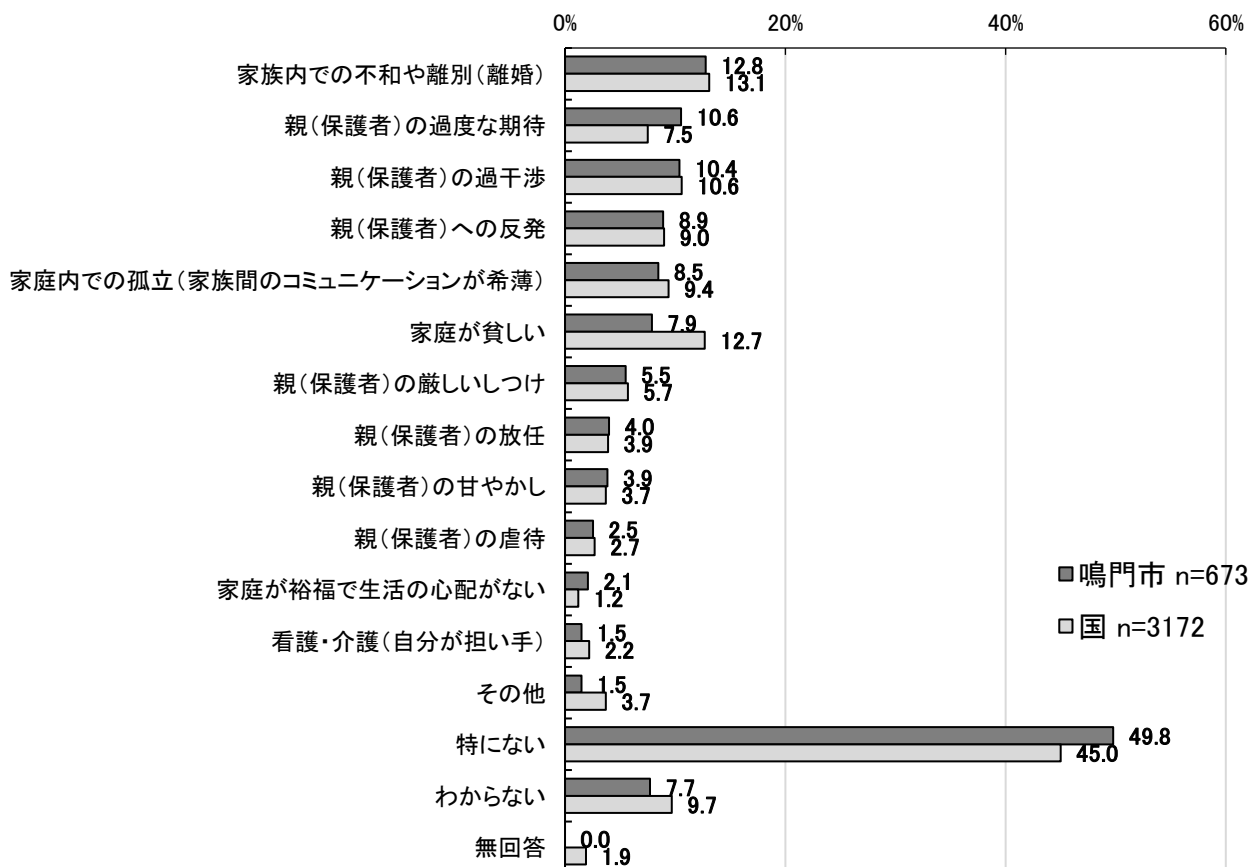
(2) 家族・家庭について (〇はいくつでも)

問題を経験した原因について、家族・家庭に関するものは上位から「家族内での不和や離別（離婚）」12.8%、「親（保護者）の過度な期待」10.6%、「親（保護者）の過干渉」10.4%などの順となっています。

また、「特にない」が49.8%となっています。

国と比較しても、大きな違いはみられませんでした。

【全体・国】



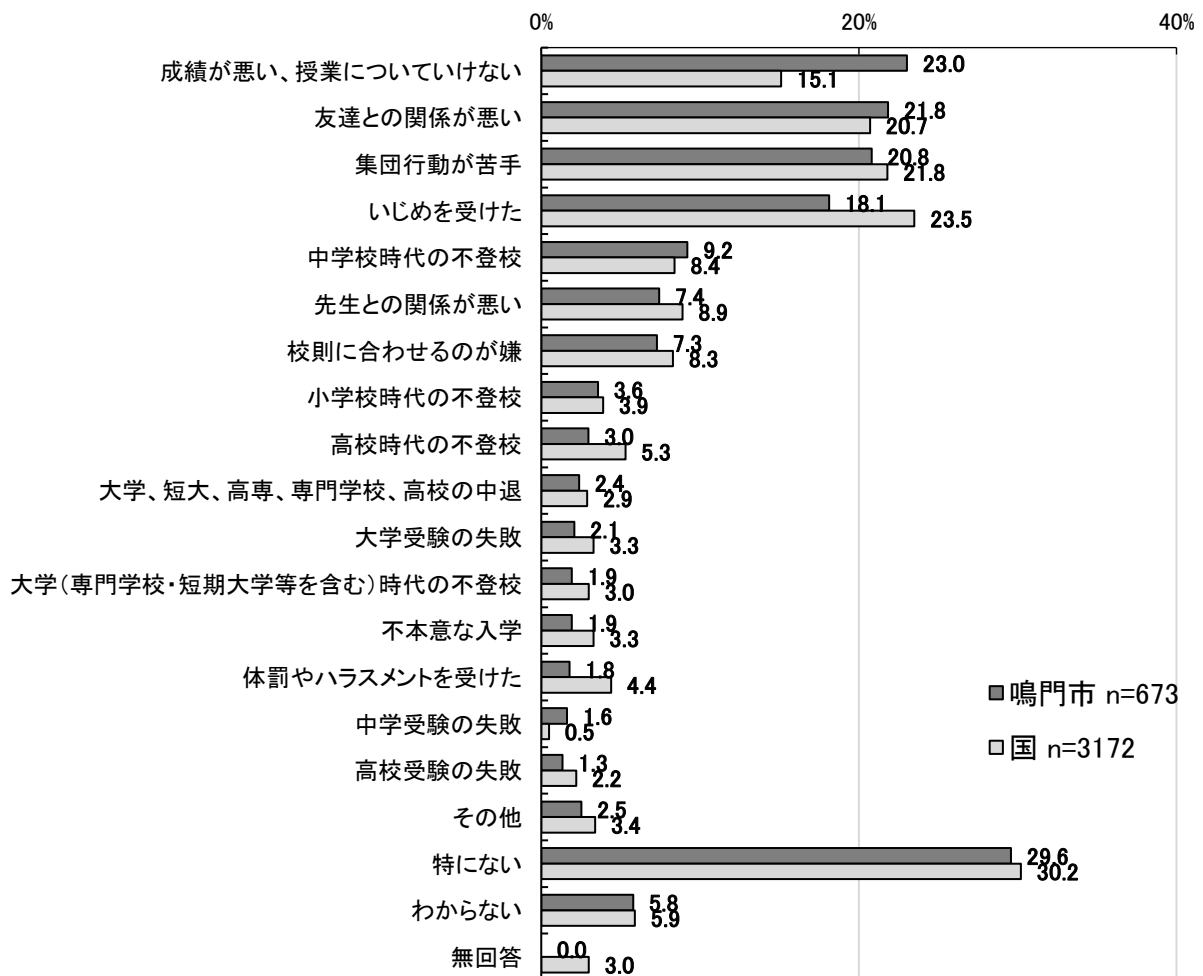
(3) 学校について (〇はいくつでも)

問題を経験した原因について、学校に関するものは上位から「成績が悪い、授業についていけない」23.0%、「友達との関係が悪い」21.8%、「集団行動が苦手」20.8%などの順となっています。

また、「特にない」が29.6%となっています。

国と比較すると、「成績が悪い、授業についていけない」が7.9ポイント高くなっています。

【全体・国】

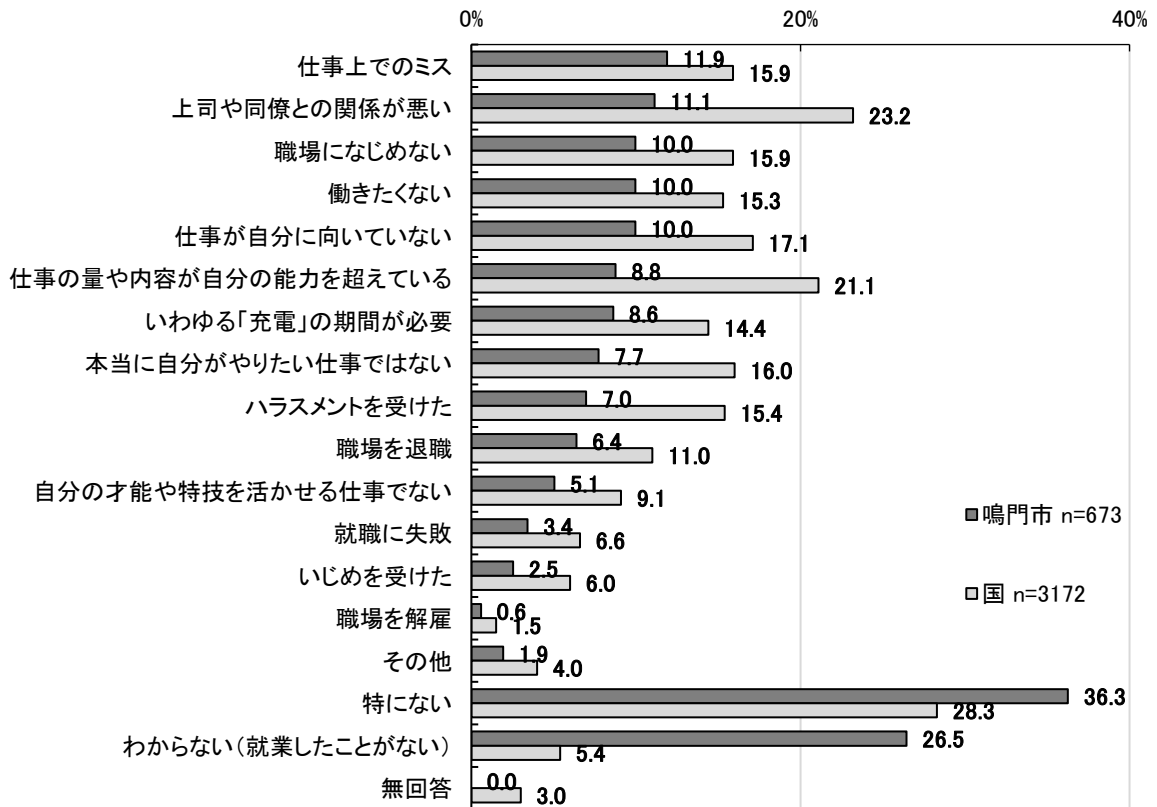


(4) 仕事・職場について (〇はいくつでも)

問題を経験した原因について、仕事・職場に関するものは上位から「仕事上でのミス」11.9%、「上司や同僚との関係が悪い」11.1%などの順となっています。

また、「特にない」が36.3%、「わからない(就業したことがない)」が26.5%となっています。

【全体・国】



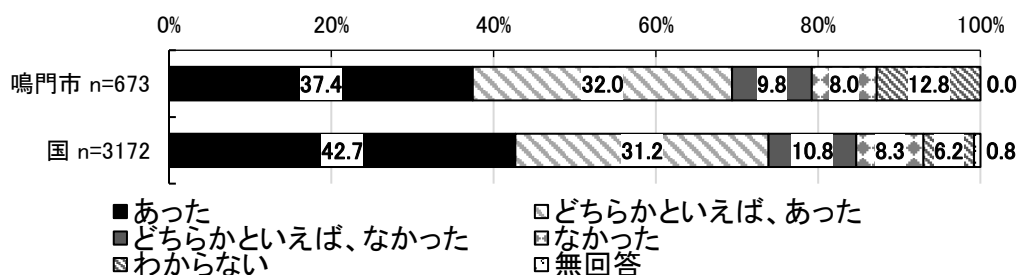
問 42 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験について、“あった”(「あった」、「どちらかといえば、あった」の割合の合計)は69.4%となっています。

一方で、“なかった”(「どちらかといえば、なかった」、「なかった」の割合の合計)は17.8%となっています。

国と比較しても、大きな違いはみられませんでした。

【全体・国】



【問42で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

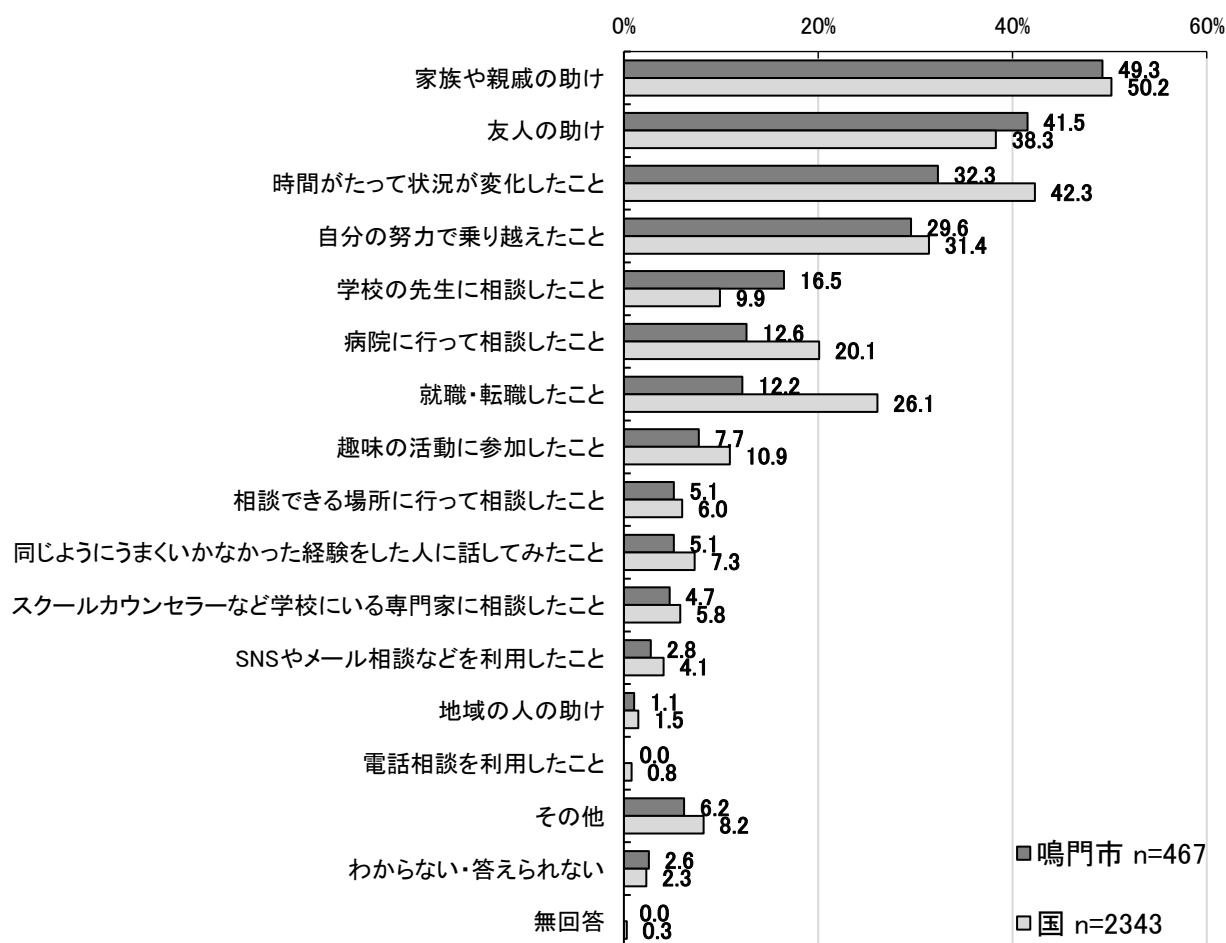
問43 状況が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思えますか。

(〇はいくつでも)

状況が改善したきっかけや役立ったことについて、上位から「家族や親戚の助け」49.3%、「友人の助け」41.5%、「時間がたって状況が変化したこと」32.3%などの順となっています。

国と比較すると、「就職・転職したこと」が13.9ポイント低くなっています。

【全体・国】



【全員にお聞きします。】

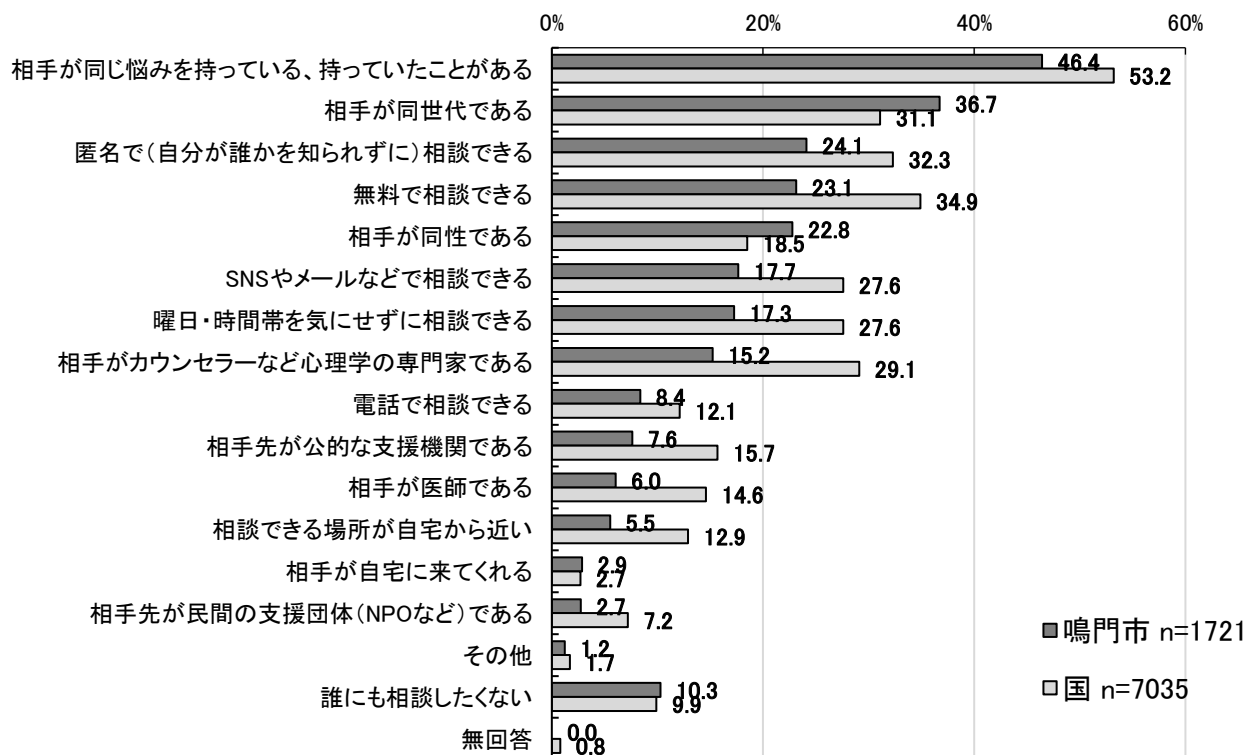
問 44 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になったときに、家族や知り合い以外に相談したいと思える環境について、上位から「相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」46.4%、「相手が同世代である」36.7%、「匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる」24.1%などの順となっています。

一方、「誰にも相談したくない」が10.3%となっています。

国と比較すると、ほとんどの項目で国の割合よりも低くなっていますが、「相手が同世代である」と「相手が同性である」については国の割合よりもやや高くなっています。

【全体・国】



【問44で「16. 誰にも相談したくない」を選んだ方のみ、お答えください。】

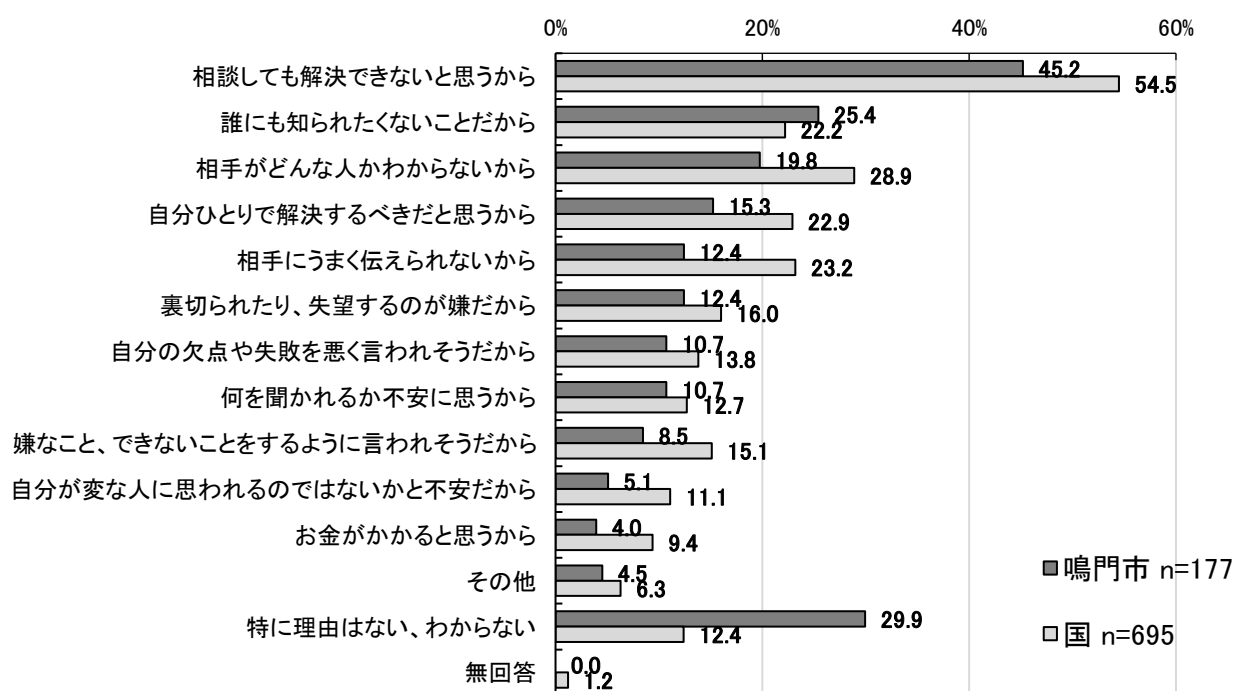
問45 相談したくないと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

相談したくないと思う理由について、上位から「相談しても解決できないと思うから」45.2%、「誰にも知られたくないことだから」25.4%、「相手がどんな人かわからないから」19.8%などの順となっています。

また、「特に理由はない、わからない」は29.9%となっています。

国と比較すると、ほとんどの項目で国の割合よりも低くなっていますが、「誰にも知られたくないことだから」については国の割合よりもやや高くなっています。

【全体・国】



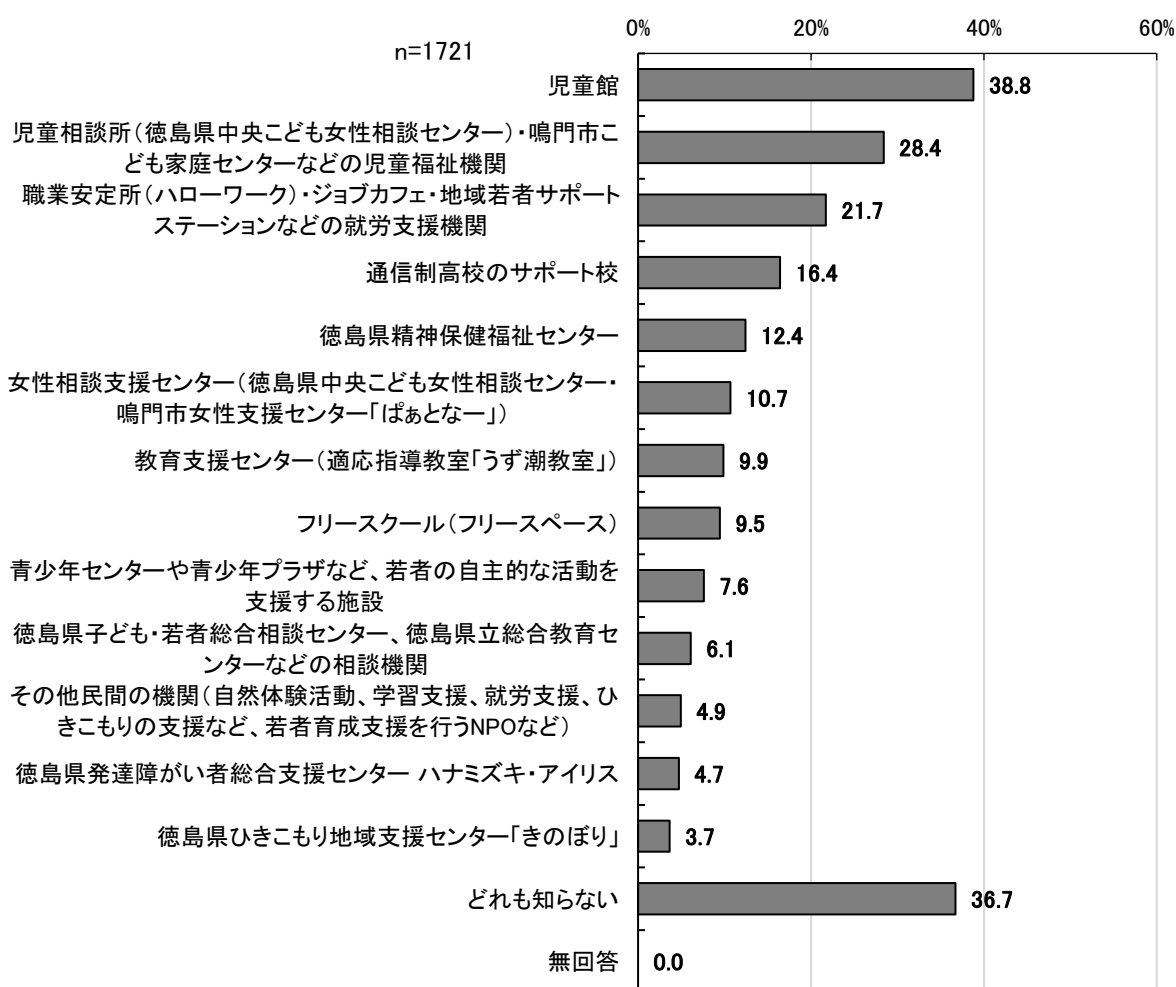
【全員にお聞きします。】

問 46 あなたは、こども・若者を対象とした育成支援機関等を知っていますか。知っている育成支援機関等をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

こども・若者を対象とした育成支援機関等の認知度について、上位から「児童館」38.8%、「児童相談所(徳島県中央こども女性相談センター)・鳴門市こども家庭センターなどの児童福祉機関」28.4%、「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」21.7%などの順となっています。

一方、「どれも知らない」は36.7%となっています。

【全体】

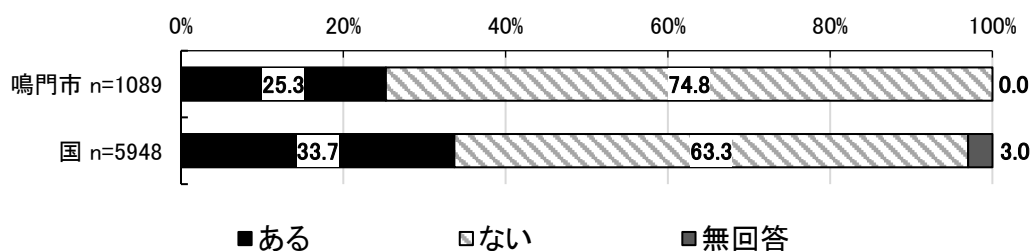


【問 46 で「1」～「13」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 47 これらの機関を利用したことがありますか。(○は1つ)

育成支援機関等の利用経験について、「ある」25.3%、「ない」74.8%となっています。
国と比較すると、「ない」が11.5ポイント高くなっています。

【全体・国】



【全員にお聞きします。】

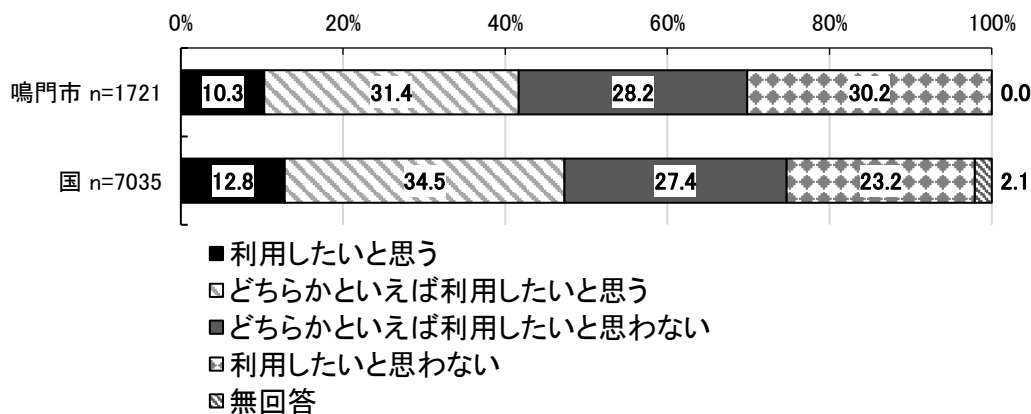
問 48 これらの機関について利用したいと思いますか。(○は1つ)

育成支援機関等の利用意向について、“利用したいと思う”(「利用したいと思う」と「どちらかといえば利用したいと思う」の割合の合計)は41.7%となっています。

一方、“利用したいと思わない”(「利用したいと思わない」と「どちらかといえば利用したいと思わない」の割合の合計)は58.4%となっています。

国と比較すると、“利用したいと思わない”が7.8ポイント高くなっています。

【全体・国】



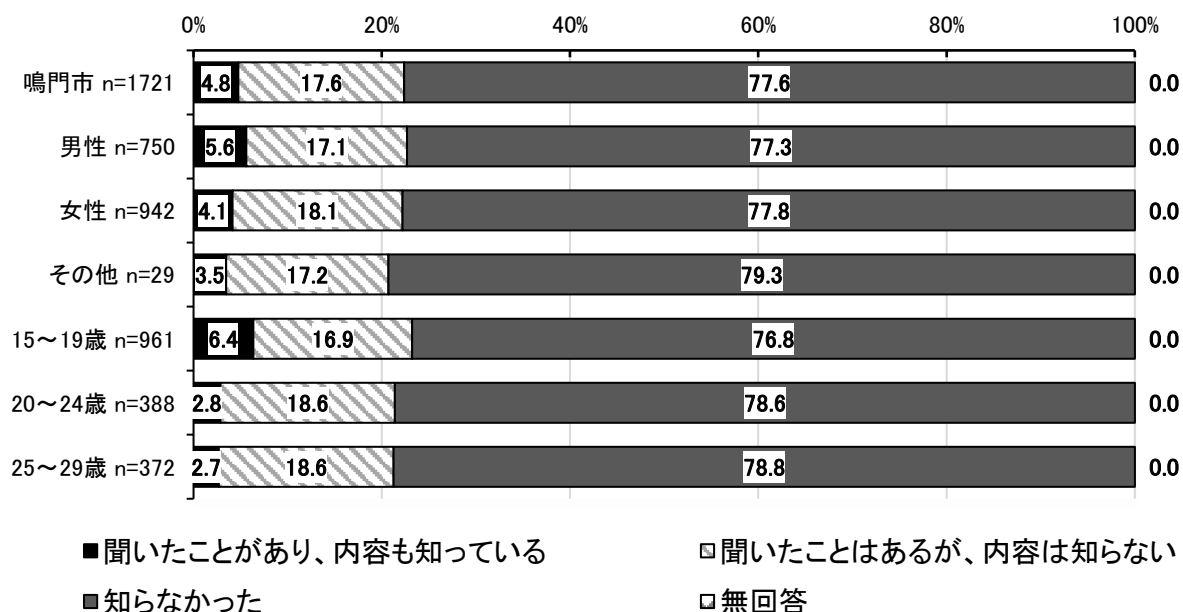
問 49 あなたは、鳴門市うずっ子条例について知っていますか。(〇は1つ)

※鳴門市うずっ子条例とは、児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）の精神にのっとり、「子どもの持っている権利（生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利）のこと」や「子育てをみんなで助けること」を定めている条例です。

鳴門市うずっ子条例の認知度について、“聞いたことがある”（「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合の合計）は全体で22.4%となっています。

一方、“聞いたことがない”（「知らなかった」の割合）は77.6%となっています。

【全体・性別・年齢別】

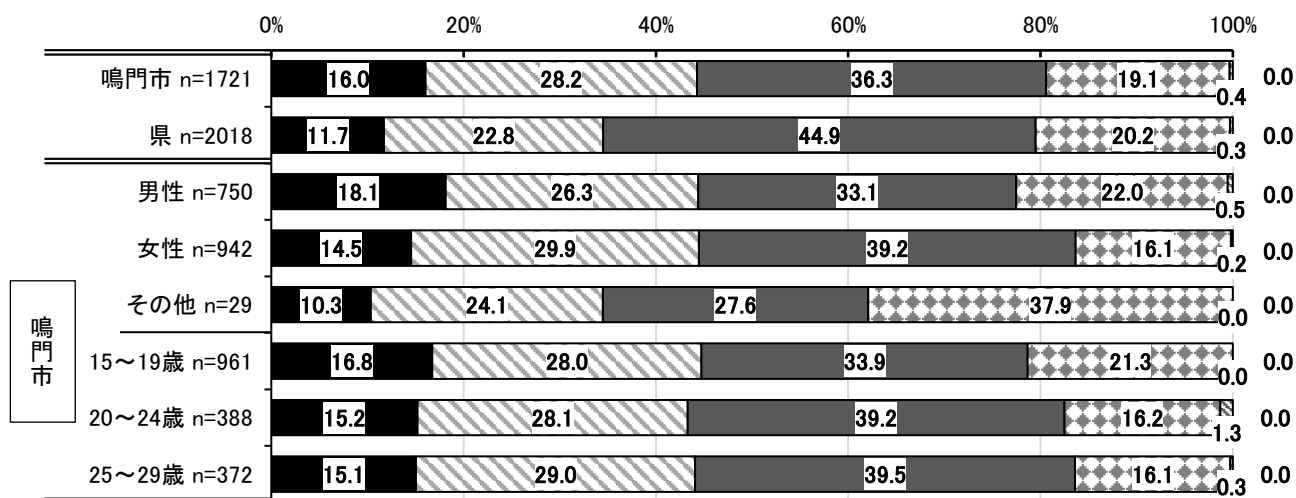


問 50 あなたは、鳴門市のまちづくりや子ども・若者に関する取り組みについて思ったことや意見を、鳴門市に伝えたいと思いますか。(〇は1つ)

鳴門市に思ったことや意見を伝えたいと思うかについて、“そう思う”(「そう思う」と「ややそう思う」の割合の合計)は全体で44.2%となっています。

県と比較すると、“そう思う”は9.7ポイント高くなっています。

【全体・県・性別・年齢別】



■そう思う □ややそう思う ■あまり思わない □そう思わない □その他 □無回答

※県の調査では設問を「あなたは、徳島県のまちづくりや子ども・若者に関する取り組みについて思ったことや意見を、徳島県に伝えたいと思いますか。」としています。

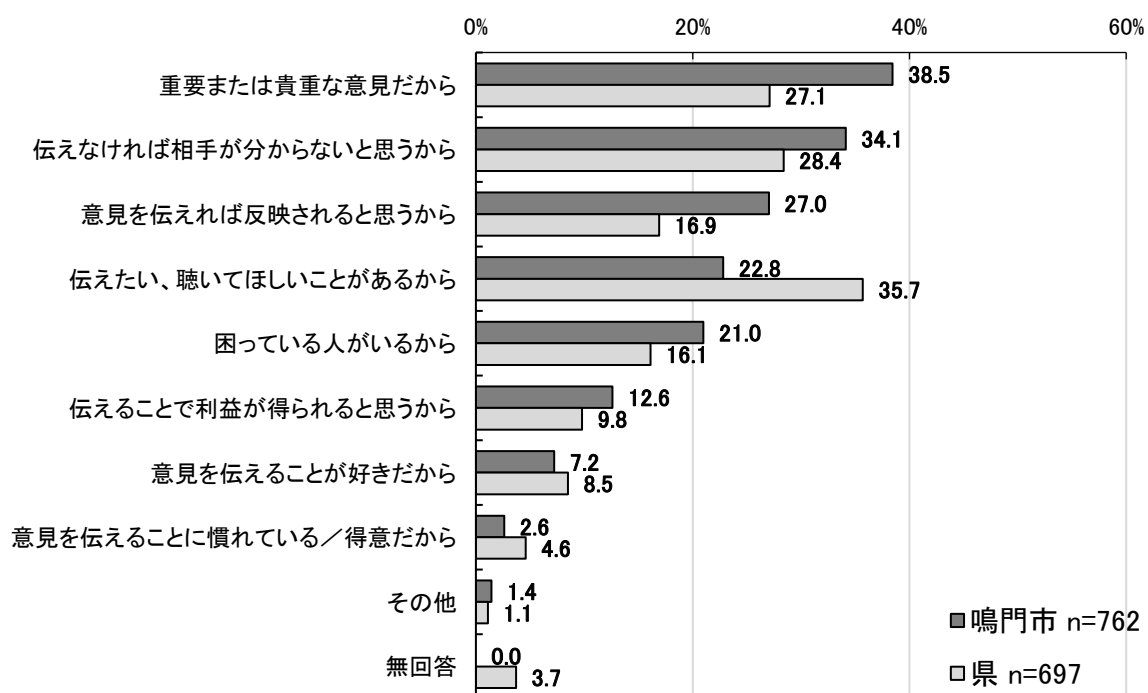
【問 50 で「1. そう思う」、「2. ややそう思う」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 51 そう答えたのはどうしてですか（〇はいくつでも）

鳴門市に思ったことや意見を伝えたいと思う理由について、上位から「重要または貴重な意見だから」38.5%、「伝えなければ相手が分からないと思うから」34.1%、「意見を伝えれば反映されると思うから」27.0%などの順となっています。

県と比較すると、「伝えたい、聴いてほしいことがあるから」が12.9ポイント減少し、「重要または貴重な意見だから」が11.4ポイント増加しています。

【全体・県】

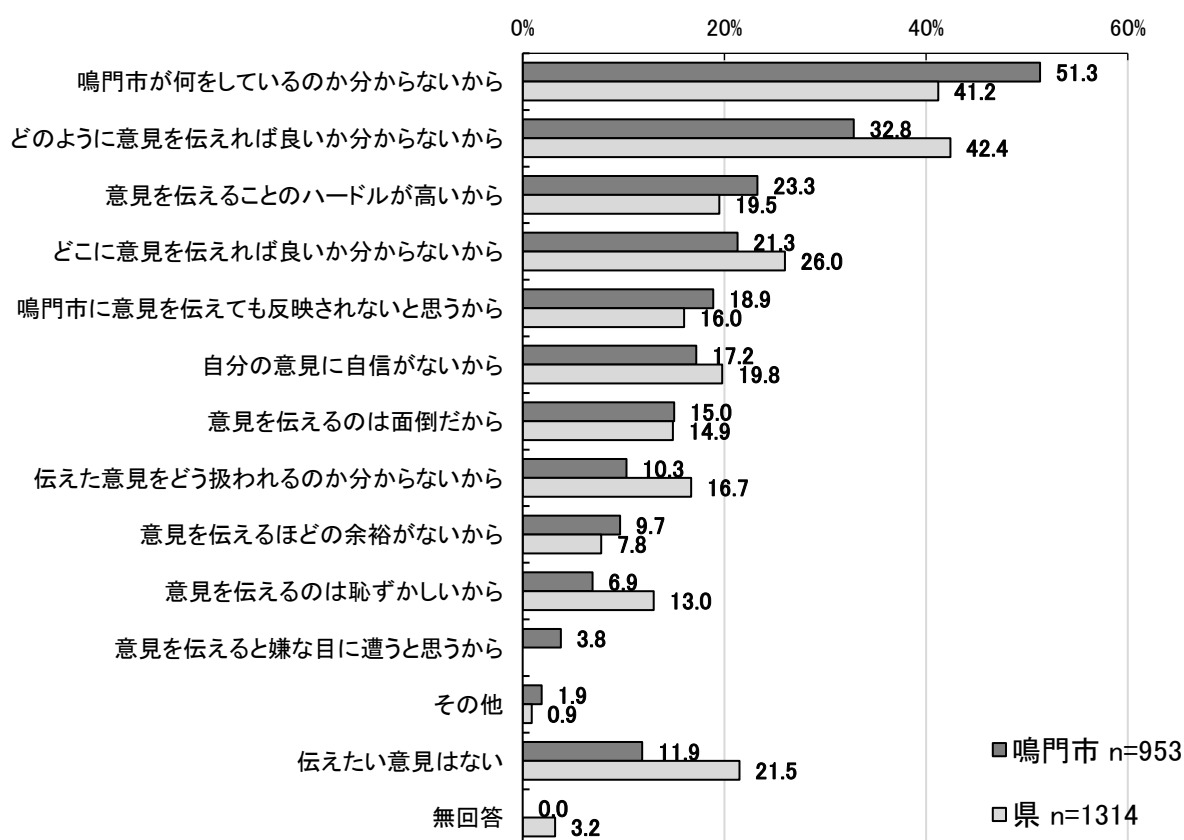


【問 50 で「3. あまり思わない」、「4. そう思わない」を選んだ方のみ、お答えください。】
問 52 そう答えたのはどうしてですか。(〇はいくつでも)

鳴門市に思ったことや意見を伝えたいと思わない理由について、上位から「鳴門市が何をしているのか分からないから」51.3%、「どのように意見を伝えれば良いか分からないから」32.8%、「意見を伝えることのハードルが高いから」23.3%などの順となっています。

県と比較すると、「どのように意見を伝えれば良いか分からないから」が9.6ポイント減少し、「鳴門市が何をしているのか分からないから」が10.1ポイント増加しています。

【全体・県】



※県の調査では選択肢を「徳島県が何をしているのか分からないから」、「国や自治体に意見を伝えても反映されないとと思うから」としています。また、「意見を伝えると嫌な目に遭うと思うから」の選択肢はありませんでした。

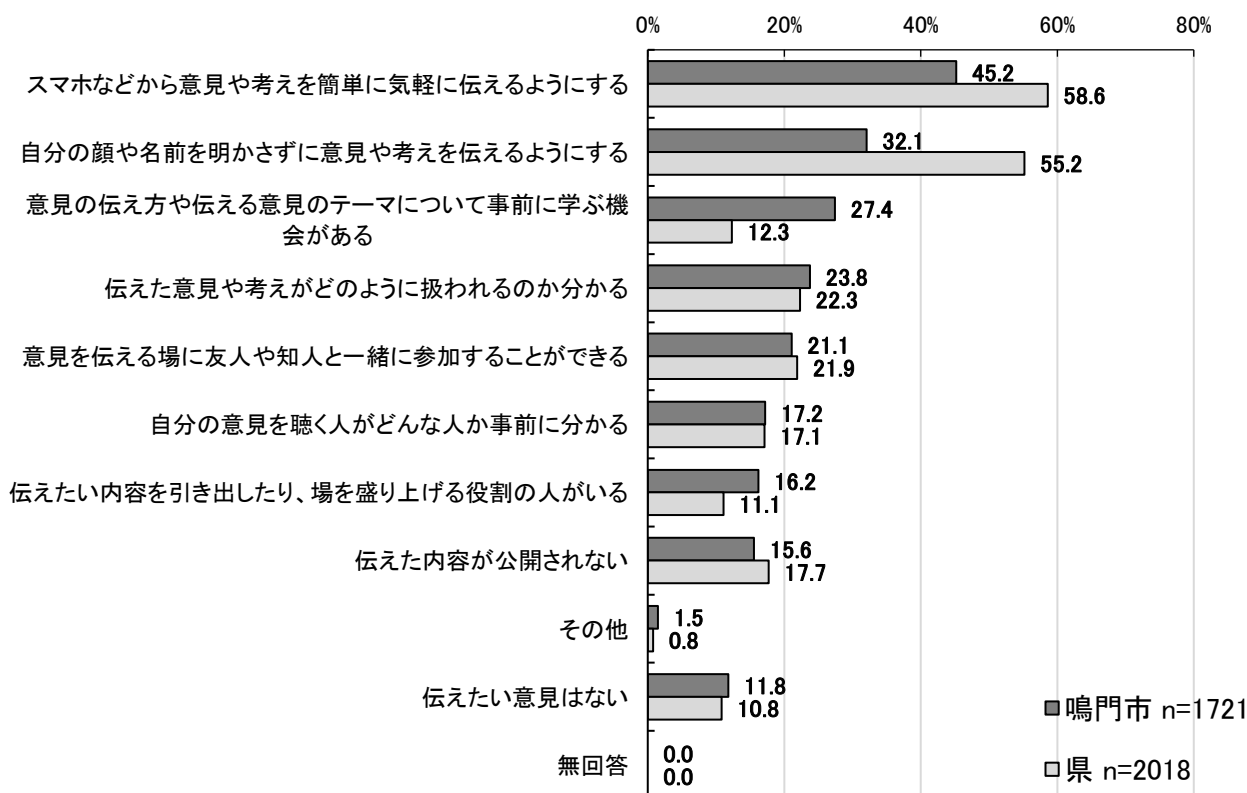
【全員にお聞きします】

問 53 どのような工夫やルールがあれば、鳴門市のまちづくりやこども・若者に関する取り組みについて、意見を伝えやすいと思いますか。(〇はいくつでも)

意見を伝えやすくするための工夫やルールについて、上位から「スマホなどから意見や考えを簡単に気軽に伝えるようにする」45.2%、「自分の顔や名前を明かさずに意見や考えを伝えるようにする」32.1%、「意見の伝え方や伝える意見のテーマについて事前に学ぶ機会がある」27.4%などの順となっています。

県と比較すると、「自分の顔や名前を明かさずに意見や考えを伝えるようにする」が23.1ポイント減少し、「意見の伝え方や伝える意見のテーマについて事前に学ぶ機会がある」が15.1ポイント増加しています。

【全体・県】



問 54 現在、鳴門市では「こどもまんなか社会」の実現に向けて、こども・若者の健やかな成長を社会全体で支援するための取り組みなどを検討しています。鳴門市に取り組んでもらいたいことなどご意見やご感想があれば、自由にお書きください。

(自由記述)

自動車の本数を増やす
観光地を増やして、自転車が通りやすい道路にして
スポーツできるところ増やしてください
若者に向けての支援を増やす。
がんばりましょう
自動車の利便性
大学支援金
老若男女が交流のできる施設が欲しい
若者が暮らしやすいようにする
学校の体育館などにエアコンを設置してくださったり沢山のことを私たちのために行ってくださっているのもとても感謝しています。ですが、もう少し子供に優しい大人が増えて欲しいなと思うこともあります
私もけど「こどもまんなか社会」というものが聞いたこと無かったので、まずこの名前を広めるところからしたらいいと思う
支援金が絶対に足りていない。割にあっていない。私の母はいつもそれに頭を悩ませている。もっと市民の生活に寄り添うべき。
奨学金制度
公共交通機関の発達。特に田舎町など
若者向けの施設を作って欲しい
学校の校則を緩くして欲しい。例えばバイトの許可証がなくても自由にバイトできるなど。
学校内でいじめが発覚した時の対応をもっと早くして欲しい
鳴門市が舞台のアニメ、映画を作れば聖地巡礼でいろんな人が来ると思う
みんなが過ごしやすい鳴門市になるために頑張ってもらいたい。
子供が自分自身の精神的な相談や家庭環境の相談できるところが欲しい。
若者向けの施設を多く作るべき
他校の生徒との関わりを増やす
子ども食堂開催するべき
自動車の数を増やす。遊べる場所を増やす。カフェを増やす。
もっと遊べる場所が欲しい (ショッピングモールなど)
もっと遊べる場(交流ができる場所)が欲しい
居心地のいい場所、遊べる場所を作って欲しい。
ショッピングモールの建設

子供支援をもっと強化してほしい。気軽に遊べる場所が欲しい。
不登校や精神的苦痛などから助けてくれるような機関をもっと増やしてほしい。
子供に外で遊びたいと思わせる場所があるといいと思う
高校や中学校の部活動のお金をもっと市が出して欲しい
7時以降でも使える公共施設があるといい。特に勉強できるなど
人々が幸せであること
とても素晴らしいと思う。支援があったらどんな人でも助かると思う。頑張してほしい。
いじめをなくす
孤立させる・暴力・個人を否定するなどの虐めに対して一部の学校の対応が期待できない過去があり、注意だけで留まる事が多い。中学生だから、小学生だからと甘やかしている部分があったり、反省しなかったり、怒るのが面倒で対応すらしないといったことが有りました。その結果高校生になっても反省も無く批判ばかりする人も見受けられます。そういった点を重視して欲しいです
もっと遊ぶ場所をつくってほしい
スポーツ施設を設けてほしい
道路の整備、支援金の配給よりも無償化子育て中の親が絶対的な信頼を寄せられる場所を用意する
もっと子育てがしやすい政策を作ってほしい。子どもが生まれるとたくさんお金がかかるので、今以上の支援が欲しい。子どもを連れて遊べる場所を作って欲しい。
高校入試の校区制廃止と、校区外の学校に通うための交通費の支給。鳴門市に住む学生の大学授業料の援助。
現在鳴門市で子どもを2人育てています。鳴門市の子育て支援は他のどの地域よりも素晴らしいもので、手厚くサポートしてくださっていると感じます。本当にありがとうございます。私自身が教員をしていますが、鳴門市は他の市に比べて夏休みが短いことや、教員の人手不足も深刻だと思えます。子育てをしている教員のほとんどは祖父母のサポートがなければ子育てができない状況にあります。文科省や県との兼ね合いもあるかと思いますが、もう少し学校で学ぶ子どもたちにも、そこで働く教員にもゆとりある生活を送ることができるよう、夏休みや授業時数の見直し、各校校長判断に委ねられていることを市で統一できるようにしたりと、改善していただけるとありがたいです。ですが本当に鳴門市の子育て支援に助けられています。これも全て市民のために働いてくださっているみなさんのおかげです。これからも鳴門市の子どもたちのために、どうかよろしく願います。
子どもを「まんなか」にする為にはまず、親が「まんなか」である必要があります。集めて配る、よりも減税。物価や税金は上がるのに手取りは上がらないので家計に使えるお金が減っています。子ども達に使えるお金が減っています。親世代の手取りを増やす所から。
危険運転をやめてほしい

<p>街に雑草が多く、廃退的な印象を受けます。こどもや若者を呼び込むには、まずは身近な雑草の撤去や道路の整備からだと思います。</p>
<p>子どもがいる知り合いは補助金などで助かっているそうです。今の子どもたちが将来鳴門市を離れてしまうと鳴門市の人口が減るとともに活気も落ちると思います。鳴門市だから住みたい、鳴門市が大好きと言えるような鳴門市の魅力の発信(自然、食べ物、第九など)をもっと聞きたいです。</p>
<p>災害が起こった際に老若男女問わず助けられるよう政策して欲しい。その為地域との関わりを増やして欲しい。</p>
<p>子どもについては、学習特に体験活動を充実させてほしいと思います。現在もサッカーやバスケットボールの招待などを積極的にしていただいているようですが、そのような機会や、その他のスポーツやイベントの誘致があればいいのかなと思います。若者については、鳴門で過ごす利点を多く示してほしいです。鳴門市に移住するのにサポートや手当があるや、何年間か居住したらなど、子どもをまんやかにしたいのであればその中心の外には保護者や、これから子ども育てていく様な人のことも考えてほしいです。</p>
<p>お互いを知り合うために、若者たちで学んだり共有したりすることができるようなクラブがほしいです。社交が苦手な私にとって、とても役立つと思います。 (原文：aku ingin ada club untuk anak muda belajar atau sekedar sharing. supaya bisa saling mengenal. untuk aku yang susah bersosialisasi sepertinya sangat membantu)</p>
<p>子供が自由に遊べるような大きな施設があればいい嬉しいと思う。あすたむらんどのような、室内でも野外でも遊べる様な施設。また淡路島の様に瀬戸や北灘などの海辺にお店を増やしたり、グランピングができたりすれば若者や観光客も増えて地域活性化につながると思う。</p>
<p>今後の就職先として魅力的な企業が徳島県内など、近隣のエリアにあれば収入面など安心して生活できる未来を想像できると思う。また、自宅周辺で若い世代が交流できるようなイベントがあれば、若者同士のつながりや相談などができて良いのではないかな。</p>
<p>気軽にワークショップなどを開くことのできる環境があればと思います。ワークショップのための広報や場所などの相談に乗ってくれる方がいると始めやすいです。現在筑波大学に通っており、筑波大にはT-ACTという学生が気軽に企画を立ち上げることができるように手助けをしてくれる組織があります。現在利用していて、このような組織があれば良いなと思いました。</p>
<p>住みたいと思わない。何も無い魅力を感じない。市長が何もしていないように感じる前は結婚願望があった。が、どうしても物価高で自分に精一杯で相手と一緒に暮らしてもお金の困るだけだと思う。鳴門うずとく券は助かりました。けど家族と住んでる物は正直足りません。家族の人数や、給料が少ない者にはもう少し金額を増やすなどしてほしいです</p>

<p>20代～30代の頃は結婚している人もいれば結婚していない人もいて、子どもがいる人もいればいない人もいます。そのように、多様な生活になっていく中で、気軽に会話できるようなコミュニティがあればいいなと思う。私は独身なので、趣味や好きなこと、仕事のことなど、会話して、気軽に話を聴いてくれるだけでも十分嬉しいなと感じる。気軽に会話ができるコミュニティがあればと思う。</p>
<p>鳴門市は子育てにとっても力を入れてくれていると感じています。魅力をもっと発信していったら嬉しいです。鳴門市が盛り上がりつつあります。</p>
<p>質問が多い。若者はこんなに多数のアンケートは答えたくないと思う。意見を集めたいのであれば改善したほうが良い。(多くても20問程度)</p>
<p>子育てもしにくい、物価が高い、家賃なども高い。他の市に比べて住みにくい</p>
<p>人口増加</p>
<p>上記の回答になっているかはわかりませんが、意見を述べさせていただきます。不景気が続き住みにくい世の中になっていると日々感じています。そして、これから自分の悩みになるだろうと感じているのが妊娠、出産、子育てです。私は現在27歳です。でも金銭的に子どもはまだ考えられません。もちろんそれだけではありませんが1番の悩みは金銭面です。年齢を重ねるとともに自分はほしいときに子どもを授けられるのだろうかと考えることも少なくありません。もし、自分が妊娠したくてもできない体で不妊治療を選択せざるを得なくなった場合。不妊治療をしたくても金銭的におずかしいと断念してしまうかもしれない。といま心配しなくてもいいような心配をしてしまいます。現に私の友人も不妊治療をしています。毎回治療費が高くとてもじゃないけど治療を続けるのは困難だと言っています。少子高齢化が社会問題になっている中、もちろん子育て世帯への支援は必要だと思いますが、子育て世帯だけでなくもっとたくさんの若者たちの声を是非聞いて、支援をしていただけると嬉しいです。</p>
<p>理不尽を経験させるべき。</p>
<p>主に大麻町では、若者世代が住居を建てて若者世代が増えていると感じますが、近くにスーパーなどが無いため、生活必需品の確保をするために時間をかけなければいけないところにより不便を感じる。</p>
<p>インターナショナルスクールを作る。休めるカフェを作る。スーパー増やす</p>
<p>今年第1子出産予定です。鳴門市の出産育児支援は他の市と比べても充実していると感じています。しかし、実際出産準備をしていると、必要なものだけでもかなりの支出になってしまいます。金銭的支援があればもう少し子どもの人数も増えるのではないかと思います。</p>
<p>18歳までの医療費無料</p>
<p>就職や家庭環境で悩んでいる若者の悩みを聞いて、適切な支援に繋げる支援を作りたい。</p>
<p>鳴門市と若者が関わる機会がもっとあればいいなと思います。</p>
<p>何事も目先の話ではなく、根本的な問題解決について、物事を客観視できる人材育成をお願いします。</p>

<p>うずとく商品券について、世帯ごとではなく、人数ごとにするべきである。税金をたくさん払っているのにも関わらず、世帯ごとでは、微々たる金額にしかならない。なんの支援にもなっていない。また、こどもに対して、主に税金を使っているが、こどもがいない人は損をする時代が来ている。まずは若者がいないとこどもは生まれなため、出産以前の問題を解決してほしい。平等に支援をしてほしい。</p>
<p>・家庭教育や地域教育の充実に力を注ぐべき。全てを学校の責任にする風潮がある。親が、子育てに対して主体的でない。・保育や公教育の充実。子どもたちの基礎学力を十分育てられるような環境にするために、保育士や教員の労働環境や内容を見直すべき。</p>
<p>自分が小学生や中学生の時より鳴門市が賑わってきてるように感じます。とても嬉しいです。取り組み頑張ってください。</p>
<p>アンケートの質問が多すぎて途中で諦めそうになった。こんなに質問が多いのに、途中保存できないのは、回答させないようにしていると感じてしまう。</p>
<p>商店街やボートレース鳴門、ウチノウミ公園などでイベントやお祭りがここ最近よく行われているように感じていて、こどもたちのためには効果的な策だと思います。こども・若者に向けた取り組みとして、若者目線からいうならば、鳴門の花火が縮小化されているところに関しては物足りなさを感じています。鳴門を盛り上げるという意味でも花火大会の影響は大きいと感じる上に、子どものころの花火大会などは思い出や記憶に残りやすいため、子どもたちが楽しさを感じられるような明るい未来のためにも必要だと思います。</p>
<p>・国道11号線沿いで、店舗出店の規約を緩める、土地の売買の支援。理由として道沿いに店舗ができることで、飲食店が集まり、空いたスペースに住宅が建ち並ぶことができそう。・市役所の仕事におしゃべりしてるような職員への減給処分・若い人の行動に否定的な人を取り組みのチームに入れないで欲しい。どれだけ年齢が高くて40代以下の人にルール決めなどして欲しい</p>
<p>・子育て世帯への負担軽減支援(子育て世帯を一律に支援するのであれば、補助金の支給等では無く、住民税等の控除拡大や子育て・教育を支援する施設やサービスとして還元する仕組みをベースにしていきたいです。一度徴収した金を、事務的費用や時間を無駄に浪費しながら、そのまま金で返すことほどバカバカしい税金の使い道はないと思います。)・部活動や習い事等の選択肢が制限されずに、勉強以外にも子どもがやりたい事をしながら健全に成長できる場を確保・維持できる制度・体制の構築。・地元就職を促進する為の企業等の誘致・次に同様のアンケートを実施する際は、事前に回答時間の目安を提示し、今回のように問の数が多い場合は回答の途中保存ができるようにしてください。今回のものは、民間ならありえないアンケート仕様です。もしこのアンケートを民間委託しているなら、委託先をよく吟味していきたいです。また、このアンケートの対象は、選挙の投票すら蔑ろにする若い世代です。もっと積極的な回答を促す工夫をしてください。</p>
<p>若者に対して手当等援助をしてほしい</p>

<p>・支援学級への専門職（作業療法士etc...）の配置・鳴門市の条例や取り組みなどをこのアンケートで知ることが多かったので、誰でも分かりやすいHPやチラシの作成や、それらを誰もの目に留まるようにして取り組んで欲しいです。</p>
<p>人が来る町になるためには、人が住みやすい町になる必要があると思います。人が住みやすい町になるには、周りに宅地があったり、ショッピングセンターがあったり、将来車に乗れなくなっても交通手段に困らない環境を整えたりすることが大事だと思います。私は今大麻町に住んでいますが、車に乗って生活するのが当たり前で、隣町の藍住町のショッピングセンターに出かけて日々の買い物を済ましています。将来車に乗れなくなったらどうやって生活するのか、漠然と不安に感じることがあります。</p>
<p>こどもの成長支援は、該当する家庭への給付金(現金でなくともクーポンとか地域の商品券などもありかも)や、児童クラブなどの他の子供と一緒に遊んだり自分の好きなことをできる場所があるといい気がしています。(自分自身が幼稚園から小学校高学年まで児童クラブに入っており、同級生と遊んだり工作をしたりしたおかげで想像力をつけたり、自分の興味のあることや好きなことを見つけられた経験があり、今でも役に立っています。)若者の成長支援については、完全に個人の意見なのですが家の外で勉強できる施設を設置されたら自分は嬉しく思います。(最近休日でも外で気軽に長時間勉強や作業ができる場所が欲しくて探した経験があり、そういった場所がほぼないと感じました。実際は施設を新設したりするのはコストがかかりやすいので、既存の施設を一部改修したりしてワークスペースを作るなどが、現実的なのかなと思ったりしました。)</p>
<p>あらゆる施策や企画について、年度区切りで締め切りを設けるのをやめてほしい。同じように納税しているにもかかわらずタイミングによって受けられるサービスに差が出るのは不公平感がある。今回の調査とは別件だが、入籍が年度末だったために戸籍等の書類作成が間に合わず、鳴門市の結婚支援金を満額で受け取れなかったことがあった。タイミングによる差が出ないように柔軟な対応をしてほしい。</p>
<p>学校教育に、お金をかけて欲しいです。ICTを活用させるなら、壊れたりすることのなく、スムーズに動くタブレットを買ってください。道具の質が揃えば、できることがたくさんあります。お金が厳しいことも分かりますが、学校で子供達がスムーズに学べるような道具、それから、人材（支援員さんなどの教職員の数を増やす）ことにお金をかけてほしいです。</p>
<p>家族連れや若者が参加できるイベントを開く。うちの海公演でしていたランタン祭りや映画をみるイベントなど、素敵でした。</p>
<p>家に居場所がない子どもたちへの居場所の提供。</p>
<p>出産や子育ての支援</p>
<p>非課税世帯にばかり支援するのではなく、今がんばって働いている人へも支援をしてほしい。働かなくてもお金がもらえることを知ると働く意欲がなくなります。働いていても我慢することも多いので。</p>
<p>保育士の給料をプラスアルファで上乗せできる制度をつくってほしい</p>

<p>小学校付近を歩くとともに教育を受けていないであろう小学生に絡まれ、それ以来支援をしたいと思ったことがないのでまずはしっかりと教育してみてもどうかと思います</p>
<p>鳴門駅より以北に駅をつくる。(鳴門市鳴門町居住世帯が増えている、住みやすさの担保)住みたい住み続けたいと思えるような環境整備。SNSを使って、鳴門市の魅力発信。医療教育福祉つながり強化。豊かな自然を守るために。</p>
<p>子供が豊かになれる環境を作る場所大事だと思います</p>
<p>ボトムアップな社会</p>
<p>働きやすい職場をつくる。</p>
<p>取り組みをご検討いただきありがとうございます。子育てをしながら働きやすい職場や無料の遊び場を増やしてほしいです。また、産後のメンタルヘルスや子どもの発達など、心理支援の更なる充実をはかることは、親子のウェルビーイングに有益だと思います。よろしく願いいたします。</p>
<p>鳴門市の人口が減っているのが気になる。美味しい食べ物や観光地、競艇や海や山があって人気になってもいいと思うのですが、鳴門市の人数が減っている理由としてはゆめタウンみたいな大きい施設がない、ユニクロやGUなどのショップがない、職場訓練も鳴門市で実施して欲しい。子育てのスポーツクラブや習い事ができるような場所が近くに欲しい</p>
<p>こどもの遊び場が公園しかないので、室内でおもちゃなどで遊べる児童館を作って欲しいです。私自身県外で育ち当たり前に児童館がある環境で育ったので、是非鳴門市にも児童館があればいいなと思っています。</p>
<p>くるくるなるとは最高なので8倍くらいに広げてほしい。もしくは2号店を作ってほしい。鳴門市役所は前のちょっと小汚い方が行きやすかった。今はなんか綺麗すぎて緊張する</p>
<p>もっとイベントをしたらいいと思う。花火大会を毎年開催したり、もっと若者の店を作って欲しい。鳴門市にも動物園とか水族館、遊園地、スタバなど色々作ってください。自動車だけなら車もってない子達は大変です</p>
<p>安心して女性が出産、子育てに取り組める制度を大々的にSNSなどを活用しながら発令する事</p>
<p>今やろうとしてる方向性で問題ない</p>
<p>学校教員の業務負担を軽減してあげてほしいと思います。</p>
<p>アンケートの問数が多いので最大でも20問ほどにした方が回答しやすいと感じました。鳴門市文化会館がほぼ廃館状態になってから随分経つので部活動に励む学生さんなど若い人たちが集まれる施設を作って頂きたいです。</p>
<p>今の若輩者達が結婚して子供を作って生活しても大丈夫だなと思える社会支援、自治体支援等があるならもっと大々的に公表して欲しい。結婚しても、子供が出来ても「お前ら勝手に頑張れよ、けど納税しろよ」見たいないい加減な態度は絶対にしないで欲しい</p>

鳴門教育大学に通っています。鳴門市に関わることではないかもしれませんが、大学の入学金制度を変えてほしいと思っています。奨学金が利用できるのは、入学して1カ月経ったところで、受験料や入学金は自分で準備しないとイケないのが、大変です。就職活動は、憲法で保障されていて、試験や面接でお金を取られないのに、なんで大学は20~30万円とるんですか。受かってもお金が用意できないと、行けないんです。せめて、入学してから数ヶ月は延滞できる制度をつかって、奨学金で払えるようにしてほしいです。知り合いの高校生3年生の子も、受験料と入学金のためにアルバイトして40万も貯金しています。勉強や友達と遊ぶ時間を削って。親は選べないけど、機会の平等は叶えてほしいです。どうか、どうか、お願いします。

・中学時代2年以上不登校だったので出席日数の関係で公立の高校の受験の参加資格すらなく、凄く裕福な家庭でもないのに、学費が高い私立高校に行かなければなりません。今は通信制高校などという選択肢もありますが、不登校だったけど高校進学を機に立ち直り、全日制に行きたい人には優しくない状況なので、その辺のサポートがあればいいと思います。・相談機関が複数あって逆に分かりづらいです。・現在は通信制大学に通いながらアルバイトをして教師を目指していますが、最近まで長期間引きこもりをしていました。大人の引きこもりなどの問題は不登校よりも実は深刻だと思います。10代なら高校進学や大学進学など、立ち直れるタイミングがいくつかありますが、大人はタイミングがないので、色々ズルズルしてしまうからです。市などに相談するにしても相談することが恥ずかしくないようだと思います。私もそうですが、最近の10代20代は電話をすることがとても苦手な人が多いので、LINEやメールなどで匿名で気軽に相談できるといいと思います。市のホームページを見たところ電話しかないので、相談しづらいと思います。

鳴門市内の活性化

鳴門市に魅力を感じ家を建てました。子どもや若者に対する施策素晴らしいと思います。とても助かっています。ただ個人的な問題ですが、子育てをするなかで、親族や頼れる人が近くにいないために悩むことは多々あります。地域やご近所、他家族との繋がりが欲しいと思うこともありますが、それもなかなか難しい世の中だと感じています。

小中学校の先生を増やして欲しい

今回のアンケートの6割がどこの学校の生活アンケートをコピーしてきたのかと思う内容でした。内容のない特に意味を感じられない、ただ問数が多いアンケートに協力と言われても長々と答えているうちに面倒くさくなってきます。もっと若者が興味を持てる質問を希望します。また町や市、県に不満を持ってしまい、意見を言いたくても何処に意見を言えばいいのか分からないし、言ったところで若者の意見はどうせ聞いてくれないだろうと思うことがあります。若者の意見を求めるならば、SNSやインターネットを活用したり、もっと意見を言いやすい温かな場があればいいなと思います。

市全体に蔓延る閉鎖的な雰囲気解消する。良い進学及び就職先を用意する。

<p>以前に自転車利用についてのアンケートがあり、自転車専用道路を作って欲しいと要望を書いたが、現在このような意見はどのように扱われているのか。また、今回のようなアンケートの回答はどう反映されているのか、検討中なら検討中と周知してほしい。</p>
<p>猛暑で公園では遊べないので、屋内で遊べる場所や屋内プールなどの、安全に運動できる施設を増やして欲しい</p>
<p>もっと若い人が気軽に安全に出会えるようにして欲しいです。彼氏や旦那探しだけでなく、同性や異性の友達を気軽に作ることが出来る環境が欲しいです。</p>
<p>校区制度をなくし、通える学校を自由に選べるようにしてほしい。</p>
<p>学区制度をどうにかしてほしい。城東高校だけだと行きたいところに行けない子も出てきてしまう</p>
<p>鳴門市の観光名所などを地元の人が体験できるツアーなどがあれば、地域の魅力再発見に繋がって良いと思います。</p>
<p>子供たちが遊べる場所をもっと作るべき</p>
<p>学区外制度の廃止</p>
<p>こども、若者向けのイベントを開催してほしい。食事券など、鳴門市で使える商品券の発行はうれしいと思う。</p>
<p>子どもの健やかな成長とは、(バランスの良い)食事が重要なことだと思います。(バランスの良い)食事がとれていない子どもたちが気軽に立ち寄れる食堂を増やしてほしいと思います。お父さんやお母さんが忙しくてご飯を作れないときや、ご飯を買いに行けない時に、安い値段で食べられるような食堂を増やしてほしいと思います。また、その食堂で、子どもたちの勉強を見たり、遊んだりしてくれる大人の力も、必要だと思います。</p>
<p>若者が住みやすい街づくりをすることが必要だと思います。そのため、若者を対象としたイベントや交流の場が増えれば鳴門市も発展すると思います。例えば、使われていない場所をリノベーションすること、子育ての知識がない若い親が集まれる場などがあれば子ども安心して暮らせると思います。</p>
<p>若者が働きやすい、子どもを育てやすい環境づくりをしてほしい。給料の底上げ、社会保険料の負担を小さくする、給付金等の手取りを増やすこと。</p>
<p>共働き世帯で、世帯年収は1000万円ほどですが、税金が高いことや物価高のために二人でやや余裕があるほどです。昇給するものの、所得税、住民税が非常に高く、手取りはほとんど増えておりません。子どもは欲しいのですが、この先、年収のために多くの所得制限に引っかかることが想定されます。生活保護世帯のように低収入の方の補助だけでなく、超高所得以外の我々も補助していただくと助かります。妊娠出産、子育ての金銭的不安が解消されれば今すぐにでも子どもを考えたいと思います。多くの意見があるとは存じますが、ご検討いただけますと幸いです。</p>
<p>街灯を数本しかないところにもつけてほしい</p>
<p>もっと子育て世帯に目を向けて欲しい。物価が高騰して困る</p>

<p>子の成長に関わる費用負担を極力なくしてほしい。鳴門市は圧倒的に求人が少ないため、豊かな生活を求めて鳴門市で暮らそうとする人は少ないと思う。家を建てない限り心地よい生活が出来ないのではないかといいくらい住む場所がない。正直今の支援ではなんの足しにもならない為、改善してほしい</p>
<p>若者や子供が鳴門市に住みたいと思って欲しいのならめっちゃ簡単。根本的かつ基礎的なことを見直すことしないと若い世代の夫婦とか絶対鳴門市に住みたくないと思う</p>
<p>異なる文化に触れる体験ができる。</p>
<p>子育ての支援をしてほしい</p>
<p>うずしおふれあい公園のステージが中途半端な状態になっているためしっかりと改修して欲しい。</p>
<p>若者への支援金や給付制度。資格取得のための支援などを行うことで、より有用な若者の顕現や、不登校で勉強についていけなくなった子供が専門的な分野の資格を勉強することで、精神的にも強く大きく成長できると考えます。</p>
<p>子供のことを考えるなら、それなりの予算を子供に投入すべき。あとは幼稚園や保育所で働いてる人の賃金をあげて人を増やすべき。上の世代のことばかりに税を使いすぎではと思う。鳴門市が子供に対してどう対応してるのかはわからないが、この先の徳島を思うのなら、高齢者には悪いが子供に税を使うべきだと思いました</p>
<p>意見をもっと取り入れたらいいと思う</p>
<p>放課後にもっと遊べる場所や飲食店を作してほしい</p>
<p>駅から高校に行くまでの道が車通りが多く、道が狭いため通学路や道を広くするなどしてほしい。</p>
<p>とてもいいと思います</p>
<p>子どもが意見を、アンケートや意見箱に送れる機会を作って欲しい。</p>
<p>住民税が高い、大麻町の周りに太陽光パネル増やさないでほしい。今のまま自然豊かなまま残してほしい</p>
<p>児童相談所を増やす</p>
<p>現在、鳴門市在住の学生を対象に英検受験料の補助（無料化）が行われています。しかし、鳴門市の学校に通学しているが、市外に居住している学生も多く、同じ教育環境で学んでいるのに制度の対象外となっています。ぜひ「鳴門市に在学している学生」も受験料無料の対象に加えていただけないでしょうか。</p>
<p>匿名で相談できるホームページを作る</p>
<p>鳴門市にスターバックスができてほしい</p>
<p>廃墟などをたまに見かけて寂しくなるので、鳴門市が活気溢れる街になって欲しいです。</p>
<p>色々なことを期待しています。</p>
<p>賃金をとにかくあげろ</p>
<p>最近になってこどもの支援に意欲的に取り組んでいるように思います。教員の職に就いている身としては、学校や教育のためにお金を使ってほしいと考えています。</p>

<p>市外の特別支援学校に通ったので卒業すると地域に同級生はいない。18歳をすぎたら孤独。成人の式典も知らない人ばかりだと思ふから参加しないつもり。つながりって何年もかけて作るもの。障害のある子はまんなかに入れないのが今の鳴門。支援学校を作ってください。</p>
<p>出逢いの場が欲しい。人口が少なく活気がない。若者が少ない。高齢の方の意見が大きく、政策もそれが中心なイメージになってしまっている。車がなければ出かけられない。金銭に余裕がない。治安が悪くなっている（外国の方が多い）、山を畑にソーラーが多すぎる、空き家が多い、市の放送が聴こえにくい</p>
<p>子供達も家族も含めて市民が笑顔で暮らせる街にして欲しい。居場所がない人やホームレスの人を支援してあげて欲しい。人それぞれ大変なことはあると思うけどポジティブに考えて笑いあって支え合える街にして欲しい</p>
<p>鳴門市では、中学卒業までの子供の医療費の上限が600円までであるなど、子育て支援が充実しているが、それでも鳴門市における出生率がさほど伸びていないのは、制度が育児を検討している若年層からの認知度が不足しているからではないか。そのため、県内で就職を検討している、あるいは既に勤務している若者の目に留めてもらえるよう、市内の企業（大塚製薬、パワーシティ鳴門の店内）などに広告を設置したり、鳴門駅周辺の再開発時に、旧キョーエイ鳴門駅前店の一部をフリースペースとし、親しい友人同士でそういった話題について、話しやすい環境を醸成することが考えられるのではないか。また、他の市町村や県全体の協力のもと、各地域の支援制度について一括で閲覧できるコンテンツを設けたりすることも、住みやすい県を目指す試みの一つになるのではないだろうか。</p>
<p>いつもありがとうございます。頑張ってください。</p>
<p>気軽にみんなが集まれてレクリエーション的な物、同窓会的に集まれる機会があればいいなあと思います。</p>
<p>街灯を増やしてほしい。有名店を増やしてほしい</p>
<p>既にこども及び子育て世代に向けた様々な取り組みをされており、それは鳴門市に住む人はもちろん、そうでない人から高評価で、鳴門に住もうかなという声もちょこちょこ聞きます。まずはそれを長く継続してほしいです。また新たに鳴門に来る人、新たに結婚する人、新たに親になる人を増やすための取り組みも大切だと思いますが、今鳴門に居て、既に結婚して子供もいる人への手厚い優遇があると鳴門で新たに子供を持ちたいという気持ちになるので、親の母数を増やすことも大事ですが、一人当たりの子供の数を増やすことのほうが時間的にもハードル的にも容易だと思うので、そこへの取り組みも一層力を入れてもらえるとありがたいです。</p>
<p>現時点で特に不満、意見等は特にない</p>
<p>DX化をもっと進めてください。便利な社会にしましょう。</p>
<p>出会いの場を作って欲しい(結婚相手)</p>
<p>子育て支援に力を入れてもらえると嬉しいです。</p>
<p>金銭的に余裕のない学生が多いため、何かしら支援策があるとありがたいです。</p>

<p>四国という地理的特徴や、田舎という特徴から、他の地域と比べて子供達がアクセス可能な「経験」の機会の頻度や種類が圧倒的に不足していると感じられる。そこで、子供達が「こんな面白いものあるんだ」と感じられ、興味を持つ機会を提供する取り組みを行って欲しい。特に田舎・四国では中々経験できないこと。</p>
<p>講演会やクラスなど、規模の大きさに関わらず、新しいことを学べる場を作ってほしい。</p>
<p>保育料無料はとてもありがたいのでぜひ続けて頂きたいです。</p>
<p>①小さい子どもさんなら、今年もそうでしたが、暑さにより公園の遊具等が熱くなりすぎて使用できない状況があったと思います。室内のアミューズメントパークみたいなもので身体を動かせるような施設作りをしていただければと思います。②これは予算的に難しいと思いますが、オロナミンC球場をドーム化にして欲しいです。これも徳島県の球児の熱中症予防にも繋がってくるとは思いますが、球場を使用していない期間はアーティストなどのライブなどに使え、鳴門市へ誘致することにもなりますし、わざわざ県外に行かなくても、地元の経済を潤せるという意味ではメリットになるかなと思います。まあ非現実的で長期期間の工事と資金が必要だと思いますが、思い切った決断も必要ではないでしょうか？③結婚や婚活サポートをしてほしい。できれば、同い年くらいで集まれるようなイベントを設立していただければ！</p>
<p>はいこれ続けたほうが良いと思う</p>
<p>地域活性化のために若者が独立する時に補助金を増やして欲しい。また、仕事がサービス業の人たちや営業職の人もいるので有料でいいので日曜保育や児童館を作って欲しい</p>
<p>人で賑わう街づくり</p>
<p>もう少し若者に向けた施設を作っていただきたいです徳島から都会へ出ていってしまうのはそれも原因があると思うのでそういうところを考えていただきたいです</p>
<p>みんなが楽しくできる場所を増やして欲しい</p>
<p>頑張ってください</p>
<p>誰でも平和に生きていける様な鳴門市にしてほしいです</p>
<p>鳴門市の人口を増やすこと。</p>
<p>事故を少なくしてほしい</p>
<p>なるとの渦をみる</p>
<p>遊ぶところとスタバを作ってください。ゆめタウンやイオンみたいなところもほしいです</p>
<p>ショッピングモールのようなものを作ってほしい</p>
<p>不審者情報をよく聞くから子どもたちへの被害が増えないように色々対策を徹底したほうが良いと考える。</p>
<p>現在、発達障がいと診断される子供が増えています。そうした子供や若い人を理解しようとしないう大人が鳴門市には多いように思います。これをなんとかしてほしいです。</p>

<p>公的支援や助成金制度など、市民に向けて具体的な内容の発信と理解を得られているのかが今後の課題だと思う。</p>
<p>老朽化した建物を直す。車や歩行者などが安心できる場所を増やすべき。意外と知らなかったこともあった。</p>
<p>バスや電車が一般的なICカードに対応してくれると嬉しいです。現在『スマ駅』が使えるようになって多少便利になっていますが、まだまだ不便に感じます。あとは筏釣りをもっと若者向けにオープンにしてくれるといいなと思います、鳴門の強みです！</p>
<p>学生が自由に利用できるスペースが不足していると感じる。特に放課後に勉強するところや、学生で集まって話せる場所の不足を感じる。集まって話せる場所が少ないため、ファミレス等に学生が集中してしまうことになり、トラブルが起きかねないと考えている。人口構成上、ご高齢の方の利用が多くなってしまい、学生が利用できるスペースが圧迫されている雰囲気を感じる。</p>
<p>鳴門市民の世帯収入を増やす為に補助金をお願いしたいです。賃金上昇より物価上昇の幅の方が高い現状が変われば良い方向に行くことが増えると考えます。</p>
<p>いつも大変お世話になっております。様々な制度があり、とても有り難く、生活しやすいと感じております。子どもがたくさん増えてきていると感じるのですが、保育士の休憩（子どもとは別室）の確保ができたらいいなと思います。</p>
<p>2人目、3人目の児童手当をもっと充実化させてほしい。子供手当が増えることで、町ももっと活性化すると思う。</p>
<p>知的障害者施設に入所しているのでもほとんどのことがわかりません。</p>
<p>鳴門町や北灘町など、中心部から離れた地域に住む子ども・若者が、日常生活を営む上で必要な移動をしやすいしてほしい。（コミュニティバスの路線拡大、渡船の夜間便の増加など）</p>
<p>鳴門市の夏祭り、花火大会をしてほしい。</p>
<p>新しい大きな企業を作って欲しい。</p>
<p>外で遊べる施設の充実、宣伝が必要だと思う。昨今、インターネットや家庭内ゲーム機の普及により、子どもの運動能力の低下が著しい。子どもがもっと外で遊べる環境や施設が必要だが、過度な怪我防止の考え方や、地域コミュニティの希薄さから、身体的にも精神的にも健全な成長が見込みにくい。身体的な発達の遅れや、不十分な運動能力の確保は、学校の体育の授業での劣等感に直結するとこれまでの学生生活で感じてきた。極端な予想だが、学校生活での周囲に対する劣等感は、そのまま歪な人格形成に繋がるのではないかと。今の日本は、コロナ禍のこともあり、社会全体がインドアな子育てに傾いていると思う。逆に言うと、幼少期に適切な運動教育をすることで、身体能力の向上や自己肯定感の発達が見込みやすくなっている。ぜひ鳴門市には、他の市に比べ、子どもに外での遊び場や、運動の機会をより提供できるまちづくりをしてほしい。</p>
<p>趣味の合う人達と気軽にあつまれる場所が欲しい。ガンプラなど展示会があれば行ってみたい</p>

<p>自宅で保管しきれない本の一時保管、所有者の許可があれば、そういう本を借りたり、その本について講釈してもらえる場所があればなあと思ったことはあります。共用本棚と簡単な学習、読書のスペースがある場所といった感じでしょうか。</p>
<p>鳴門市の水路を定期的に点検してもらってきれいにしてほしいです。鳴門市が清潔で快適な場所であってほしいです。</p> <p>(原文：untuk saluran air dikota Naruto, tolong lebih bersih..dan dicek setiap saat... aku ingin kota Naruto bersih dan yaman)</p>
<p>自分の思いや言いにくいことを間接的に保護者に伝えられるシステムが欲しかったです。</p>
<p>対面では話しにくいこともあると思うし、逆も然りだと思うので、どちらの形でも相談をできる状態を作れるようにしてほしい</p>
<p>学校だけでなく、地域全体で学べる環境をつくってほしいです。例えば、地元企業や大学と連携した職業体験やキャリア教育を充実させることで、子どもたちが将来の夢や自分の可能性を見つけやすくなると思います。また鳴門市の自然や文化、伝統を活かした体験活動</p>
<p>医療費の援助</p>
<p>若者が集まれる場所等が鳴門市には少ないと思う。藍住のゆめタウンや、万代のラウンドワンみたいな買い物やアミューズメントが増えて欲しい。大道銀天街の再構想を本格的に考えて欲しい。関係ないかもしれないが徳島ヴォルティスのサポーターの交通整理をもっとちゃんとして欲しい。地元の細道に来てどうにもならない時がよくある、または接触事故しそうになった。スポーツパークから55号線へ車の流れを制限して欲しい。</p>
<p>就活中の大学生です。今名古屋にいます。生まれ育った大好きな鳴門に帰って就職したいが、徳島県全体に就職先がありません。鳴門市にも就職先を増やしてほしいです。このままでは税金も払えません。</p>
<p>鳴門市のまちづくりに関するの意見を考えられるようにしたいです。</p>
<p>もっといじめに対する対応の強化をして欲しい</p>
<p>結婚支援</p>
<p>学校同士での交流</p>
<p>鳴門市では遊ぶ場所がないのもっとカフェが増えて欲しい。また淡路島や本州へのアクセスをよくして欲しい。</p>
<p>現金給付、耐震化工事の援助、就労支援</p>
<p>現状気軽に迎える遊び場のようなところが少ないので空いた時間を潰す遊技場みたいなのが欲しい(ボーリング、バッティングセンター等の遊技場)</p>
<p>大学で県外に出ている。実家にアンケートが届き、意味がない。</p>
<p>いじめに対する取り組みを強化してもらいたい。学校へ行けなくなるほどの悲しい思いをほっておかず、そうなる原因を作った人達へ罰則を設けてほしい。早急にそういうことに取り組んでこそ子どもまんなか社会といえると思います。</p>

<p>私は小中高生の時がそうでしたが、今の子供はかなり複雑な心情を抱えて生きてると思います。大人になったら見えてくる嫌なことを10代のうちに知ってしまえる世の中になってしまったからだと思います。だから、大人になった私たちは子供がどういうことを考えて生きているかを知ろうとすることが必要だと素人ながらに考えています。今は言葉にできないモヤモヤが、少しでも誰かに話せたり、共感したりしてもらえると私自身はとても楽になれました。嫌なものを吐き出す場所がないから東京でいうトー横のような集まりが出来てしまうのではと思います。</p>
<p>もっと子供が遊べる場所を作るべき。公園とか</p>
<p>気軽に遊べる場所が少ないと考えます。車社会で交通機関があまり発展している訳では無い(県自体の問題ではあるが仕方ない部分もある)ということから暮らすには不便ではないかもしれませんがわざわざここでなくていいなという感じはします。(ふわっとした感じですいません)</p>
<p>鳴門市に大型ショッピングセンターが出来ればうれしいです。</p>
<p>保育無償化はとてもありがたいです。無痛分娩の補助金があると、出産に対する負担が精神的に緩和されるかなと思います。室内で遊べる場所が少ないので、乳幼児が遊べれるような室内広場があれば嬉しいです。</p>
<p>徳島県の約80%の企業が労働基準法を違反しているを知ったので、それを改善して欲しい。</p>
<p>アンケートで意見を聞くだけでなく、政策に反映してほしい。その政策がどのような意見を反映して進められているのかをわかりやすく公表してほしい。自分たちの意見が反映されているという実感があると市政に参画しようと思える。</p>
<p>私は外国人ですから、意見が無いです</p>
<p>ワークショップを開催するなど</p>
<p>全体的に給料をあげてほしい</p>
<p>いい環境で教育を受けれるのはもちろんのことだと思いますが、やっぱりこども世代にはスポーツや外で遊ぶことをもっと楽しんでほしいと思うので、そういったイベントやスポーツ施設が整っていくと、大人も子どもも一緒になって体を動かしていいのではないかなと思いました。</p>
<p>子供が安全に遊べる場所が少ないと思う。天候に左右されない屋内施設などが子供の多い地域にあればありがたいと思うが、マナーを守って使用してもらえるようになど、管理は十分に必要だと思う</p>
<p>鳴門は娯楽施設が少ない。学生時代、車に乗せてくれる大人がいなくて行きたいところに行けないという状況がしばしばあった。車が運転できなくてもある程度自由に移動できるように、公共交通機関を活性化させる必要があると思う。</p>
<p>支援の幅を増やして欲しい！</p>
<p>鳴門市で育った子どもが、鳴門市または徳島県内で生活できる、就業できるようにして、地元に残る若者を増やせるようにして欲しいと感じる。</p>
<p>高齢者に手厚いが現役世代に対する支援が少ない</p>

税金を下げて、暮らしに余裕を持たせる。公共交通機関の充実。(特に鳴門町の便が悪いと思う)

鳴門市で行われる子供支援のサービス内容や、イベントなど公式インスタなどで情報発信をして欲しい。新しく制度ができたとしても、認知する方法がこちらから検索するしかないので、もっとわかりやすく情報を伝えて欲しい。

これは鳴門市に限った話ではありませんが、若者の手取りが増えて税金の負担が少ない社会の実現、そして県や国に対する減税に関する働きかけを希望します。一生懸命働いて得た収入も結局税金で何割か取られること、その税金が自分たちのQOL上昇に繋がっている実感が薄いこと、死ぬまで高い税金を納め続けなければいけないというネガティブなイメージや不満が、これから長い人生を生きる人たちに閉塞感やある種の絶望感をもたらしているように感じます。

バスやJRの回数を増やして欲しい。

鳴門市内外の人が興味を持って集まることのできる施設や店舗をつくること。一時的に盛り上がるだけでなく長期間にわたって運営できる必要があると思います。建物や空き地で、荒れていると感じるような場所を減らすこと。また、現在市役所に行かなければできない手続きが他の場所でもできれば便利と思います。

若者が集まる街にしたい。先日市長が意見されたスタジアム案も上手く絡めて若者が集まる施設として進めていただきたい。

Ⅲ 調査結果（その他の回答）

その他の回答

問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(〇はいくつでも)
※里親や児童養護施設、ホームステイ先などで暮らしている方は、「8. その他」をお選びください。

寮生 22 件、友だち 6 件、恋人 7 件、犬 4 件、施設 4 件

問5 あなたの家の生計について、以下の(1)と(2)のそれぞれにお答えください。
(1) 生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りして生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(〇は1つ)

父母 11 件、祖父母 5 件、祖母 7 件、祖父 2 件、夫婦共働き 4 件、父母自分で三分割、家族全員、家賃以外は自分たち、叔母、親戚、彼氏

問5 (2) 主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。(〇は1つ)

奨学金 8 件、仕送り 5 件、養育費

問7 あなたが最後に卒業(中退を含む)した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。(〇は1つ)

支援学校 5 件、職業訓練(住宅建築科)、職業能力開発大学校

問8 あなたの現在の仕事をお答えください。(〇は1つ)

就労継続支援 B 型事業所 3 件、勤労学生、公務員、教員、育休中(契約社員)、施設での作業、生活介護で通所、会計年度任用職員

【問13で「1. ある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問14 そこは、次のうちどこですか。(〇はいくつでも)

恋人の家 5 件

友達がいる空間 5 件

ライブ会場 4 件

カラオケ 3 件

ジム 3 件

車の中 3 件

実家 2 件

寮 2 件

海 2 件

テーマパーク

東京

帰り道の星がよく見える道
保育園やこども園などの広場、子育て支援センター
旅行先
競馬場
彼氏と居る時
研究室
コワーキングスペース
パートナーと過ごす空間
ソフトボール
よく行くバー
ヴォルティスのボランティア
散歩コース
自主的に参加している音楽活動の活動拠点
公共のバスの中、ボランティア先
パチンコ屋
学校以外の学びの場(恩師がいる)
友達のクラス
父が営業している店
知り合いがしている猫の保護施設
釣り
趣味の集まり
カフェ
具体的には思い浮かばないがある。
行きつけの飲食店
病院
川
美容系の店
父の単身赴任先
遊びに行った県外の家
外国
ポカリスエットスタジアム

【問 13で「1. ある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 15 そこは、あなたにとってどのような場所ですか。(〇はいくつでも)

運動できる
猫に癒される
歌うことが好きで、自分らしさを表現したり、楽しく過ごすことができるから。
どんな時も自分の味方で居てくれる
しあわせ
勉強できる場所
変なことを言っても許される
自分の考えがまとまるとても良き場所
自分の好きなことができる
実際の人間関係や生活が上手くいっていない時のリスクヘッジ
おばあちゃんに会える
落ち着く、素が出せる
自分をまっさらにすることができる
自分が社会に生きて生活しているのだと実感させられる場所。孤独でないことを感じる場所。
安心できる
一人でぼんやり過ごせる
行った時のない場所

【問 13で「1. ある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 16 その場所に行くようになって、変わったことがありますか。(〇はいくつでも)

猫のおかげで幸せ
軽いストレス発散できるようになった
人の目が気にならない。
自分らしく過ごせて心を自由に表現できるから。
世界は広いのだと感じれるようになった
心が落ち着いたり、自分を見つめ直したりできるようになった
自分のことを好きになれた
なんとなく、ぼーっとできる時間が作れるようになった。
以前より、前向きに生きるようになった
一人暮らしの孤独感には向いていないということに気付かされた。
気分転換ができるようになった
運動不足解消

【問 13 で「1. ある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 17 あなたが、居場所でやってみたいことや、もっとこうだったらいいのと思うことはありますか。(○はいくつでも)

誰からも嫌われない一人で居られる所に居たい
公園内で音楽を流してほしい
何も考えずにぼーっとしたい
1日中居たい
品揃えを良くしてほしい

【問 13 で「2. ない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 18 家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)、職場以外に、「ここに居たい」と感じる場所がない理由は、なぜですか。(○はいくつでも)

怖い
営業終了してしまってもう開いていない(キョーエイ)
特に家くらいしか思わないから
分からない
1人だから
落ち着かない
特に理由は無い
落ち着かない
外出するのに気力を使う。
人と関わるのがいや
家以外に落ち着く場所はあるけれど、そこは一時的に楽しむところであってそこが家と一緒に居たいとは思えないから
現状作ることが出来ない場所だから
行くきになれない
その他の場所に行くことがないため
インドアであまり外に出ないため
行く必要性が無い
外に出たいけど出れない
娯楽施設が少ないし終電が早すぎる。出かけるとしても徳島市方面。夜勤もあり休日は身体を休めている。
自分の自由時間がなく行く時間がない。
気力がないため
家や学校だけでも満足感があるから
家や職場で満足しているため
そもそも人との交流が苦手だから

家にいるのが楽だから
慣れていないところは苦手だから
子がおり1人の時間がない
特に思いつかないため。
機会に恵まれない、探し方がわからない
行きたい場所の候補が見つからない。
交通手段がなく、付添がないため
考えたことがない
大学からここに来たため、良い場所をまだ知らない。

【問13で「2. ない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問19 あなたは、どのような場所であれば行ってみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

お金がかからない。
金のかからない映画館
大切な人と過ごせる空間が欲しい
社会人向けの自習スペースが欲しい。図書館は時間制限があったり業務後では時間ぎ合わない、個営の施設は社会人の料金が非常に高いため。

【問31で「4. どちらかといえば結婚したくない」、「5. 結婚したくない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問32 あなたは、「どちらかといえば結婚したくない」、「結婚したくない」と思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

一人でいる方が気が楽だから
恋愛が苦手だから
結婚することが幸せに直結するとは思わないから。
一人の女性を一生愛せるのか不安だから。
好きな人が居ても今の給料や、物価高になっているのに安定した暮らしができないと思うから
結婚するメリットをあまり感じないから
財産分与が負担としか思えない
結婚=子どもと思われるのが嫌だから
異性に対しトラウマ、嫌悪感があるから
同性愛だから異性とは結婚したくない
両親の仲が非常に悪く、結婚というものに希望が持てないから
子供が嫌い
知的障害があるから

現時点で自分がこの人と生涯に渡って過ごしたいと思う人がいない(そもそも誰かと暮らしたいと思わない)。結婚はお互いの自由(多種方面において)が制限される部分がある。
同性が好きだから
結婚そのものが目的ではないから
他人と一緒に生活できる気がしないから

問 37 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

外に出るのが面倒くさい
勉強やコミュニケーションが苦手なこと、体調不良などが重なって、趣味以外に気力がわかなくなった
施設だから
育児休業中
在宅勤務のため
施設の変更
期間が空き、自分がどういった人間関係を築いていたか、今自分がどういう表情で話しているかが分からなくなった
コミュニケーションが苦手

【問 37で「1」～「15」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 38 あなたの外出状況が現在の状態になった最も大きな理由は何ですか。

ひとつ前の質問(問 37)の答えの中から、番号を1つだけ選んでください。
(〇は1つ)

その他の回答はありませんでした。

【問 41～問 43は、問 40で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 41 そうした問題を経験した、または現在経験している主な原因は何ですか。

以下の(1)～(4)のそれぞれについてお答えください。

(1) 自分自身について(〇はいくつでも)

いじめ
恋愛
中学時代嫌われるのが怖くて自分の意見を言えなかった
なんで避けられてるのか、嫌われてるのかわからない
家に金がない
いじめによる不登校、ネットいじめにより知らない人から声をかけられる
人間関係
深く考えすぎて機会を失う・見送ってしまう

答えたくない
甲状腺の病気
仕事が自分に合っていないと感じた
ブラック企業で病気ほどではないが精神的に病んでしまったことがある。
お金の面
人にお金を貸したことが原因
学校での対人関係などで学校を休むことがあった
太り過ぎが原因で就職できなかった
働いてまで生きる理由・目的がない。
人間関係の拗れ
親が病気になった
親の施設費用、自身の老後の備えが足りない。物が高い。
体調不良
金銭問題
いじめられていると感じ、学校に行きたくないと思った時が何度もあった
金欠
私は外国人だから
学校の友達や、好風が合わなかった
人間関係(いじめや仲間はずれ等)←自分にも原因はあり
ASD など発達障害がある
周りとは反りが合わない
人に付き合う体力がない

(2) 家族・家庭について (〇はいくつでも)

両親の喧嘩
親が自分のエゴでこんな世界に子を産んだ
進学を否定される
小6の時に再婚相手の義理の父が虐待をしていた今現在はもう離婚しています
家庭内にはない
きょうだいの障害と暴力
父親が人間としては嫌いなこと以外はなににもなし(一応恵まれている方の家庭ではあるとは思う)
兄弟仲が悪い
知的障害・自閉症の兄がいるきょうだい児だったため、日常的に家庭内で強いストレスに晒されていた
上と下の兄弟の不仲

(3) 学校について (〇はいくつでも)

彼女ができない
部活の監督との食い違い
知らない人から声をかけられる
他者との正しさの考え方のすれ違い
奴隷扱い
先生や同級生と不仲ではなかったが、日常会話や分からないことを質問するだけでも、コミュニケーションをとることが個人的に難しかった
人付き合いが苦手なのもあり学校がもともと嫌い。さらに対人関係で問題があった時期がある。
学費がない
人間関係の拗れ
カースト制度
小中の頃にいじめほどではない嫌がらせでの人間不信
友人関係を自分から構築したい、話したいとは思っていたが、照れや拒絶されることへの不安があって、あまりできなかった。
新型コロナウイルスのパンデミックによる、オンライン授業化とステイホームによる孤立
ちょっとしたイジリ
世捨て人願望
いわゆる「充電」の期間が必要
中高時代は自分を偽って生きてきたためその報いを受けた、皆に合わせようとして本当の自分を置き去りにして無理をしてきた

(4) 仕事・職場について (〇はいくつでも)

奴隷
自分の部署の主任は仕事をしないのに部下になすりつける。普段仕事やせんののに部長や偉いさんが来た時は仕事をする。みんなの前で大きな声で怒る
入社時のチュートリアルがコロナ禍の影響ではあるが不十分
今はマシになったが、バイト先のオーナーが怖い。苦手。できればバイトを辞めたい。もともとバイトはしたくなかった。
職場内でのいじめ、ハラスメントを見た
社会人1年目に手順書が無く口頭で仕事を教えられ、覚えてなかったら怒鳴られる
将来に希望がなく、給料や退職金の改悪。お客からのハラスメント。精神的負担。
過去の就職先で上司からパワハラを受けた
勤務時間が長すぎる(12時間勤務)
交通事故
労働に対する責任を果たせていないと感じることがある

(特定の人に限るが)話が弾まない←(自分自身会話が得意ではない+話題が合わないため)返答に困る

職場内で流れているラジオが中高年の同質性極まりない空間で苦痛、他の局に変える提案をしたいが、似たようなことを言ったらわがままだと反発された、だから普通信者は嫌い

【問42で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問43 状況が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思えますか。

(○はいくつでも)

吹っ切れた
病気が治ったこと
転校
大好きな友達が他の地域から帰ってきた
ハローワークや地域若者サポートステーションの職員の方々と一緒にコミュニケーションをとったこと
部署異動したこと
ペットを飼い始めた
大学院を中退した
コロナが収まって自由が増えた
異動したため
時間の経過。学校の嫌だった人が卒業した。バイト先は慣れ。責任感など。
相手としっかり時間をかけて話した
店主と話し合った
給付型奨学金をもらえたこと
時間が解決した
県外の大学に進学したこと
進学のために引っ越しをしたこと
卒業
すべてを諦めたから
高校受験を頑張った
大学に進学し、ある程度自分のペースでの学校生活ができるようになった。同じ高校に通っていた人との交流も、より余裕を持つことができるようになったと思う。
仕事を辞めた
進学した
通院による治療を受けた
考え方を変えた、関わる機会が無くなった
自分自身が明るくなった
自分の状況に対して役に立ちそうな本を読んで勉強した

問 44 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

親
占い師
意見を押し付けてこない人
話して関係が途切れることのないような信頼できる相手
相談したかったら誰でも相談する
話す時間制限が緩い方がいいなと思います。病院であれば、15 分間程度と決まっているのもっと相談したくてもできないのが現状です。
そのトラブルを仲裁出来る立場の人
気軽に話せること、直接話しに向かえるしくみ
パートナー
その場で適当にあったひと?
友達
Bar の店主
自分で出来るだけ解決する
お世話になった(なっている)先生
相手が友人や、過去の関わりによって信用がおけると感じた人物
相談を受ける人の人柄がわかる、実際に相談を受けている媒体が残っておりそれが見える(例:お悩み相談配信の切り抜き or アーカイブ・動画、相談の様子を撮影したもの等)
恋人が欲しい
あまり自分に干渉してこない、自分のことは全く知らない関わりのない人

【問 44 で「16. 誰にも相談したくない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 45 相談したくないと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

家族で十分だから
そもそも人が苦手なので初対面の人に自分の悩みを相談しようなんて思えない。家族や友達にも相談できない・しないようなことを知らない人には言わない、そもそも話が續かない・できない。その人が信用できない。
面倒、そんな時に赤の他人に会いたくない
私には他人の意見が不要だから。自分ひとりで大体は解決できる。
他人に期待をしていないから
何を言われても否定してしまう自信があるから。
面倒くさい

問 50 あなたは、鳴門市のまちづくりや子ども・若者に関する取り組みについて思ったことや意見を、鳴門市に伝えたいと思いますか。(〇は1つ)

仮にあったとしても、その機会が得られると思えない。
分からない
伝えたいと思うが反映されるとは思えない。友人等は県外に就職して同年代が少ない。
一人一人の市民が笑顔で過ごせる街にして欲しい場所がない人やホームレスの人たちを支援してあげて欲しいです
知らなかったので分からない
そもそも取り組みについて詳しく知らないため何も言えない+言える場所があるのか、言った上でどのように反映されるのかわからない

【問 50 で「1. そう思う」、「2. ややそう思う」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 51 そう答えたのはどうしてですか (〇はいくつでも)

鳴門市をもっとよくしたい、してほしいから。
教育にあまりにもお金をかけてくれていないから。ほかの市町村に比べて、学校設備や備品、ICTなどが遅れを取っていると感じる。
改善して欲しいことがあるから
年齢が上がれば上がるほど頭が固くルール作成こそが解決の道筋だという人々が多いから。また、常識に縛られた視野の狭い人が、偉そうにしてるのを引きずり下ろすことが大切だから
とりあえず言ってみたらなんかはじまるかもしれんから
自分の住んでる地域が豊かになるのは良いことだから
自身の住む町が少しでも良くなるならその行動をしたいから
まちづくりに関心があるから
伝えなければ何も始まらないと思っているから
このままの鳴門市ではダメだから
鳴門市をより良いところにしたいから

【問 50 で「3. あまり思わない」、「4. そう思わない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 52 そう答えたのはどうしてですか。(〇はいくつでも)

鳴門市に住んでないから
興味が無いから
余裕が無い
考えることが苦手で伝えることが難しいから
鳴門市は他の市からみても経済力が高く、まちづくりのための様々な施設や運営があって過ごしやすい市だと思うので、良い意味でこれ以上求めていません。求めずともこれからもより良くしてくれそうです。

今後鳴門市から出る可能性が高いから
どうでもいい
自分にはもう関係無いから
家が鳴門市じゃないから
興味が薄いから
伝えた意見が反映されるほど財政的に余裕があると思えないから
今の鳴門市に満足しているから
大学院生として2年間在住するのみなので、なにか変わったとしても自分に影響しないと思う。
反映するだけの人的、金銭的リソースがそもそもあるか怪しい。そういった能力のある人間に距離を置かれているのではないか
今の自分に子どもの権利などは関係がない、期待していない。鳴門市が有名になってもし鳴門市に人が増えたら、恩恵が受けられなくなる可能性も考える
県外出身なので、鳴門市の事情をよくわかっていないからそもそも意見が無い

【全員にお聞きします】

問 53 どのような工夫やルールがあれば、鳴門市のまちづくりや子ども・若者に関する取り組みについて、意見を伝えやすいと思いますか。(〇はいくつでも)

意見を反映するようになったら意見を言う人が増えると思う
現在の自分にあまり必要がないから知ろうとする気がそもそもない
今回のアンケートのように長ったらしくなく、簡単なものにする
一番上の人が必ず参加し、全員に一回は、意見をどれだけ時間がかかってもいいので聞く姿勢をもった上の人が聞いてくれること
鳴門市に若者を採用する
鳴門市の取り組みなどを把握する場面がほぼないので、SNS(LINE、Instagram など)での取り組み発信いただけると、若い世代は情報を収集しやすいと思います。ちょうど問 54 のような、簡単に意見を伝えることができるフォームは有意義だと感じます。
伝えた内容が公開される場がある
お金とやる気
集まった意見についての討論会的なのを定期的を開いて、市民もしくは、意見をした人達も参加したり見たりできる仕組みを作る
市議等に意見を直接伝えれるように地域に顔出し(道などを散歩してもらう)をしてもらい、立ち話感覚で意見を伝えれるような取り組みがあればいいと思う
こういうアンケートの内容をさらに深掘りして、こんな結果だったけどどう思う?と再度みんな考えてたら、改善案を出してくれる人もいると思う
意見を発したとして必ずしも行政さんや鳴門市長さんが若者や子供を見てくれるとは限らない…、お年寄りの方ばかり見てると思うそうした方が票が取りやすいから

アンケートなどのテーマを限定して頻度を高くすれば、より多くの人から意見を募ることができると思います。一つのアンケートの量が多いと回答のハードルが高く感じます。そのため、数分で回答できるものであると答えやすいと思います。また、頻度を上げると回答者は「いつでも意見を伝えられる」と感じ、継続的な参加を期待できると考えます。具体的には、隔週または月に一度アンケートを実施するのが良いと思います。
伝えたことが実際に反映されていることの周知徹底
鳴門市が意見を受け止め、実行している様子や進捗状況を市民に示す
被選挙権の拡充
はやりをいれる
伝えた内容が実名で公表されない（匿名で共有される）
意見を言う側で代表者を用意して、議論なり内容の要約なりを行ってから、その人に伝えさせる。
取り組みの内容や参加方法などの情報が周知される
若者の意識は「意見を述べる」という段階に無く、「何が不満なのか、どういうことを不便として感じているか」すら若者自体が理解していない状態にあるのではないかと考えます。不便や不満を可視化・言語化するところから始める必要性があるのでは無いでしょうか。
何回も意見を伝える
取り組んでいるテーマ等が単純にわかるようになっている。